

# 代議員総会・会員総会・評議員会

■日時：12月6日（土）12:40～13:40

■会場：第1会場（2F シビックホール）

※代議員総会・会員総会・評議員会およびシミック賞・ECC 奨励賞・優秀演題賞の授賞式ならびに  
ECC 奨励賞受賞者からのお言葉をいただきます。

※参加者は学会員に限ります。

## 第22回日本エイズ学会学会賞（シミック賞）受賞講演

■日時：12月6日（土）13:40～14:10

■会場：第1会場（2F シビックホール）

第22回  
日本エイズ学会学会賞  
(シミック賞)  
受賞講演

座長 杉浦 瓦（国立健康危機管理研究機構臨床研究センター）

# Plenary Lecture 1

■日時：12月5日（金） 11:00～12:00

■会場：第1会場（2F シビックホール）

Plenary  
Lecture 1  
基礎・B

座長 吉村和久（東京都健康安全研究センター）

■Speaker

PL01-1 The Changing Landscape of HIV Drug Resistance: What Comes Next?

Robert Shafer

Stanford University, USA

# Plenary Lecture 2

■日時：12月6日（土） 10:20～11:20

■会場：第1会場（2F シビックホール）

Plenary  
Lecture 2  
臨床・C

座長 谷口俊文（千葉大学医学部附属病院）  
仲村秀太（琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科）

■Speaker

PL02-1 Clinical utility of HIV subtyping and drug resistance

Miłosz Stanisław Parczewski

Pomeranian Medical University in Szczecin, Poland

# 会長講演

■日時：12月6日（土） 14:10～14:25

■会場：第1会場（2F シビックホール）

会長講演

座長 杉浦 瓦（国立健康危機管理研究機構臨床研究センター）

■演者

CH01-1 HIV研究は人生そのものだ

吉村和久

東京都健康安全研究センター

# シンポジウム「治療の手引き」

■日時：12月6日（土） 16:55～18:55

■会場：第1会場（2F シビックホール）

## シンポジウム 「治療の手引き」 臨床・C

座長

満屋裕明（国立健康危機管理研究機構国立国際医療研究所）  
岡 慎一（国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）  
白阪琢磨（公益財団法人エイズ予防財団／国立病院機構大阪医療センター）  
鶴永博之（国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）

■演者

はじめに

満屋裕明

国立健康危機管理研究機構国立国際医療研究所

What' New?

鶴永博之

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

TR01-1 治療失敗から学ぶ長期作用型製剤の適正使用

今橋真弓

国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部

TR01-2 NRTI-sparing ART 下におけるHBVワクチンの現状

木内 英

東京医科大学

TR01-3 COVID-19 時代とエイズ症例

青木孝弘

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

TR01-4 わが国のHIV感染抑制と陽性者支援のためのプロジェクト <ZERO transmission in Japan by 2030>について

白阪琢磨

公益財団法人エイズ予防財団／国立病院機構大阪医療センター

終わりに

岡 慎一

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

# 医学教育事業委員会シンポジウム

■日時：12月6日（土） 18:50～20:20

■会場：第2会場（3F 会議室A1）

医学教育事業  
委員会  
シンポジウム  
臨床・C

エイズ学会医学教育事業主催  
HIV 感染症患者における HPV  
感染症予防と関連疾患治療に対  
する最新の知見

座長

前田賢次（鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同  
研究センター）

■演者

CS01-1 HIV 感染者における HPV 関連癌の課  
題と展望

水島大輔

国立健康危機管理研究機構

CS01-2 高リスク集団における HPV ワクチン  
接種の現状 — HIV-PrEP 利用 MSM  
からの調査報告

塩尻大輔

パーソナルヘルスクリニック

HIV 感染症患者における HPV 感染予防と関連疾患治療に対する教育事業（MSD 医学医学教育事業助成）

\*本教育事業は、MSD 株式会社（公募型）医学教育事業助成の資金提供を受けて実施しています。

MSD 株式会社は、当該事業の企画・実施・管理に一切関与しておりません。

## 早期治療推進検討委員会シンポジウム

■日時：12月7日（日） 10:40～12:10

■会場：第3会場（3F 会議室A4）

早期治療推進  
検討委員会  
シンポジウム  
基礎・B/臨床・C/社会・S

ART の早期導入と継続に向け  
た身体障害者手帳認定基準改正 座長 田沼順子（国際医療福祉大学）  
への取り組み

■演者

導入

井上洋士

日本エイズ学会早期治療推進検討委員会／株式会社アク  
セライト

CS02-3 HIV 陽性者対象の調査結果から見る  
ART 開始の遅れと身体障害者手帳活  
用状況

井上洋士

日本エイズ学会早期治療推進検討委員会／株式会社アク  
セライト

CS02-1 身体障害者手帳が HIV に導入されるよ  
うになった医療的・福祉的・社会的経  
緯と意義

大平勝美（ビデオ出演）

元はばたき福祉事業団

CS02-4 障害者権利条約の障害・障害者の「定  
義」・概念と日本の課題

佐藤久夫

日本障害者協議会／日本社会事業大学

CS02-2 免疫機能障害者認定基準改正要望書提  
出をめぐるこれまでの学会の取り組み

松下修三

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

CS02-5 身体障害者認定基準改正要望の方向性

谷口俊文

千葉大学医学部附属病院感染症内科・感染制御部

# シンポジウム

■日時：12月5日（金） 9:10～10:40

■会場：第2会場（3F 会議室A1）

## シンポジウム 1 基礎・B

HIV cure へ向けたチャレンジ  
／Challenges Toward  
Achieving an HIV Cure

座長

武内寛明（東京科学大学）  
山本浩之（国立健康危機管理研究機構国立感染症  
研究所）

■演者

SY01-1 HIV 感染症の機能的治癒を目指した新規免疫療法の開発

山本拓也

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所難病・免疫  
ゲノム研究センター

SY01-3 Decoding HIV Reservoirs to  
Inform Cure Strategies

Xu Yu

Ragon Institute of MGB, MIT and Harvard  
Harvard Medical School

SY01-2 HIV cure と HIV remission

松下修三

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

■日時：12月5日（金） 9:10～10:40

■会場：第3会場（3F 会議室A4）

## シンポジウム 2 社会・S

コミュニティセンターにおける  
HIV 検査を起点とした予防の  
取り組みと社会への広がり

座長

本間隆之  
船石翔馬（福岡コミュニティセンター HACO）

■演者

SY02-1 コミュニティセンター ZEL における  
MSM を対象とした HIV 検査普及の取  
り組み

太田ふとし

やろっこ

SY02-4 CBO が担う HIV 検査会の実践と課題

陰山朋久

MASH 大阪／公益財団法人エイズ予防財団／コミュニ  
ティセンター dista

SY02-2 コミュニティセンター akta を起点と  
した首都圏の MSM における HIV 検査  
促進と受検環境整備の取り組み

木南拓也

特定非営利活動法人 akta / 公益財団法人エイズ予防財団

SY02-5

福岡コミュニティセンター HACO に  
おける MSM を対象とした HIV 検査支  
援と予防の取り組み

船石翔馬

認定 NPO 法人魅惑的俱楽部／福岡コミュニティセン  
ター HACO

SY02-3 コミュニティセンターにおける HIV 検  
査を起点とした予防の取り組みと社会  
への広がり

藤浦裕二

ANGEL LIFE NAGOYA

SY02-6

沖縄県における MSM を対象とした検  
査の取り組みと課題

玉城祐貴

コミュニティセンター mabui

# シンポジウム

■日時：12月5日（金） 13:30～15:00

■会場：第1会場（2F シビックホール）

<b>シンポジウム3 基礎・B</b>	HIV潜伏感染メカニズム研究 の最前線／Frontiers in the Study of HIV Latency Mechanisms	座長	佐藤賢文（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター） 白川康太郎（京都大学医学部附属病院血液内科）
-------------------------	---	----	--

■演者

SY03-1 Clinical significance of residual HIV reservoirs under cART and future perspectives toward HIV cure  
Kenji Maeda  
Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kagoshima University

SY03-3 HIV cure strategies targeting the temporal spatial dynamics of HIV reservoir  
Ya-Chi Ho  
Department of Microbial Pathogenesis, Yale University School of Medicine

SY03-2 Immune Targeting of HIV-1 reservoir cells  
Mathias Licherfeld  
Ragon Institute of MGB, MIT and Harvard

■日時：12月5日（金） 13:30～15:00

■会場：第2会場（3F 会議室A1）

<b>シンポジウム4 基礎・B / 臨床・C / 社会・S</b>	HIV診療に関わる医療従事者の世代交代 ～先人たちの苦労を若手にどう伝えていくか～	座長	宇野健司（南奈良総合医療センター感染症内科） 白野倫徳（大阪市立総合医療センター感染症内科）
---	--	----	---

■演者

SY04-1 何もわからず素手で立ち向かっていた時代から今まで  
高田 昇  
元・広島大学病院 / おだ内科クリニック

SY04-2 少年易老学難成  
松下修三  
熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

# シンポジウム

■日時：12月6日（土） 8:30～10:00

■会場：第1会場（2F シビックホール）

シンポジウム 5 基礎・B	日本、先進国、アフリカの薬剤耐性ウイルスにおける現状と今後の対策について / Current Status and Future Strategies for Drug-Resistant HIV in Japan, the United States, and Africa	座長 上野貴将（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター） 杉浦 互（国立健康危機管理研究機構臨床研究センター）
------------------	--	--

■演者

SY05-1 Dolutegravir Resistance: A Call for Strategic Initiatives in Sub-Saharan Africa  
Doreen Donald Kamori  
Muhimbili University of Health and Allied Sciences, Tanzania

SY05-2 Surveillance of pretreatment HIV drug resistance in Japan  
菊地 正  
国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所

SY05-3 Resistance to Key Antiretrovirals: Mechanisms, Frequency, and Clinical Impact  
Robert Shafer  
Stanford University, USA

■日時：12月6日（土） 8:30～10:00

■会場：第2会場（3F 会議室A1）

シンポジウム 6 社会・S	公的HIV検査・相談はこれからどこに向かえば良いのか	座長 貞升健志（東京都健康安全研究センター微生物部） 林田庸総（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）
------------------	----------------------------	--

■演者

SY06-1 HIV郵送検査の性質と活用について  
林田庸総  
国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

SY06-4 東京都における公的HIV検査、地方衛生研究所としての疫学解析  
貞升健志  
東京都健康安全研究センター微生物部

SY06-2 医療機関におけるHIV検査  
渡邊珠代  
石川県立中央病院免疫感染症科

SY06-5 大阪におけるHIV検査について  
浜みなみ  
大阪健康安全基盤研究所微生物部ウイルス課

SY06-3 「HIV検査相談研修会」から見えること  
柏崎正雄  
公益財団法人エイズ予防財団

SY06-6 福岡県におけるHIV検査の現状と課題  
中村麻子  
福岡県保健環境研究所

# シンポジウム

■日時：12月6日（土） 14:40～16:10

■会場：第1会場（2F シビックホール）

## シンポジウム 7 臨床・C

EACS LIVE! Case-based  
discussion

座長 谷口俊文（千葉大学医学部附属病院）  
今橋真弓（国立病院機構名古屋医療センター）

■パネリスト

Miłosz Parczewski

Pomeranian Medical University

■演者

SY07-1 A Fatal Case of AIDS Complicated by Kaposi's Sarcoma-Associated Inflammatory Cytokine Syndrome (KICS)

徳永佳尚

久留米大学医学部内科学講座呼吸器・神経・膠原病内科部門

SY07-2 Successful treatment of thyroid eye disease complicated by HIV infection with teprotumumab, an anti-insulin-like growth factor-1 receptor antibody

船田将史<sup>1)</sup>、宮川一平<sup>1,2)</sup>、鳥本桂一<sup>1)</sup>、久保智史<sup>1)</sup>、中山田真吾<sup>1)</sup>

1) 産業医科大学第1内科学講座、2) 産業医科大学医学部分子標的治療内科学講座

■日時：12月6日（土） 16:45～17:45

■会場：第3会場（3F 会議室A4）

## シンポジウム 8 基礎・B

第2回 他分野を知り HIV/  
AIDS を知る

座長 原田恵嘉（国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所）  
池田輝政（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

■演者

SY08-1 ヒトT細胞白血病ウイルス1型の生存戦略と成人T細胞白血病の発がん機構

安永純一郎

熊本大学大学院生命科学研究部血液・膠原病・感染症内科

SY08-2 エムポックスウイルスに対する創薬研究

渡士幸一

国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所治療薬開発研究部

# シンポジウム

■日時：12月6日（土） 19:00～20:30

■会場：第1会場（2F シビックホール）

## シンポジウム 9 社会・S

新エイズ予防指針の実装と展望：  
流行終息に向けたマルチステー  
クホルダーによる対話の場

座長 岩橋恒太（特定非営利活動法人akta）  
吉村和久（東京都健康安全研究センター）

■演者

小谷聰司

厚生労働省

SY09-3 新エイズ予防指針へのCBOの参画と  
今後の課題  
—コミュニティからの提言—

岩橋恒太

特定非営利活動法人akta

SY09-1 ウィルス側から見た日本のHIV流行動  
向

菊地 正

国立健康危機管理研究機構

SY09-4 改定エイズ予防指針における新たな課  
題の可視化と今後の考察

白阪琢磨

公益財団法人エイズ予防財団 / 国立病院機構大阪医療セ  
ンター

SY09-2 新エイズ予防指針案の論点

四本美保子

東京医科大学病院臨床検査医学科

■日時：12月7日（日） 8:30～10:30

■会場：第1会場（2F シビックホール）

## シンポジウム 10 臨床・C

災害時を再考する  
～Resilienceを高めるには～

座長 山下和範（長崎大学病院災害医療支援室）  
阿部憲介（国立病院機構仙台医療センター）

■演者

SY10-1 災害時におけるHIV陽性者への治療継  
続支援 ～能登半島地震の経験から～

石井智美

石川県立中央病院

SY10-3 HIV感染症を乗り越えて、人が困難に  
巻き込まれた時に思うこと（HIV感染  
症、東日本大震災等の経験から）

早坂典生

特定非営利活動法人りょうちゃんず

SY10-2 災害から学んだ医療連携と情報共有の  
大切さ - 薬剤師の立場から -

阿部憲介

国立病院機構仙台医療センター

SY10-4 熊本県における災害時保健医療福祉活  
動

剣 陽子

熊本県阿蘇保健所 / 熊本県健康福祉部健康危機管理課

# シンポジウム

■日時：12月7日（日） 9:00～10:30

■会場：第2会場（3F 会議室A1）

## シンポジウム 11 臨床・C

高齢期を迎えるHIV陽性患者  
の医療ニーズと地域医療の活用  
について

座長

中田浩智（熊本大学感染免疫診療部）  
長與由紀子（国立病院機構九州医療センター看護部）

■演者

SY11-1 HIV陽性者が抱える併存疾患と必要な  
医療体制の検討

杉野祐子

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター

SY11-4 HIV感染者の高齢化に伴う生活上の問題と課題～訪問看護の立場から～

岡野美岐子

医療法人永田会東熊本第2病院在宅部

SY11-2 エイズ中核拠点病院と非拠点病院～双方の勤務から見えたもの

柳澤邦雄

深谷赤十字病院

SY11-5 医療施設型ホスピス「医心館」でのHIV陽性者受け入れの現状と療養の実際

高橋めぐみ

株式会社アンビス研修企画部

SY11-3 HIV治療における薬局薬剤師の役割と  
今後の展望－地域連携強化に向けた取組みと課題－

上妻弘明

株式会社タカラ薬局

■日時：12月7日（日） 9:00～10:30

■会場：第3会場（3F 会議室A4）

## シンポジウム 12 社会・S

性風俗産業従事者のための受検  
勧奨と予防啓発  
～コミュニティベースによる実  
践と課題～

座長

東 優子（大阪公立大学大学院現代システム科学  
研究科人間科学分野）  
青山 薫（神戸大学国際文化学研究科）

■演者

SY12-1 性風俗産業に従事するトランスジェン  
ダーのセクシャルヘルスの実態と課題

金子典代

名古屋市立大学大学院看護学研究科

SY12-3 セックスワーカーやトランスジェン  
ダーのためのHIV/AIDS・性感染症予  
防の現状と課題

宮田りりい

関西大学人権問題研究室／きんきトランス・ミーティング／  
SWASH／MASH大阪

SY12-2 セックスワーカーを対象としたコミュ  
ニティベースの取り組みについて

げいまきまき

SWASH／MASH大阪

■コメンテーター

宇野健司

南奈良総合医療センター

池袋 真

LUNAクリニック

# シンポジウム

■日時：12月7日（日） 10:40～12:10

■会場：第1会場（2F シビックホール）

シンポジウム 13 社会・S	高齢期の「住まいと療養」を考える —受入れ経験から学ぶ課題とヒント—	座長 大里文薈（国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター） 宮崎菜穂子（川崎市保健所）
-------------------	---------------------------------------	---

■演者

SY13-1 高齢期 HIV 陽性者の社会的脆弱性とレジリエンス -- 交差性理論と地域連携をつなぐ架け橋  
大島 岳  
明治大学情報コミュニケーション学部

SY13-2 受け入れて判った HIV 感染者の在宅医療・介護と療養入院が抱える問題と今後の課題  
大石 毅  
医療法人財団圭友会小原病院 / 東京医科大学臨床検査医学分野

SY13-3 HIV 感染症の方の老人保健施設受け入れに対する体制作りと当施設介護職員の意識変化について  
千葉義明  
台東区立老人保健施設千束

SY13-4 HIV 陽性者を地域で支えるということ～医療法人における受入れ実践から見えた課題と展望～  
山本友美  
医療法人社団誠仁会夫婦石病院

SY13-5 「くらし」を支え、地域のチームで伴走するために - 在宅診療所の立場から -  
土屋菜歩  
医療法人社団やまと やまと在宅診療所栗原

■日時：12月7日（日） 10:40～12:10

■会場：第2会場（3F 会議室 A1）

シンポジウム 14 臨床・C	チーム医療からみる“こころ”とはなにか	座長 木村聰太（国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター） 木村宏之（名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野）
-------------------	---------------------	--

■演者

SY14-1 こころの共鳴のための心がけ  
成田 雅  
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

SY14-4 心理職が考える“こころ”  
安尾利彦  
国立病院機構大阪医療センター臨床心理室 / 臨床研究センター

SY14-2 長期療養時代における HIV 感染者の「こころ」の支援 HIV コーディネーターナースによるケア実践  
鈴木ひとみ  
国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター看護部

SY14-5 HIV 陽性者に特徴的なメンタルヘルスの課題とは  
高橋卓巳  
筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

SY14-3 薬剤師からみる“こころ”とは  
松木克仁  
国立病院機構名古屋医療センター薬剤部

# ポジティブトークセッション

■日時：12月5日（金） 15:20～16:50

■会場：第1会場（2F シビックホール）

ポジティブトーク  
セッション

POSITIVE TALK 2025

座長

吉村和久（東京都健康安全研究センター）  
大島 岳（特定非営利活動法人ぶれいす東京 / 特定非営利活動法人日本 HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス）

■スピーカー

HIV陽性者5名

## メモリアルサービス

■日時：12月5日（金） 16:50～17:50

■会場：第1会場（2F シビックホール）

メモリアル  
サービス

第15回 世界エイズデイ メモリアルサービス  
～生命（いのち）をつなぐ～

■企画者

有志

AIDSで亡くなられた人、亡くなられた人たちを追悼したい人たちがいる。世界エイズデーメモリアルサービスでは、HIV/AIDSに関わる人たちが、年齢、性別、性的指向、信仰、医療者と患者の枠を超えて、ありのままの気持ちでいられる場を提供したい。また今もHIVと共に生きている陽性者やこれから時代を担って行く、全ての人たちが命をつなぎ、明日への希望を覚える時を共に過ごしたい。

# 日本エイズ学会認定講習会（医師）

■日時：12月5日（金） 9:10～10:40

■会場：第1会場（2F シビックホール）

日本エイズ学会  
認定講習会  
(医師)  
臨床・C

HIV 予防・臨床における検査  
update  
～HIV、STI、BBV、HPV 関  
連癌の診断再考～

座長

南 留美（国立病院機構九州医療センター）  
水島大輔（国立健康危機管理研究機構）

■演者

TR02-1 検査をもっとラクに、もっと身近に：  
iTesting の取り組みから見えたもの  
今橋真弓  
国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・  
免疫研究部

TR02-2 民間クリニックにおける検査事業を通  
じた HIV/STI 検査・治療・予防・情報  
提供の一元化モデル  
石内崇勝  
一般社団法人天照会いだてんクリニック

TR02-3 ハイリスク集団における Blood-  
Borne VIRUS(BBV) 感染の実態調  
査の報告  
上村 悠  
国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ  
治療・研究開発センター

TR02-4 HPV 関連がんの診断再考を考える  
安藤尚克  
国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ  
治療・研究開発センター

# 日本エイズ学会認定講習会（看護師）

■日時：12月6日（土） 14:40～16:10

■会場：第3会場（3F 会議室A4）

日本エイズ学会  
認定講習会  
(看護師)  
臨床・C

HIV 感染症患者の受診継続支  
援について考える

座長

城崎真弓（国立病院機構九州医療センター）  
木下一枝（国立大学法人広島大学病院）

■演者

TR03-1 戸蒔祐子  
慶應義塾大学病院

TR03-2 田中美佐子  
産業医科大学病院

# 日本エイズ学会認定 HIV 感染症指導看護師向けアドバンスト研修

■日時：12月7日（日） 14:00～15:30

■会場：第1会場（2F シビックホール）

日本エイズ学会認定  
HIV 感染症指導看護師  
向けアドバンスト研修  
臨床・C

発達段階における患者の課題を  
踏まえた病気の打ち明け・受け  
止め支援のあり方

座長 松山奈央（公立大学法人横浜市立大学附属病院）

宮城京子（琉球大学病院）

■演者

TR04-1 高木雅敏

熊本大学病院

TR04-4 東 政美

大阪医療センター

■企画担当

TR04-2 宮城京子

琉球大学病院

TR04-5 平山江美

東京女子医科大学病院

TR04-3 大野稔子

北海道難病連

TR04-6 松山奈央

公立大学法人横浜市立大学附属病院

## HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師認定講習会

■日時：12月7日（日） 13:30～15:30

■会場：第4会場（3F 会議室B1-3）

HIV 感染症薬物  
療法認定・専門薬  
剤師認定講習会  
臨床・C

薬害エイズより学ぶ HIV 感染  
症診療のよもやま話と医療者と  
しての使命を考える

座長

歟井浩子（T & Tタウンファーマ株式会社）  
増田純一（国立健康危機管理研究機構国立国際医  
療センター）

■演者

TR05-1 薬害エイズより学んだこと

岡 慎一

国立健康危機管理研究機構エイズ治療・研究開発センター  
名誉センター長

TR05-3 薬害エイズで薬剤師として学んだこと

井門敬子

社会医療法人仁友会南松山病院

TR05-2 薬害エイズと医薬品早期承認制度

花井十伍

特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

TR05-4 薬害エイズから学んだ HIV 感染症診療  
と学ぶ HIV 感染症診療

小島賢一

医療法人財団荻窪病院

# 市民公開講座

■日時：12月7日（日） 16:00～17:30

■会場：第1会場（2F シビックホール）

市民公開講座

エイズの現在地  
～報道されない本当の姿～

座長 吉村和久（東京都健康安全研究センター）

■演者

武田真一

アナウンサー

本田美和子

国立病院機構東京医療センター総合内科医長

松下修三

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

## Scientific Engagement Satellite Symposium

■日時：12月6日（土） 16:45～18:45

■会場：第2会場（3F 会議室A1）

Scientific  
Engagement  
Satellite  
Symposium

個別化医療の実現へ：臨床検査、指標、コミュニケーションの活用  
Advancing Personalized Medicine  
for PLWH: Harnessing Clinical Tests,  
Indicators, and Communication

座長 松下修三（熊本大学）

■演者

SESS01-1 Chloe Orkin

Queen Mary University of London

SESS01-3 吉野友祐

帝京大学

SESS01-2 谷口俊文

千葉大学

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社メディカルアフェアーズ

# ミニシンポジウム

■日時：12月7日（日） 9:00～10:00

■会場：第4会場（3F 会議室B1-3）

ミニシンポジウム  
社会・S

厚生労働研究「血液製剤による  
HIV/HCV重複感染患者に対する  
肝移植を含めた外科治療に関する  
研究」江口班のこれまでの成果と今後の展開

座長

江口 晋（長崎大学大学院 移植・消化器外科学  
教授）  
四柳 宏（国立健康危機管理研究機構 理事（研究  
連携推進担当））

■演者

MSY01-1 基調講演

秋野公造

参議院議員（福岡県選出）

鼎談

上平朝子

国立病院機構大阪医療センター 感染症内科・感染制御部  
部長

MSY01-2 これまでの成果

日高匡章

島根大学医学部 消化器・総合外科 教授

鼎談

肝移植患者

MSY01-3 鼎談

江口 晋

長崎大学大学院 移植・消化器外科学 教授

共催：厚生労働省エイズ対策研究事業  
「血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者に対する  
外科治療の標準化に関する研究」班

## 共催シンポジウム

■日時：12月5日（金） 13:30～15:00

■会場：第3会場（3F 会議室A4）

共催シンポ  
ジウム 1

LAI (Long-Acting-Injection)  
治療の臨床的価値と患者との協  
働による意思決定支援 座長 谷口俊文（千葉大学）

■演者

SS01-1 谷口俊文

千葉大学

SS01-3 仲村秀太

琉球大学

SS01-2 Moti Ramgopal

Midway Specialty Care Center in Florida,  
United States

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社／塩野義製薬株式会社

# 共催シンポジウム

■日時：12月5日（金） 15:20～17:20

■会場：第2会場（3F 会議室A1）

## 共催シンポジウム2

### HIV 感染症と Premature Aging

松下修三（熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 特任教授）

座長 岡 慎一（国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター／ACC名譽センター長／国立療養所多磨全生園 特命副園長）

■演者

SS02-1 Premature Aging と高齢化  
—臓器からみる PWH の課題と対策

南 留美

国立病院機構九州医療センター AIDS／  
HIV 総合治療センター 部長

SS02-3 HIV 陽性者の代謝疾患管理  
—適切な食事、運動療法とは？

田村好史

順天堂大学大学院医学研究科  
スポーツ医学・スポーツロジー／代謝内分泌学 教授

SS02-2 Premature Aging を踏まえた  
ART の個別化治療

渡邊 大

国立病院機構大阪医療センター  
臨床研究センターエイズ先端医療研究部長

共催：MSD 株式会社

■日時：12月5日（金） 15:20～17:20

■会場：第3会場（3F 会議室A4）

## 共催シンポジウム3 認定講習会・ 薬剤師

### 薬剤師ワークショップ： これからの HIV 診療を支える 薬剤師の視点と実践

増田純一（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 薬剤部）

座長 矢倉裕輝（国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部）

■演者

SS03-1 抗 HIV 治療の変遷とこれからの HIV 診療を支える薬剤師の役割

矢倉裕輝

国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部

SS03-3 HIV 診療の person-centered care における薬剤師の役割  
- 薬局薬剤師の視点から -

田橋美佳

薬樹薬局三ツ沢

SS03-2 HIV 診療の person-centered care における薬剤師の役割  
- 病院薬剤師の視点から -

松木克仁

国立病院機構 名古屋医療センター 薬剤部

SS03-4 HIV 診療におけるファーマシーティカル・ケアと evidence generation の実践

阿部憲介

国立病院機構 仙台医療センター 薬剤部

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社 メディカルアフェアーズ本部

# 共催シンポジウム

■日時：12月6日（土） 8:30～10:00

■会場：第3会場（3F 会議室A4）

## 共催シンポジウム4

HIV/AIDS治療の将来を見据えた2剤レジメンの在り方

座長 渡邊 大（大阪医療センター）

■演者

SS04-1 B型肝炎リスクを考慮した治療選択

青木孝弘

国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

SS04-3 長期治療における薬剤切り替えの選択

渡邊 大

大阪医療センター

SS04-2 初回診療における治療選択

白野倫徳

大阪市立総合医療センター

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社／塩野義製薬株式会社

■日時：12月6日（土） 14:40～16:40

■会場：第2会場（3F 会議室A1）

## 共催シンポジウム5

HIV-1感染症の根治に向けて  
-5  
～根治再考、そして次の一手へ～

座長 吉村和久（東京都健康安全研究センター）  
石田尚臣（デンカ株式会社）

■演者

SS05-1 「HIV-1感染症の根治に向けて」4年の歩み

石田尚臣

デンカ株式会社

SS05-3 抗HIV療法の変遷と展望

鷺永博之

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター／エイズ治療・研究開発センター

SS05-2 HIV陽性者が考える治療と根治の未来

井上洋士

HIV Futures Japanプロジェクト／株式会社アクセライト

SS05-4 HIV感染症の根治を目指した検査戦略の現状と未来

佐藤賢文

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

共催：デンカ株式会社

# 共催シンポジウム

■日時：12月7日（日） 13:30～15:30

■会場：第2会場（3F 会議室A1）

## 共催シンポジウム6

ViiV Medical Education Symposium  
HIV 診療における、より良い共同意思決定  
(Joint Decision Making)に必要なもの  
とは

座長 矢嶋敬史郎（都立駒込病院）

■演者

SS06-1 矢嶋敬史郎

都立駒込病院

■演者兼パネリスト：50音順

緒方 釧 熊本大学病院

奥井 裕斗

小嶋 道子 駒込病院

灰来人 notAlone Fukuoka

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社

■日時：12月7日（日） 13:30～15:30

■会場：第3会場（3F 会議室A4）

## 共催シンポジウム7

HIV 陽性者にとっての Long-Term Success とは  
～患者中心の医療アプローチ～

司会 高久陽介（特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者  
ネットワーク・ジャンププラス）  
松下修三（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研  
究センター）

【第一部】

■演者

SS07-1 ヤス

特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・  
ジャンププラス

SS07-2 井上洋士

株式会社アクセライト

【第二部】パネルディスカッション

■パネリスト

猪狩英俊

千葉大学

井上洋士

株式会社アクセライト

高久陽介

特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・  
ジャンププラス

ヤス

特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・  
ジャンププラス

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社 メディカルアフェアーズ本部

# ランチョンセミナー

■日時：12月5日（金） 12:20～13:20

■会場：第2会場（3F 会議室A1）

## ランチョンセミナー1

将来を見据えたHIV治療選択  
～患者ニーズの変化と治療薬の進歩～

座長

鶴永博之（国立国際医療センター  
エイズ治療・研究開発センター）

■演者

LS01-1 診療所におけるHIV診療の実際  
～6年間のビクタルビの使用経験から～

山中 晃

新宿東口クリニック

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

■日時：12月5日（金） 12:20～13:20

■会場：第4会場（3F 会議室B1-3）

## ランチョンセミナー2

血友病・長期治療の課題  
～熊本の取組から考える～

座長

葛田衣重（千葉大学病院 感染制御部 特任研究員）  
三嶋一輝（福井大学病院 地域医療連携部 総括医療ソーシャルワーカー）

■演者

LS02-1 P-Liveともに歩んで40年～それぞれの長期療養に寄り添う～

松下修三

熊本大学 ヒトレロウイルス学共同研究センター・抗ウイルス・血液疾患研究共同研究講座 臨床レトロウイルス学分野 特任教授

LS02-2 薬害HIV感染被害者救済：在宅就労から社会参加へ

田中良明

特定非営利活動法人在宅就労支援事業団 理事長

共催：KMバイオロジクス株式会社

■日時：12月5日（金） 12:20～13:20

■会場：第6会場（3F 会議室D1-2）

## ランチョンセミナー3

ベトナムにおけるHIV/AIDS管理  
-アジアにおけるAROネットワークから-  
HIV/AIDS Management in Vietnam  
-From ARO Network in Asia-

座長

杉浦 瓦（国立健康危機管理研究機構 臨床研究センター センター長）

■演者

LS03-1 ARISE: International Collaboration and Clinical Trial Network Development for Infectious Diseases with a Focus on Vietnam

時田大輔

国立健康危機管理研究機構臨床研究センター  
インターナショナルトライアル部 部長

LS03-2 HIV/AIDS management in Vietnam

Dr. Vo Hai Son

ベトナム保健省疾病予防管理局 副局長

共催：国立健康危機管理研究機構

# ランチョンセミナー

■日時：12月6日（土） 11:30～12:30

■会場：第1会場（2F シビックホール）

## ランチョンセミナー4

持効性注射剤、どう伝える？どう導入する？  
～実臨床からの課題解決のヒント～

座長 照屋勝治（国立国際医療センター）

■演者

LS04-1 照屋勝治

国立国際医療センター

LS04-3 保科齊生

東京慈恵会医科大学病院

LS04-2 小西啓司

大阪医療センター

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社／塩野義製薬株式会社

■日時：12月6日（土） 11:30～12:30

■会場：第2会場（3F 会議室A1）

## ランチョンセミナー5

長期療養時代のPWHの個別化治療

座長 木内 英（東京医科大学 臨床検査医学分野 主任教授）

■演者

LS05-1 HIVの生活習慣病とがん－長期診療における臨床のUpdate

関谷綾子

がん・感染症センター 都立駒込病院 感染症科 医長

LS05-2 抗HIV療法のパーソナライズ化－NNRTIの位置づけ－

安達英輔

東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

共催：MSD 株式会社

■日時：12月6日（土） 11:30～12:30

■会場：第4会場（3F 会議室B1-3）

## ランチョンセミナー6

血友病

座長 今村淳治（仙台医療センター HIV/AIDS 包括診療センター 室長）

■演者

LS06-1 血友病診療における医療行動経済学

平井 啓

大阪大学大学院人間科学研究科

LS06-2 血友病の治療変遷－エミシズマブのエビデンス－

古川晶子

大阪医療センター 血友病科

共催：中外製薬株式会社

# ランチョンセミナー

■日時：12月6日（土） 11:30～12:30

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

## ランチョン セミナー7

長期療養について考える  
～通院できなくなる その時 どうする？～

座長 南 留美（九州医療センター 免疫感染症内科長）

■演者

LS07-1 長期療養の支援ニーズに応える社会的支援の可能性

黒岩泰代

セコム医療システム株式会社

LS07-3 高齢化するHIV感染症患者の診療・介護・看取りを考える地域医療機関との連携を目指して

猪狩英俊

千葉大学医学部附属病院 感染症制御部長・感染症内科長教授

LS07-2 地域支援者との相互理解による医療・介護体制の構築

高橋昌也

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター

共催：セコム医療システム株式会社

■日時：12月7日（日） 12:30～13:30

■会場：第1会場（2F シビックホール）

## ランチョン セミナー8

PWHが求める「将来を見据えた治療選択」を再考する

座長 谷口俊文（千葉大学医学部附属病院）

■演者

LS08-1 現代HIV診療の課題と展望～5つの要素に基づくビクタリビ配合錠の臨床的有用性～

中田浩智

熊本大学病院 感染免疫診療部

S08-2 将来を見据えたHIV診療を考える～耐性バリアの高い薬剤選択と重要性～

安達英輔

東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

# ワークショップ

■日時：12月6日（土）14:40～16:10

■会場：第4会場（3F 会議室B1-3）

## ワークショップ1（臨床・C）

PEP・PrEP・STI・STD

座長 水島大輔

（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

石内崇勝

（一般社団法人天照会 いだてんクリニック）

WS01-1 北海道・沖縄県におけるPrEP促進キャンペーンの広報活動とその課題

生島 嗣<sup>1)</sup>、三輪岳史<sup>1)</sup>、玉城祐貴<sup>2)</sup>、  
赤嶺友紀<sup>2)</sup>、沼田栗実<sup>3)</sup>、秋山 満<sup>3)</sup>、  
国見亮佑<sup>4)</sup>、竹内 仁<sup>5)</sup>、池田詩子<sup>6)</sup>、  
池田 博<sup>7)</sup>、市原浩司<sup>8)</sup>、仲村秀太<sup>9)</sup>、  
新里尚美<sup>9)</sup>、谷口俊文<sup>10)</sup>、水島大輔<sup>11)</sup>

- 1) ぶれいす東京
- 2) コミュニティセンター mabui
- 3) レッドリボンさっぽろ
- 4) にじいろほっかいどう
- 5) WAVE さっぽろ
- 6) 宮の森レディースクリニック
- 7) 池田内科
- 8) 札幌中央病院
- 9) 琉球大学医学部
- 10) 千葉大学病院
- 11) 国立国際医療センター

WS01-2 PrEP利用促進キャンペーン 一札幌における実装研究の経過報告

池田詩子<sup>1)</sup>、池田 博<sup>2)</sup>、市原浩司<sup>3)</sup>、  
砂押研一<sup>4)</sup>、生島 嗣<sup>5)</sup>、三輪岳史<sup>5)</sup>、  
水島大輔<sup>6)</sup>

- 1) 宮の森レディースクリニック
- 2) 医療法人社団池田内科
- 3) 札幌中央病院 泌尿器科
- 4) ていね駅前泌尿器科
- 5) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 6) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

WS01-3 沖縄県におけるHIV-PrEP導入体制の構築と利用実態に関する実装研究

仲村秀太<sup>1)</sup>、新里尚美<sup>1)</sup>、生島 嗣<sup>2)</sup>、  
山本和子<sup>1)</sup>、水島大輔<sup>3)</sup>

- 1) 琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科
- 2) 認定NPO法人ぶれいす東京
- 3) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

WS01-4

ワンコイン検査受診者のSTI高リスク層から考える検査・予防・治療の分離解消

清水健伍<sup>1)</sup>、石内崇勝<sup>1,2)</sup>、傳寶優希<sup>1)</sup>、  
三上 蓮<sup>1)</sup>、吉田菜乃<sup>1)</sup>、坂元奈桜<sup>1)</sup>、  
吉田昂汰<sup>1)</sup>、水島大輔<sup>2,3)</sup>

- 1) 一般社団法人天照会 いだてんクリニック
- 2) 熊本大学 ヒトレロウイルス学共同研究センター
- 3) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

■日時：12月6日（土）15:40～17:00

■会場：第6会場（3F 会議室D1-2）

## ワークショップ2（社会・S）

耐性検査と疫学

座長 林田庸総

（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

菊地 正

（国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター）

WS02-1 新規HIV-1診断例の薬剤耐性検査データを用いた分子疫学的解析

林田庸総、潟永博之

（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

WS02-2 東京都内公的検査機関でのHIV陽性例における薬剤耐性関連変異の検出状況

小泉美優<sup>1)</sup>、北村有里恵<sup>1)</sup>、黒木絢士郎<sup>1)</sup>、  
河上麻美代<sup>1)</sup>、浅倉弘幸<sup>1)</sup>、菊地 正<sup>2)</sup>、  
三宅啓文<sup>1)</sup>、長島真美<sup>3)</sup>、千葉隆司<sup>1)</sup>、  
貞升健志<sup>1)</sup>、吉村和久<sup>3)</sup>

- 1) 東京都健康安全研究センター微生物部
- 2) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所
- 3) 東京都健康安全研究センター

WS02-3 HIV-1陽性例を用いた感染初期検体に関する検討

北村有里恵<sup>1)</sup>、小泉美優<sup>1)</sup>、河上麻美代<sup>1)</sup>、  
黒木絢士郎<sup>1)</sup>、浅倉弘幸<sup>1)</sup>、三宅啓文<sup>1)</sup>、  
長島真美<sup>2)</sup>、千葉隆司<sup>1)</sup>、貞升健志<sup>1)</sup>、  
西塚 至<sup>3)</sup>、城所敏英<sup>4)</sup>、吉村和久<sup>2)</sup>

- 1) 東京都健康安全研究センター 微生物部
- 2) 東京都健康安全研究センター
- 3) 東京都保健医療局
- 4) 元東京都新宿東口検査・相談室

# ワークショップ

WS02-4 献血者における HIV-1 陽性率、サブタイプ、薬剤耐性変異の解析  
吉政 隆、蒿麦田理英子、松林圭二、谷 廉彦  
日本赤十字社 血液事業本部 中央血液研究所

WS02-5 大阪府における HIV 確認検査陽性検体における HIV 薬剤耐性変異と分子疫学解析  
阪野文哉<sup>1)</sup>、浜みなみ<sup>1)</sup>、川畠拓也<sup>1)</sup>、  
菊地 正<sup>2)</sup>  
1) 地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所  
2) 国立健康危機管理研究機構

■日時：12月6日（土） 17:00～18:20

■会場：第4会場（3F 会議室B1-3）

## ワークショップ3（社会・S） 行動科学・意識調査

座長 戸ヶ里泰典  
(放送大学 教養学部)

三輪岳史  
(認定NPO法人ぶれいす東京 研究・研修部門)

WS03-1 健康に関する統制の所在が保健行動およびスティグマに及ぼす影響  
神野未佳<sup>1)</sup>、安尾利彦<sup>1,2)</sup>、西川歩美<sup>2)</sup>、  
森田眞子<sup>2)</sup>、富田朋子<sup>2)</sup>、宮本哲雄<sup>2)</sup>、  
水木 薫<sup>2)</sup>、牧 寛子<sup>2)</sup>、渡邊 大<sup>1)</sup>  
1) 大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター  
2) 大阪医療センター臨床心理室

WS03-2 HIV/AIDS の自己責任認識に関する調査  
- 他疾患との比較を通して -  
金井講治<sup>1,2)</sup>、長瀬亜岐<sup>1)</sup>、池田 学<sup>2)</sup>  
1) 三重大学保健管理センター  
2) 大阪大学大学院医学系研究科 精神医学

WS03-3 U=U の知識および HIV 陽性の友人の有無と、性行為に関する意思決定との関連  
三輪岳史<sup>1,2)</sup>、山口正純<sup>3)</sup>、生島 嗣<sup>1)</sup>、  
若林チヒロ<sup>4)</sup>、Carol Strong<sup>2)</sup>  
1) 認定NPO法人ぶれいす東京  
2) 國立成功大學公共衛生學系  
3) 博慈会長寿リハビリセンター病院  
4) 埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科

WS03-4 日本国内の一般住民における HIV 関連知識の多寡、HIV パブリックスティグマ、HIV 陽性者に対する社会的距離の状況、及びそれらの関連要因の検討

井上洋士<sup>1)</sup>、大北全俊<sup>2)</sup>、戸ヶ里泰典<sup>3)</sup>、  
細川陸也<sup>4)</sup>、稻元洋輔<sup>5)</sup>、山崎 厚<sup>6)</sup>、  
白阪琢磨<sup>6)</sup>

- 1) 株式会社アクセライト
- 2) 滋賀医科大学
- 3) 放送大学
- 4) 京都府立医科大学
- 5) 公益社団法人 国際経済労働研究所
- 6) 公益社団法人エイズ予防財団

WS03-5 Positive Perspectives 3 研究  
(PP3) のデータが示す、U=U（検出限界未満=感染しない）に関する認知度・信頼性・安心感のさらなる普及の必要性

Rickesh Patel<sup>1)</sup>、  
Brent Allan<sup>2)</sup>、Garry Brough<sup>3)</sup>、  
Mario Cascio<sup>4)</sup>、Erika Castellanos<sup>5)</sup>、  
Antonella Cingolani<sup>6)</sup>、  
Vuyiseka Dubula<sup>7)</sup>、W. David Hardy<sup>8)</sup>、  
Kota Iwahashi<sup>9)</sup>、Sindy Mbundwini<sup>10)</sup>、  
Marta McBritton<sup>11)</sup>、  
Mary Ndung'u<sup>12)</sup>、Bruce Richman<sup>13)</sup>、  
Mercy Shibemba<sup>14)</sup>、  
Ama Appiah<sup>15)</sup>、Dainielle Fox<sup>1)</sup>、  
Mariel Mayer<sup>1)</sup> 笹井明日香<sup>15)</sup>

- 1) ViiV Healthcare, London, UK
- 2) The National Association of People with HIV Australia, Newtown, Australia
- 3) Transformation Partners in Health and Care, London, UK
- 4) European AIDS Treatment Group (EATG), Brussels, Belgium
- 5) Global Action for Trans Equality (GATE), Mijdrecht, Netherlands
- 6) Fondazione Policlinico Universitario Agostino Gemelli IRCCS, Catholic University of the Sacred Heart, Rome, Italy
- 7) The Global Fund, Geneva, Switzerland
- 8) USC Rand Schrader HIV Clinic, Keck School of Medicine of USC, Los Angeles, CA, USA
- 9) 特定非営利活動法人 akta, 東京, 日本
- 10) Nelson Mandela University, Port Elizabeth, South Africa
- 11) Barong, Sao Paulo, Brazil
- 12) Women's Health in Women's Hands Community Centre, Toronto, Canada
- 13) Prevention Access Campaign, New York, NY, USA
- 14) BBC Children in Need, Manchester, UK
- 15) ヴィープヘルスケア株式会社, 東京, 日本

# ワークショップ

## WS03-6 国内におけるゲイ男性のボディイメージに関する定量的調査

松本武士<sup>1,3,4)</sup>、星野藍子<sup>2)</sup>

- 1) 名古屋大学大学院 医学系研究科 総合保健学専攻 博士後期課程
- 2) 名古屋大学大学院 医学系研究科 総合保健学専攻
- 3) 医療法人社団大和会 大内病院
- 4) にじいろリハネット

■日時：12月6日（土）17:55～19:10

■会場：第3会場（3F 会議室A4）

### ワークショップ4（基礎・B）

若手研究者口演

座長 佐藤賢文

（熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

池田輝政

（熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

## WS04-1 HIV-1 Vif による APOBEC3H 二量体

## P-B02-8 の部位特異的ユビキチン化機構の構造学的基盤

松岡和弘<sup>1)</sup>、Katarzyna Skorupka<sup>2)</sup>、  
Vanivilasini Balachandran<sup>2)</sup>、  
松尾 浩<sup>2)</sup>、岩谷靖雅<sup>1,3)</sup>

- 1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部
- 2) Cancer Innovation Laboratory, Frederick National Laboratory for Cancer Research, NCI, NIH
- 3) 名古屋大学大学院医学系研究科 基礎医学領域

## WS04-2 Genome-wide CRISPR Screening P-B02-3 to Identify Genes Regulating the Stability of the HIV-1 Tat Protein

Caroline Jelagat<sup>1)</sup>、  
Ryosuke Nomura<sup>1)</sup>、Hiroyuki Matsui<sup>1)</sup>、  
Tadahiko Matsumoto<sup>1)</sup>、  
Yusuke Tashiro<sup>1)</sup>、  
Yoshinobu Konishi<sup>1)</sup>、  
Yusuke Okamoto<sup>1)</sup>、  
Tomoshige Shimizu<sup>1)</sup>、Kotaro Suzuki<sup>1)</sup>、  
Kazunari Aoki<sup>2)</sup>、Kosuke Yusa<sup>2)</sup>、  
Takaori-Kondo Akifumi<sup>1)</sup>、  
Kotaro Shirakawa<sup>1)</sup>

- 1) Department of Hematology, Graduate School of Medicine, Kyoto University
- 2) Laboratory of Stem Cell Genetics, Institute of Frontier Life and Medical Sciences, Kyoto University

## WS04-3 A Novel Human Microglial Clone-Based Model to characterize HIV-1 Latency in CNS

Randa A Abdelnaser、  
Youssef M. Eltakawy、Shinya Suzu

Division of Infection and Hematopoiesis,  
Joint Research Center for Human Retrovirus  
Infection, Kumamoto University, Kumamoto,  
Japan.

## WS04-4 腸内細菌由来の細胞外小胞が HIV リザーバーの維持に果たす役割

石坂 彩<sup>1)</sup>、水谷壯利<sup>2,3)</sup>、古賀道子<sup>4,5)</sup>、  
山本浩之<sup>3)</sup>、四柳 宏<sup>1,4,6)</sup>

- 1) 東京大学 医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野
- 2) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 検査診断技術研究部
- 3) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター
- 4) 東京大学 医科学研究所附属病院 感染免疫内科
- 5) 東京大学 国際高等研究所 新世代感染症センター
- 6) 国立健康危機管理研究機構

## WS04-5 P-B03-6 Integrated single cell analysis of HTLV-1 specific CD8 T cells in peripheral blood and cerebrospinal fluid from HAM/TSP patients

Md Saiful Islam<sup>1)</sup>、  
Kenji Sugata<sup>1)</sup>、Benjy Jek Yang Tan<sup>1)</sup>、  
Mitsuyoshi Takatori<sup>1)</sup>、  
Md Samiul Alam Rajib<sup>1)</sup>、  
Omnia Reda<sup>1)</sup>、Masahito Tokunaga<sup>2)</sup>、  
Toshiya Nomura<sup>3)</sup>、Teruaki Masuda<sup>3)</sup>、  
Makoto Nakashima<sup>4,5)</sup>、  
Tomoo Sato<sup>4,5)</sup>、  
Mitsuharu Ueda<sup>3)</sup>、Atae Utsunomiya<sup>2)</sup>、  
Yoshihisa Yamano<sup>4,5)</sup>、  
Yorifumi Satou<sup>1)</sup>

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス感染症共同研究センター グノミクス・トランスクリプトミクス部門
- 2) Department of Hematology, Imamura General Hospital
- 3) Department of Neurology, Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University
- 4) Department of Rare Diseases Research, Institute of Medical Science, St. Marianna University School of Medicine
- 5) Department of Neurology, St. Marianna University School of Medicine

# 一般演題（口演）

■日時：12月5日（金） 9:10～10:10

■会場：第4会場（3F 会議室B1-3）

## 口演1（臨床・C）

### 日和見感染・悪性腫瘍・肺炎 1

座長 高濱宗一郎

（国立病院機構九州医療センター 免疫感染症内科）

菊池 嘉

（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター）

### 001-1 抗HIV・抗結核療法中に発症したトキソプラズマ脳炎の一例

窪野裕太<sup>1,2)</sup>、川島 亮<sup>1,3,4)</sup>、中本貴人<sup>1,4)</sup>、  
川原史也<sup>3)</sup>、佐々木充子<sup>1)</sup>、桑田 亮<sup>1)</sup>、  
阿部静太郎<sup>1)</sup>、井上恵理<sup>1)</sup>、安藤尚克<sup>1)</sup>、  
柳川泰昭<sup>1)</sup>、上村 悠<sup>1)</sup>、水島大輔<sup>1,4)</sup>、  
青木孝弘<sup>1)</sup>、永宗喜三郎<sup>3)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、  
鶴永博之<sup>1,4)</sup>

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 総合感染症科 / 国際感染症センター
- 3) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 寄生動物部
- 4) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター

### 001-2 HIV 感染判明時に進行性多巣性白質脳症（PML）を合併していた後天性免疫不全症候群（AIDS）の2症例

木村 哲<sup>1)</sup>、内田康裕<sup>1)</sup>、亀井奈緒美<sup>1)</sup>、  
深津真彦<sup>1)</sup>、阿部亜妃子<sup>2)</sup>、移川基子<sup>3)</sup>、  
梅宮真衣<sup>4)</sup>、木村奈津子<sup>4)</sup>、野田ゆかり<sup>5)</sup>、  
松本貴智<sup>6)</sup>、岩崎紗織<sup>7)</sup>、金井数明<sup>2)</sup>、  
池添隆之<sup>1)</sup>

- 1) 福島県立医科大学 血液内科学講座
- 2) 福島県立医科大学 脳神経内科学講座
- 3) 福島県立医科大学付属病院 薬剤部
- 4) 福島県立医科大学付属病院 看護部
- 5) 福島県立医科大学付属病院 心身医療科
- 6) 福島県立医科大学 大学健康管理センター
- 7) 福島県立医科大学付属病院 医療連携相談室

### 001-3 播種性 *Mycobacterium avium* complex 症による免疫再構築症候群に合併した形質芽球性リンパ腫の1例

三浦基嗣<sup>1)</sup>、相澤陽太<sup>1)</sup>、関谷綾子<sup>1)</sup>、  
福島一彰<sup>1)</sup>、山本浩貴<sup>1)</sup>、吉田恭子<sup>1)</sup>、  
鵜飼康平<sup>1,2)</sup>、鄭 瑞雄<sup>1)</sup>、田中 勝<sup>1)</sup>、  
小林泰一郎<sup>1)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

- 1) 都立駒込病院 感染症科
- 2) 東京都保健医療局 感染症対策部 調査・分析課

### 001-4 未治療のHIV陽性者に生じた肝原発多発Burkittリンパ腫の1例

丸木孟知<sup>1)</sup>、馬渡桃子<sup>1)</sup>、内野康志<sup>2)</sup>、  
谷口博順<sup>2)</sup>、小倉瑞生<sup>3)</sup>、上田晃弘<sup>1)</sup>

- 1) 日本赤十字社医療センター 感染症科
- 2) 日本赤十字社医療センター 消化器内科
- 3) 日本赤十字社医療センター 血液内科

### 001-5 Temporal Trends and HIV-Stratified Risk of Peripheral Neuropathy During Rifampicin-Resistant TB Treatment in South Africa

Yui Shintani<sup>1,2)</sup>、Jason E. Farley<sup>3)</sup>、  
Kelly Lowensen<sup>3)</sup>、  
Marie Diener-West<sup>1)</sup>

- 1) Bloomberg School of public health, Johns Hopkins University
- 2) AIDS Clinical Center, National Center for Global Health and Medicine, Japan institute for Health Security
- 3) Nursing Leadership and Innovation Johns Hopkins University School of Nursing

### 001-6 HIV陽性MSMにおける肛門擦過細胞診の実施状況と異型扁平上皮細胞の頻度に関する検討

渋谷晃子、森 信好  
聖路加国際病院感染症科

■日時：12月5日（金） 9:10～10:10

■会場：第5会場（3F 会議室C1-2）

## 口演2（社会・S）

### 政策・医療体制

座長 岩橋恒太

（特定非営利活動法人 akta）

和田秀穂

（川崎医科大学 総合臨床医学）

### 002-1 日本エイズ学会における早期治療推進検討委員会の設立とその目的

井上洋士<sup>1,10)</sup>、田沼順子<sup>2,10)</sup>、  
谷口俊文<sup>3,10)</sup>、四本美保子<sup>4,10)</sup>、松下修三<sup>5,10)</sup>、  
椎野禎一郎<sup>6,10)</sup>、生島 嗣<sup>7,10)</sup>、高久陽介<sup>8,10)</sup>、  
金子典代<sup>9,10)</sup>、葛田衣重<sup>3,10)</sup>、杉浦 瓦<sup>6,10)</sup>

- 1) 株式会社アクセライト
- 2) 国際医療福祉大学医学部
- 3) 千葉大学医学部附属病院
- 4) 東京医科大学病院
- 5) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 6) 国立健康危機管理研究機構
- 7) 認定NPO法人ぶれいす東京
- 8) NPO日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 9) 名古屋市立大学大学院看護学研究科
- 10) 一般社団法人日本エイズ学会

# 一般演題（口演）

002-2 HIV陽性者の精神科受診促進に向けた連携構築に関する実態調査—全国のエイズ診療拠点病院に勤務する感染症内科医への調査（第一報）—

香月邦彦<sup>1)</sup>、平川夏帆<sup>2)</sup>、石丸大貴<sup>3)</sup>、  
鈴木麻希<sup>4,5)</sup>、池田 学<sup>5)</sup>

- 1) 公益財団法人エイズ予防財団
- 2) 大阪大学医学部附属病院 神経科精神科
- 3) 大阪大学医学部附属病院 医療技術部リハビリ部門  
神経科精神科
- 4) 大阪大学大学院連合小児発達学研究科 行動神経学・  
神経精神医学
- 5) 大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室

002-3 HIV陽性者の精神科受診促進に向けた連携構築に関する実態調査—全国のエイズ診療拠点病院に勤務する感染症内科医への調査（第二報）—

平川夏帆<sup>1)</sup>、鈴木麻希<sup>2,3)</sup>、香月邦彦<sup>3,4)</sup>、  
増田柚衣<sup>3,4,5)</sup>、池田 学<sup>3)</sup>

- 1) 大阪大学医学部附属病院 神経科精神科
- 2) 大阪大学大学院連合小児発達学研究科 行動神経学・  
神経精神医学
- 3) 大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室
- 4) 公益財団法人エイズ予防財団
- 5) 京都大学大学院 人間・環境学研究科

002-4 診療所におけるHIV感染症診療の試み  
- 第18報

根岸昌功、河村（荒井）祐貴子、河野小夜子、  
西岡春菜  
ねぎし内科診療所

002-5 性感染症科目を併設したHIV診療クリニックの意義 - 2年目の報告 -

迫田直樹<sup>1)</sup>、中川あゆみ<sup>1)</sup>、矢倉裕輝<sup>1,2)</sup>、  
白阪琢磨<sup>1,2)</sup>、古林敬一<sup>1)</sup>

- 1) たにょんスタートクリニック
- 2) 国立病院機構大阪医療センター

002-6 がん末期の血友病（類縁疾患含む）患者と  
HIV陽性者の緩和ケア病棟での受入れについて

岡本 学<sup>1,5)</sup>、渡邊 大<sup>2)</sup>、相木佐代<sup>3)</sup>、  
関根知嘉子<sup>4,5)</sup>、長谷川友美<sup>4,5)</sup>

- 1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV地域医療支援室
- 2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 感染症内科
- 3) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 緩和ケア内科
- 4) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター がん相談支援センター
- 5) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 医療福祉相談室

■日時：12月5日（金）9:10～10:00

■会場：第6会場（3F 会議室D1-2）

口演3（臨床・C）

臨床薬理・PK/PD・薬剤耐性

座長 矢倉裕輝

（国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター エイズ先端医療研究部）

菊地 正

（国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター）

003-1 ビケテグラビル/エムトリシタビン/テノホビルアラフェナミド配合錠投与時のテノホビル血漿トラフ濃度に関する検討

矢倉裕輝<sup>1,2)</sup>、中内崇夫<sup>2)</sup>、岸田啓太郎<sup>2)</sup>、  
祝洸太朗<sup>2)</sup>、小西啓司<sup>3)</sup>、廣田和之<sup>3)</sup>、  
上地隆史<sup>3)</sup>、西田恭治<sup>3)</sup>、上平朝子<sup>3)</sup>、  
白阪琢磨<sup>3)</sup>、渡邊 大<sup>1,3)</sup>

- 1) 国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター エイズ先端医療研究部
- 2) 国立病院機構大阪医療センター 薬剤部
- 3) 国立病院機構大阪医療センター 感染症内科

003-2 曝露前予防内服における乾燥ろ紙血中のTFV-DP およびFTC-TP 濃度についての検討

土屋亮人<sup>1)</sup>、林 善治<sup>2)</sup>、劉 晶樂<sup>2)</sup>、  
Hieu Trung Tran<sup>1,3)</sup>、高野 操<sup>1)</sup>、  
田中和子<sup>1)</sup>、水島大輔<sup>1,3)</sup>、岡 慎一<sup>1,3)</sup>、  
潟永博之<sup>1,3)</sup>、濱田哲暢<sup>2)</sup>

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 国立がん研究センター 研究所 分子薬理研究分野
- 3) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター

003-3 大量失血を伴う手術時におけるレナカパビルの血中濃度の推移

遠藤健知<sup>1,2)</sup>、田澤佑基<sup>2,3)</sup>、新井崇之<sup>3)</sup>、  
後藤秀樹<sup>2,4)</sup>、松川敏大<sup>2,4)</sup>、荒 隆英<sup>2,4)</sup>、  
長谷川祐太<sup>2,4)</sup>、長井 慎<sup>4,5)</sup>、森木朝子<sup>4,5)</sup>、  
高橋知希<sup>4,5)</sup>、後藤了一<sup>2,6)</sup>、嶋村 剛<sup>7)</sup>、  
原 貴信<sup>8)</sup>、曾山明彦<sup>8)</sup>、江口 晋<sup>2,4)</sup>、  
豊嶋崇徳<sup>2,4)</sup>

- 1) 北海道大学病院 感染制御部
- 2) 北海道大学病院 HIV診療支援センター
- 3) 北海道大学病院 薬剤部
- 4) 北海道大学病院 血液内科
- 5) エイズ予防財団
- 6) 北海道大学病院 消化器外科
- 7) 北海道大学病院 臓器移植医療部
- 8) 長崎大学大学院 移植・消化器外科学

# 一般演題（口演）

003-4 2024年の国内新規診断未治療HIV感染者・AIDS患者における薬剤耐性HIV-1の動向

菊地 正<sup>1)</sup>、西澤雅子<sup>1)</sup>、林田庸総<sup>1)</sup>、  
潟永博之<sup>1)</sup>、豊嶋崇徳<sup>2)</sup>、吉田 繁<sup>3)</sup>、  
伊藤俊広<sup>4)</sup>、古賀道子<sup>5)</sup>、長島真美<sup>6)</sup>、  
貞升健志<sup>6)</sup>、佐野貴子<sup>7)</sup>、宇野俊介<sup>8)</sup>、  
谷口俊文<sup>9)</sup>、猪狩英俊<sup>9)</sup>、寒川 整<sup>10)</sup>、  
中島秀明<sup>10)</sup>、吉野友祐<sup>11)</sup>、堀場昌英<sup>12)</sup>、  
茂呂 寛<sup>13)</sup>、渡邊珠代<sup>14)</sup>、今橋真弓<sup>15)</sup>、  
松田昌和<sup>15)</sup>、重見 麗<sup>15)</sup>、岩谷靖雅<sup>15)</sup>、  
横幕能行<sup>15)</sup>、渡邊 大<sup>16)</sup>、阪野文哉<sup>17)</sup>、  
川畠拓也<sup>17)</sup>、藤井輝久<sup>18)</sup>、高田清式<sup>19)</sup>、  
末盛浩一郎<sup>19)</sup>、中村麻子<sup>20)</sup>、南 留美<sup>21)</sup>、  
松下修三<sup>22)</sup>、仲村秀太<sup>23)</sup>、小島潮子<sup>1)</sup>、  
Lucky Runtuwene<sup>1)</sup>、椎野禎一郎<sup>1)</sup>、  
吉村和久<sup>6)</sup>、杉浦 亘<sup>1)</sup>

- 1) 国立健康危機管理研究機構  
2) 北海道大学  
3) 北海道医療大学  
4) 仙台医療センター  
5) 東京大学  
6) 東京都健康安全研究センター  
7) 神奈川県衛生研究所  
8) 慶應義塾大学  
9) 千葉大学  
10) 横浜市立大学  
11) 帝京大学  
12) 東埼玉病院  
13) 新潟大学  
14) 石川県立中央病院  
15) 名古屋医療センター  
16) 大阪医療センター  
17) 大阪健康安全基盤研究所  
18) 広島大学  
19) 愛媛大学  
20) 福岡県保健環境研究所  
21) 九州医療センター  
22) 熊本大学  
23) 琉球大学

003-5 BIC/TAF/FTCによる初回の抗ウイルス療法に耐性を示しDRV/cobi/TAF/FTC+DTG(BID)への切り替え後に治療成功が得られたHIV感染症の一例

西谷真来<sup>1)</sup>、小宅達郎<sup>1)</sup>、工藤正樹<sup>2)</sup>、  
朝賀純一<sup>2)</sup>、岡野良昭<sup>1)</sup>、古和田周吾<sup>1)</sup>、  
伊藤薰樹<sup>1)</sup>

- 1) 岩手医科大学 内科学分野 血液腫瘍内科  
2) 岩手医科大学附属病院薬剤部

■日時：12月5日（金）10:10～11:00

■会場：第4会場（3F 会議室B1-3）

口演4（臨床・C）

抗HIV療法1

座長 中田浩智

（熊本大学 感染免疫診療部）

村松 崇

（東京医科大学病院 臨床検査医学科）

004-1 Efficacy and Safety After Switch to Doravirine/Islatravir (100/0.25 mg) Once Daily: Week 48 Results From Two Phase 3 Studies in Adults Living With HIV-1

木内 英<sup>1)</sup>、潟永博之<sup>2)</sup>、  
横幕能行<sup>3)</sup>、白阪琢磨<sup>4)</sup>、宮澤有哉<sup>5)</sup>、  
山田桃香<sup>5)</sup>、Stephanie O. Klopfer<sup>6)</sup>、  
Rima Lahoulou<sup>7)</sup>、Jason Yun Kim<sup>6)</sup>、  
Luisa M. Stamm<sup>6)</sup>、Michelle C. Fox<sup>6)</sup>、  
初澤由香理<sup>5)</sup>

- 1) 東京医科大学病院  
2) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター  
3) 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター  
4) 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター  
5) MSD 株式会社  
6) Merck & Co., Inc.  
7) MSD France

# 一般演題（口演）

004-2	<p><b>Efficacy and Safety by Age After Switch to Doravirine/Islatravir (100 mg/0.25 mg): Week 48 Results from Two Phase 3 Studies in Adults Living with HIV-1</b></p> <p>Pablo Tebas<sup>1)</sup>、Frank A. Post<sup>2)</sup>、Moti Ramgopal<sup>3)</sup>、Marcel Stoeckle<sup>4)</sup>、Andrew Carr<sup>5)</sup>、Olayemi O. Osiyemi<sup>6)</sup>、Ronald G. Nahass<sup>7)</sup>、Harold P. Katner<sup>8)</sup>、Jason Szabo<sup>9)</sup>、Anjana Grandhi<sup>10)</sup>、Monica Fuszard<sup>11)</sup>、Stephanie O. Klopfer<sup>10)</sup>、Rima Lahoulou<sup>11)</sup>、Luisa M. Stamm<sup>10)</sup>、Michelle C. Fox<sup>10)</sup>、Jason Kim<sup>10)</sup>、近藤孝行<sup>12)</sup></p> <p>1) Penn Center for AIDS Research, University of Pennsylvania 2) King's College Hospital NHS Foundation Trust 3) Midway Immunology and Research Center 4) University Hospital Basel, University of Basel 5) St Vincent's Hospital, Sydney 6) Triple O Research Institute 7) Infectious Disease Care 8) Mercer University School of Medicine 9) L'Actuel Medical Clinic 10) Merck &amp; Co., Inc. 11) MSD France 12) MSD 株式会社メディカルアフェアーズ</p>	004-4	<p><b>Evaluation of Fasting Lipids and Insulin Resistance After Switch to Doravirine/Islatravir (100 mg/0.25 mg): Week 48 Results From Two Phase 3 Studies</b></p> <p>Alexandra Calmy<sup>1)</sup>、Amy Colson<sup>2,3)</sup>、John R. Koethe<sup>4)</sup>、Julie Fox<sup>5)</sup>、Simiso M. Sokhela<sup>6)</sup>、鴻永博之<sup>7)</sup>、Peter J. Ruane<sup>8)</sup>、Gordon E. Crofoot<sup>9)</sup>、Princy N. Kumar<sup>10)</sup>、Mark T. Bloch<sup>11)</sup>、Jason Kim<sup>12)</sup>、Michelle C. Fox<sup>12)</sup>、Anjana Grandhi<sup>12)</sup>、Stephanie O. Klopfer<sup>12)</sup>、Luisa M. Stamm<sup>12)</sup>、Rima Lahoulou<sup>13)</sup>、服部純子<sup>14)</sup></p> <p>1) Geneva University Hospital, University of Geneva 2) Community Resource Initiative 3) Cambridge Health Alliance 4) Vanderbilt University Medical Center 5) Guy's and St. Thomas' NHS Foundation Trust, Guy's Hospital 6) Ezintsha Research Centre, Faculty of Health Sciences, University of the Witwatersrand 7) AIDS Clinical Center, Japan Institute for Health Security 8) Ruane Clinical Research Group 9) The Crofoot Research Center, Inc. 10) Georgetown University Medical Center 11) Holdsworth House 12) Merck &amp; Co., Inc. 13) MSD France 14) MSD 株式会社メディカルアフェアーズ</p>
004-3	<p><b>Weight and Body Composition After Switch to Doravirine/Islatravir (100 mg/0.25 mg) from BIC/FTC/TAF: Week 48 Results From a Phase 3 Study</b></p> <p>Chloe Orkin<sup>1)</sup>、Fiona R. Bisshop<sup>2)</sup>、鴻永博之<sup>3)</sup>、Douglas L. Cunningham<sup>4)</sup>、Anthony M. Mills<sup>5)</sup>、Christopher J. Bettacchi<sup>6)</sup>、Carolina E. Chahin Anania<sup>7)</sup>、Michelle C. Fox<sup>8)</sup>、Yayun Xu<sup>8)</sup>、Stephanie O. Klopfer<sup>8)</sup>、Luisa M. Stamm<sup>8)</sup>、Rima Lahoulou<sup>9)</sup>、服部純子<sup>10)</sup></p> <p>1) Queen Mary University of London 2) Holdsworth House Medical Practice 3) AIDS Clinical Center, Japan Institute for Health Security 4) Pueblo Family Physicians Ltd 5) Men's Health Foundation 6) HIV Center, North Texas Infectious Diseases Consultants 7) Hospital Hernan Henriquez Aravena 8) Merck &amp; Co., Inc. 9) MSD France 10) MSD 株式会社メディカルアフェアーズ</p>	004-5	<p><b>HIV 患者における抗 HIV 療法前後の HIV 潜伏感染細胞の測定に関する研究</b></p> <p>宮田美保<sup>1)</sup>、土屋亮人<sup>1)</sup>、川島 亮<sup>1,2)</sup>、松田幸樹<sup>3)</sup>、前田賢次<sup>3)</sup>、佐藤賢文<sup>2)</sup>、鴻永博之<sup>1,2)</sup></p> <p>1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター 2) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 3) 鹿児島大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター</p>

# 一般演題（口演）

■日時：12月5日（金） 13:30～14:20

■会場：第4会場（3F 会議室B1-3）

## 口演5（社会・S）

### 薬害・陽性者支援

座長 中尾 紗

（愛媛大学大学院医学系研究科 感染制御学）

岡本 学

（国立病院機構大阪医療センター 医療福祉相談室 HIV 地域医療支援室）

### 005-1 HIV カウンセラーの教育支援体制構築に向けた九州ブロックにおける実態調査

関口 愛<sup>1)</sup>、長浦由紀<sup>2)</sup>、曾我真千恵<sup>3)</sup>

1) 大分大学医学部臨床薬理学講座

2) 長崎大学病院総合診療科

3) 国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター

### 005-2 薬害 HIV 患者への「お声かけ」の試みに関する現状の整理と意義の検討

宮本哲雄<sup>1)</sup>、安尾利彦<sup>2)</sup>、森田眞子<sup>2)</sup>、  
富田朋子<sup>2)</sup>、西川歩美<sup>2)</sup>、水木 薫<sup>2)</sup>、  
牧 寛子<sup>2)</sup>、神野未佳<sup>3)</sup>

1) 大阪医療センター臨床心理室 /HIV 地域医療支援室

2) 大阪医療センター臨床心理室

3) 大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

### 005-3 「ゆる会」実施報告

加藤力也<sup>1)</sup>、大島 岳<sup>1,2)</sup>、牧原信也<sup>1)</sup>、  
生島 翔<sup>1)</sup>

1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京

2) 明治大学

### 005-4 薬害 HIV 感染被害者における在宅就労支援の取り組み：ペイシェントジャーニーを考慮した支援成果

田端 聰<sup>1)</sup>、ライアン 千穂<sup>1)</sup>、久地井寿哉<sup>3,4)</sup>、  
岩野友里<sup>3)</sup>、柿沼章子<sup>3)</sup>、菊池庸介<sup>2)</sup>、  
田中良明<sup>2)</sup>

1) NPO 法人リンパカフェ

2) NPO 法人在宅就労支援事業団

3) 社会福祉法人はばたき福祉事業団

4) 公益財団法人エイズ予防財団

### 005-5 HIV 陽性者参加のフォーカス・グループ・インタビューを通じて得られた、免疫機能障害による身体障害者手帳制度の認定基準改正と早期治療開始に対する意向と課題

井上洋士<sup>1)</sup>、高久陽介<sup>2)</sup>、大島 岳<sup>3)</sup>、  
細川陸也<sup>4)</sup>、戸ヶ里泰典<sup>5)</sup>

1) 株式会社アクセライト

2) NPO 日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス

3) 明治大学情報コミュニケーション学部

4) 京都府立医科大学医学部

5) 放送大学

■日時：12月5日（金） 13:30～14:20

■会場：第5会場（3F 会議室C1-2）

## 口演6（基礎・B）

### 複製感染機構

座長 門出和精

（熊本大学 大学院生命科学研究部 微生物学講座）

櫻木淳一

（国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター）

### 006-1 Analysis of the effect of virologically unique synonymous single-nucleotide mutations on the HIV-1 gene expression

Quoc Bao Le<sup>1)</sup>、Quoc Khanh Tran<sup>1)</sup>、  
駒 貴明<sup>1)</sup>、土肥直哉<sup>1)</sup>、近藤智之<sup>1)</sup>、  
稻元佑真<sup>2)</sup>、足立昭夫<sup>1)</sup>、野間口雅子<sup>1)</sup>

1) 徳島大学大学院医歯薬学研究部

2) 徳島大学理工学部理工学科医光 / 医工融合プログラム

### 006-2 Regulation of HIV-1 tat mRNAs production by altering nucleotide sequence surrounding the SA3 site

Quoc Khanh Tran<sup>1)</sup>、Quoc Bao Le<sup>1)</sup>、  
駒 貴明<sup>1)</sup>、土肥直哉<sup>1)</sup>、近藤智之<sup>1)</sup>、  
伊藤颯真<sup>2)</sup>、久保慈英<sup>2)</sup>、森 大<sup>2)</sup>、  
稻元佑真<sup>3)</sup>、足立昭夫<sup>1)</sup>、野間口雅子<sup>1)</sup>

1) 徳島大学大学院医歯薬学研究部

2) 徳島大学医学部医学科

3) 徳島大学理工学部理工学科医光 / 医工融合プログラム

# 一般演題（口演）

## 006-3 LENACAPAVIR INHIBITS VIRAL FORMATION AT THE LATE STAGE OF THE HIV-1 LIFE CYCLE

Wright Andrews Ofotsu Amesimeku<sup>1)</sup>、Yoshihiro Nakata<sup>2)</sup>、Hirotaka Ode<sup>2)</sup>、Nami Monde<sup>1)</sup>、Hiromi Terasawa<sup>1)</sup>、Perpetual Nyame<sup>1)</sup>、Md. Jakir Hossain<sup>1)</sup>、Terumasa Ikeda<sup>3)</sup>、Akatsuki Saito<sup>4)</sup>、Tomohiro Sawa<sup>1)</sup>、Yosuke Maeda<sup>1)</sup>、Yasumasa Iwatani<sup>2)</sup>、Kazuaki Monde<sup>1)</sup>

- 1) Department of Microbiology, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University
- 2) National Hospital Organization Nagoya Medical Center. Clinical Research Center, Department of Infectious Diseases and Immunology.
- 3) Division of Molecular Virology and Genetics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University.
- 4) Department of Veterinary Medicine, University of Miyazaki.

## 006-4 増殖性マクロファージの同定と HIV 感染との関連

高橋尚史、Sara Habash、鈴 伸也

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

## 006-5 マエディ・ビスナウイルスベクター系の樹立とレンチウイルス比較解析への展開

Alhaji M. Jalloh<sup>1,2)</sup>、中村伊沙<sup>3)</sup>、萩原克郎<sup>3)</sup>、上野貴将<sup>2)</sup>、徳永研三<sup>1,2)</sup>

- 1) 国立感染症研究所 感染病理部
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 酪農学園大学 獣医学群 獣医学類

■日時：12月5日（金） 13:30～14:20

■会場：第6会場（3F 会議室D1-2）

口演7（臨床・C）

U=Uと挙児希望・母子感染・歯科 1

座長 小田知生

（国立病院機構名古屋医療センター 歯科口腔外科）

高鍋雄亮

（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 歯科・口腔外科）

## 007-1 歯科衛生士教育機関における HIV 感染症の教育ツール作成に関する調査研究

中川裕美子<sup>1)</sup>、宇佐美雄司<sup>2)</sup>、小田知生<sup>2)</sup>

- 1) 大手前短期大学歯科衛生学科
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター 歯科口腔外科

## 007-2 卒後臨床研修歯科医師における HIV/AIDS に関する認識についての検討

宇佐美雄司<sup>1)</sup>、佐藤 淳<sup>2)</sup>、後藤 哲<sup>3)</sup>、斎藤夕子<sup>4)</sup>、丸岡 豊<sup>5)</sup>、高木純一郎<sup>6)</sup>、鹿野 学<sup>7)</sup>、柴 秀樹<sup>8)</sup>、吉川博政<sup>9)</sup>

- 1) 名古屋医療センター歯科口腔外科
- 2) 北海道大学大学院歯学研究科口腔診断内科学教室
- 3) 仙台医療センター歯科口腔外科
- 4) 新潟大学医歯学総合研究科顎顔面口腔外科学分野
- 5) 国立国際医療センター歯科・口腔外科
- 6) 石川県立中央病院歯科口腔外科
- 7) 大阪医療センター歯科口腔外科
- 8) 広島大学大学院医系科学研究科歯髄生物学研究室
- 9) 九州医療センター歯科口腔外科

## 007-3 HIV 感染血友病患者の抜歯処置に関する課題の検討

宮本里香<sup>1)</sup>、上村 悠<sup>1)</sup>、大金美和<sup>1)</sup>、池田和子<sup>1)</sup>、野崎宏枝<sup>1)</sup>、佐々木愛美<sup>1)</sup>、鈴木ひとみ<sup>1)</sup>、杉野祐子<sup>1)</sup>、谷口 紅<sup>1)</sup>、栗田あさみ<sup>1)</sup>、大杉福子<sup>1)</sup>、高橋昌也<sup>1)</sup>、木村聰太<sup>1)</sup>、近藤順子<sup>2)</sup>、中本貴人<sup>1)</sup>、高鍋雄亮<sup>2)</sup>、丸岡 豊<sup>2)</sup>、湯永博之<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 国立国際医療センター 歯科・口腔外科

## 007-4 HIV をふくむ性感染症に関する知識・情報の普及啓発～SNS を用いた情報発信の長期的動向～

高野政志<sup>1,2)</sup>、喜多恒介<sup>2,3,4)</sup>、川島史奈<sup>4)</sup>、鈴木ひとみ<sup>2,3,5)</sup>、羽柴知恵子<sup>2,3,6)</sup>、三上由美子<sup>2,3,7)</sup>、出口雅士<sup>2,8)</sup>、杉浦 敦<sup>2,9)</sup>、田中瑞恵<sup>2,10)</sup>、喜多恒和<sup>2,11)</sup>、高橋尚子<sup>2,12)</sup>、吉野直人<sup>2,12)</sup>

- 1) 防衛医科大学校医学教育部医学科産科婦人科学講座
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染者の妊娠・出産・予後にに関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究」
- 3) 分担班「多様な世代の国民向け HIV 感染妊娠の情報啓発アプローチの実践と基盤開発に向けた研究」
- 4) 株式会社キタイ工
- 5) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 6) 名古屋医療センター看護部エイズ治療開発センター
- 7) 防衛医科大学校医学教育部看護学科母性看護学講座
- 8) 神戸大学大学院医学研究科 外科系 講座産科婦人科 / 地域社会医学・健康 科学講座地域医療ネットワーク学分野
- 9) 武蔵野赤十字病院 産婦人科
- 10) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 小児科
- 11) 株式会社 農と科学の喜多研究所
- 12) 愛知県立大学看護学部

# 一般演題（口演）

007-5	死因の変化からみる HIV と共に生きる人々 (PWH) への療養支援を考える 前田サオリ <sup>1)</sup> 、宮城京子 <sup>1)</sup> 、仲村秀太 <sup>2)</sup> 、 石郷岡美穂 <sup>3)</sup> 、上原 仁 <sup>4)</sup> 、大田久美子 <sup>4)</sup> 、 上 薫 <sup>3)</sup> 、照屋美波 <sup>5)</sup> 、山川奈津子 <sup>6)</sup> 、 新里尚美 <sup>7)</sup> 、金城隆展 <sup>8)</sup> 1) 琉球大学病院看護部 2) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内 科学講座 3) 琉球大学病院医療福祉センター 4) 琉球大学病院薬剤部 5) 琉球大学病院精神科神経科 6) 琉球大学病院検査・輸血部 7) 沖縄県感染症診療保健医療部ワクチン接種等戦略課 8) 琉球大学病院地域・国際医療部	008-3	中核拠点病院およびブロック拠点病院連 携による非拠点病院通院薬害 HIV 感染被 害患者への支援 柿沼章子 <sup>1)</sup> 、久地井寿哉 <sup>1,2)</sup> 、岩野友里 <sup>1)</sup> 1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団 2) 公益財団法人エイズ予防財団
008-4		薬害 HIV 被害血友病患者における支援接 続を阻む要因と今後の支援体制の課題： 拠点病院通院患者への支援事例 岩野友里 <sup>1)</sup> 、久地井寿哉 <sup>1,2)</sup> 、柿沼章子 <sup>1)</sup> 1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団 2) 公益財団法人エイズ予防財団	
008-5		薬害 HIV 感染被害者の医療アクセスにお ける移動負担の実態と関連要因 久地井寿哉 <sup>1,2)</sup> 、岩野友里 <sup>1)</sup> 、柿沼章子 <sup>1)</sup> 1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団 2) 公益財団法人エイズ予防財団	
008-6	008-1 国立国際医療センターにおける薬害 HIV 感染者の入院に関する実態調査 井上桃花 <sup>1)</sup> 、影森彩夏 <sup>1)</sup> 、嶋津佑乃 <sup>1)</sup> 、 前田愛子 <sup>1)</sup> 、陳 麻理 <sup>1)</sup> 、河原崎彩佳 <sup>2)</sup> 、 大木悦子 <sup>3)</sup> 、池田和子 <sup>4)</sup> 、潟永博之 <sup>4)</sup> 、 青木孝弘 <sup>4)</sup> 、照屋勝治 <sup>4)</sup> 、上村 悠 <sup>4)</sup> 、 大金美和 <sup>4)</sup> 、大杉福子 <sup>4)</sup> 1) 国立国際医療センター看護部 2) 国立国際医療センター人材開発部研修課 3) 国立看護大学校研究課程部 4) エイズ治療・研究開発センター	008-6	被害者カテゴリーのパラドックス（二律 背反性） 山田富秋 <sup>1)</sup> 、早坂典生 <sup>2)</sup> 、種田博之 <sup>3)</sup> 、 入江恵子 <sup>4)</sup> 、小川良子 <sup>5)</sup> 、宮本哲雄 <sup>6)</sup> 、 松枝亜希子 <sup>7)</sup> 1) 特定非営利活動法人 社会理論・動態研究所 2) 特定非営利活動法人 りょうちゃんず 3) 産業医科大学 4) 北九州市立大学 5) 医療法人社団 奨会 本永病院 6) 国立病院機構 大阪医療センター 7) NPO 社会理論・動態研究所
008-2	全国の HIV 感染血友病等患者の薬害被害 救済のために、ACC 救済医療室で行つ いる活動 上村 悠、大杉福子、佐藤愛美、野崎宏枝、 鈴木ひとみ、大金美和、木村総太、高橋昌也、 宮本里香、中本貴人、青木孝弘、照屋勝治、 潟永博之 国立健康危機管理機構 国立国際医療センター エイズ 治療・研究開発センター	009-1	■日時：12月5日（金）14:30～15:20 ■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2） 口演9（基礎・B） 宿主因子 座長 岸本直樹 (熊本大学大学院 生命科学研究部 附属グローバル天然物科学 研究センター) 助川明香 (東京科学大学 ウィルス制御学分野)
			009-1 APOBEC3 欠損 THP-1 細胞で明らか となる HIV-1 の感染性に必要な Vif 標的 の再評価 清水 凌 <sup>1)</sup> 、Michael Jonathan <sup>1,2)</sup> 、 齊藤 晓 <sup>3)</sup> 、門出和精 <sup>4)</sup> 、池田輝政 <sup>1)</sup> 1) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 分子ウイルス・遺伝学分野 2) 熊本大学 医学教育部 3) 宮崎大学 農学部 獣医学領域 4) 熊本大学 大学院生命科学研究部 微生物学講座

# 一般演題（口演）

009-2 Deaminase-Independent HIV-1 Restriction by APOBEC3 Proteins in iPS-ML #1 Cells  
Sharee Leong<sup>1,2)</sup>、Hesham Nasser<sup>1)</sup>、  
鈴 伸也<sup>3)</sup>、池田輝政<sup>1)</sup>  
1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター 分子ウイルス・遺伝学分野  
2) Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University  
3) Division of Infection and Hematopoiesis, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

009-3 TPI1 の核移行は HIV-1 増殖を促す  
阿部人和<sup>1)</sup>、安武多恵<sup>1)</sup>、東竜太郎<sup>1)</sup>、  
枇杷孝太朗<sup>1)</sup>、高宗暢暎<sup>2)</sup>、三隅将吾<sup>1)</sup>、  
岸本直樹<sup>1)</sup>  
1) 熊本大学大学院 薬学教育部  
2) 熊本大学研究開発戦略本部

009-4 M-Sec promotes the production of infectious HIV-1 virions  
Reem Fahmy<sup>1)</sup>、Masateru Hiyoshi<sup>2)</sup>、  
Shinya Suzu<sup>1)</sup>  
1) Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University.  
2) Research Center for Biological Products in the Next Generation, National Institute of Infectious Diseases.

009-5 HIV-1 の祖先ウイルスであるサル免疫不全ウイルスが動物種を超えて伝播する分子機構  
芳田 剛<sup>1)</sup>、Weitong Yao<sup>2)</sup>、侯野哲朗<sup>1)</sup>、  
山本浩之<sup>1)</sup>  
1) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所  
2) 東京医科歯科大学（現：東京科学大学）

■日時：12月5日（金）14:30～15:30

■会場：第6会場（3F 会議室 D1-2）

口演 10（臨床・C）

U=U と拳児希望・母子感染・歯科 2

座長 今橋真弓

（国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部）

関谷綾子

（がん感染症センター都立駒込病院／東京医科大学 感染症科 臨床検査分野）

010-1 HIV 母子感染予防における児へのAZT 投与方法の動向 2025

田中瑞恵<sup>1)</sup>、外川正生<sup>2)</sup>、兼重昌夫<sup>1,2)</sup>、  
前田尚子<sup>2)</sup>、岡田陽子<sup>2)</sup>、中河秀憲<sup>2)</sup>、  
北島浩二<sup>2)</sup>、佐々木泰治<sup>2)</sup>、杉浦 敦<sup>2)</sup>、  
喜多恒和<sup>2)</sup>、吉野直人<sup>2)</sup>

1) 国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター小児科  
2) イズイ策政策研究事業「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究」班（母子感染研究班）

010-2 HIV 感染妊娠におけるスクリーニング検査施行時期に関する検討

杉浦 敦<sup>1,2)</sup>、山中彰一郎<sup>2)</sup>、湊 恵子<sup>1,2)</sup>、  
竹田善則<sup>2)</sup>、市田宏司<sup>2)</sup>、小林裕幸<sup>2)</sup>、  
中西美紗緒<sup>2)</sup>、箕浦茂樹<sup>2)</sup>、高野政志<sup>2)</sup>、  
田中瑞恵<sup>2)</sup>、出口雅士<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>2)</sup>、  
吉野直人<sup>2)</sup>

1) 武藏野赤十字病院 産婦人科  
2) HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究班

010-3 HIV 母子感染予防が達成された 2 症例の検討

後藤亜香利<sup>1)</sup>、南 元遙<sup>1)</sup>、渡辺 蘭<sup>1)</sup>、  
白土翔太郎<sup>1)</sup>、伊吹紗央莉<sup>1)</sup>、須釜佑介<sup>1)</sup>、  
吉田正宏<sup>1)</sup>、堀口拓人<sup>1)</sup>、井山 諭<sup>1)</sup>、  
又村了輔<sup>2)</sup>、國本雄介<sup>2)</sup>、稗田広美<sup>3)</sup>、  
川村志野<sup>3)</sup>、平賀多絵子<sup>3)</sup>、宮越郁子<sup>3)</sup>、  
小船雅義<sup>1)</sup>

1) 札幌医科大学附属病院 血液内科  
2) 札幌医科大学附属病院 薬剤部  
3) 札幌医科大学附属病院 看護部

010-4 ART 開始後まもなく拳児希望があった HIV serodiscordant copule の 1 例

岩田啓太郎、佐藤央基、西田裕介、河合夏美、  
長谷川哲平、白井絢子、川村蘭子、川村隆之、  
岡 秀昭、塚田訓久

埼玉医科大学総合医療センター

# 一般演題（口演）

010-5 両者ともHIVエリートコントローラーと考えられる夫婦例  
南 建輔、石岡春彦、新妻郁未、畠山修司  
自治医科大学附属病院 感染症科

■日時：12月5日（金）15:30～16:20

■会場：第5会場（3F 会議室C1-2）

口演11（基礎・B）  
潜伏感染・リザーバー

座長 高橋尚史

（熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

松田幸樹

（鹿児島大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

011-1 欠損型HIVリザーバー細胞は感染初期に形成  
P-B01-3 され長期的に維持される

松田幸樹<sup>1)</sup>、土屋亮人<sup>2)</sup>、小泉吉輝<sup>2)</sup>、  
川島 亮<sup>2,5)</sup>、中村裕子<sup>3)</sup>、上村修司<sup>3)</sup>、  
藤崎知園子<sup>4)</sup>、山口宗一<sup>4)</sup>、橋口照人<sup>4)</sup>、  
湯永博之<sup>2,5)</sup>、前田賢次<sup>1)</sup>

- 1) 鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 2) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター・エイズ治療・研究開発センター（ACC）
- 3) 鹿児島大学消化器疾患・生活習慣病学分野
- 4) 鹿児島大学血管代謝病態解析学分野
- 5) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

011-2 Single-Cell Analysis Reveals Chimeric HIV-MKL1 Transcripts Associated With Clonal Persistence in People Living with HIV (PLWH) under cART

Samiul Alam Rajib<sup>1)</sup>、  
Yukie Kashima<sup>2)</sup>、Yutaka Suzuki<sup>2)</sup>、  
Hiroshi Yotsuyanagi<sup>3,4)</sup>、  
Hiroyuki Yamamoto<sup>1,5)</sup>、  
Michiko Koga<sup>6,7)</sup>、  
Ai Kawana-Tachikawa<sup>1,5,8)</sup>、  
Yorifumi Satou<sup>1)</sup>

- 1) Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University
- 2) Life Science Data Research Center, Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo
- 3) Japan Institution for Health Security
- 4) The Institute of Medical Science, The University of Tokyo
- 5) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan Institution for Health Security
- 6) Department of Infectious Diseases, The University of Tokyo Pandemic Preparedness Infection and Advanced Research Center (UTOPIA), The University of Tokyo
- 7) Department of Infectious Diseases and Applied Immunology, IMSUT Hospital, The Institute of Medical Science, the University of Tokyo
- 8) Division of AIDS Vaccine Development, IMSUT Hospital, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo

011-3 腸内dysbiosisと慢性炎症が及ぼすHIVリザーバー維持機構の解明  
P-B01-1

水谷壯利<sup>1,2)</sup>、石坂 彩<sup>3)</sup>、古賀道子<sup>4,5)</sup>、  
山本浩之<sup>2)</sup>、四柳 宏<sup>3,5,6)</sup>

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 検査診断技術研究部
- 2) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター
- 3) 東京大学 医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野
- 4) 東京大学 国際高等研究所新世代感染症センター
- 5) 東京大学 医科学研究所附属病院 感染免疫内科
- 6) 国立健康危機管理研究機構

# 一般演題（口演）

011-4	潜伏 HIV リザーバの再活性化と選択的排除を単剤にて可能にする新規低分子化合物の同定と機能解析 原雄一郎 <sup>1,2)</sup> 、北村春樹 <sup>3)</sup> 、助川明香 <sup>3,4)</sup> 、 谷本幸介 <sup>2)</sup> 、武内寛明 <sup>2,4,5)</sup> 1) 東京科学大学 医歯学総合研究科 生体集中管理学分野 2) 東京科学大学 医歯学総合研究科 ハイリスク感染症研究マネジメント学分野 3) 東京科学大学 医歯学総合研究科 ウイルス制御学分野 4) 東京科学大学 感染症センター (TCIDEA) 5) 東京科学大学病院	012-2	日本の性感染症外来コホートにおけるPrEP 利用と HIV 発生率の動向 (2017-2024 年) 新谷由衣 <sup>1)</sup> 、水島大輔 <sup>1,2)</sup> 、高野 操 <sup>1)</sup> 、 田中和子 <sup>1)</sup> 、首藤真由美 <sup>1)</sup> 、金城理奈 <sup>1)</sup> 、 青木孝弘 <sup>1)</sup> 、安藤尚克 <sup>1)</sup> 、照屋勝治 <sup>1)</sup> 、 潟永博之 <sup>1,2)</sup> 、岡 慎一 <sup>1)</sup> 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
011-5	HIV-1 潜伏感染細胞排除を志向した新規 LRA 誘導体の創出と作用機序の解明 助川明香 <sup>1,2)</sup> 、辻 耕平 <sup>3)</sup> 、松田幸樹 <sup>4)</sup> 、 谷本幸介 <sup>5)</sup> 、玉村啓和 <sup>3)</sup> 、前田賢次 <sup>4)</sup> 、 武内寛明 <sup>2,5,6)</sup> 1) 東京科学大学・大学院医歯学総合研究科・ウイルス制御学分野 2) 東京科学大学・バイオサイエンスセンター・御茶ノ水リサーチファシリティ 3) 東京科学大学・総合研究院 生体材料工学研究所・メディシナルケミストリー分野 4) 鹿児島大学・ヒトレトロウイルス学共同研究センター・抗ウイルス療法研究分野 5) 東京科学大学・大学院医歯学総合研究科・ハイリスク感染症研究マネジメント学分野 6) 東京科学大学病院	012-3	PrEP 時代における STI 動向と Doxy PEP の活用可能性: 2017-2024 年の SH 外来コホートからの示唆 新谷由衣 <sup>1)</sup> 、水島大輔 <sup>1,2)</sup> 、高野 操 <sup>1)</sup> 、 田中和子 <sup>1)</sup> 、首藤真由美 <sup>1)</sup> 、青木孝弘 <sup>1)</sup> 、 安藤尚克 <sup>1)</sup> 、照屋勝治 <sup>1)</sup> 、潟永博之 <sup>1,2)</sup> 、 岡 慎一 <sup>1)</sup> 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
012-4	Sexual Health 外来におけるドキシサイクリン曝露後予防による性感染症への影響 水島大輔 <sup>1,2)</sup> 、新谷由衣 <sup>1)</sup> 、高野 操 <sup>1)</sup> 、 田中和子 <sup>1)</sup> 、青木孝弘 <sup>1)</sup> 、安藤尚克 <sup>1)</sup> 、 照屋勝治 <sup>1)</sup> 、潟永博之 <sup>1,2)</sup> 、岡 慎一 <sup>1)</sup> 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター 2) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター	012-5	HIV 感染および非感染 MSM における淋菌・クラミジア感染の感染部位別の実態について 水島大輔 <sup>1,2)</sup> 、新谷由衣 <sup>1)</sup> 、高野 操 <sup>1)</sup> 、 田中和子 <sup>1)</sup> 、出口佳美 <sup>1)</sup> 、安藤尚克 <sup>1)</sup> 、 青木孝弘 <sup>1)</sup> 、照屋勝治 <sup>1)</sup> 、潟永博之 <sup>1,2)</sup> 、 岡 慎一 <sup>1)</sup> 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター 2) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター
012-1	SH 外来通院者における PrEP の継続と中断の状況について 高野 操、水島大輔、田中和子、山中宏江、 新谷由衣、首藤真由美、金城理奈、青木孝弘、 安藤尚克、照屋勝治、潟永博之、岡 慎一 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター		

■日時：12月5日（金） 15:30～16:20

■会場：第6会場（3F 会議室 D1-2）

口演 12 (臨床・C)  
PEP・PrEP・STI・STD 1

座長 谷口俊文

（千葉大学医学部附属病院 感染制御部・感染症内科）

石内崇勝

（一般社団法人天照会 いだてんクリニック）

012-1 SH 外来通院者における PrEP の継続と中断の状況について

高野 操、水島大輔、田中和子、山中宏江、  
新谷由衣、首藤真由美、金城理奈、青木孝弘、  
安藤尚克、照屋勝治、潟永博之、岡 慎一

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

# 一般演題（口演）

■日時：12月5日（金） 15:40～16:20

■会場：第4会場（3F 会議室B1-3）

## 口演13（社会・S）

検査相談・疫学

座長 本間隆之

貞升健志

（東京都健康安全研究センター 微生物部）

### 013-1 Microsoft Forms を利用した新宿東口検査・相談室におけるHIVアンケート調査

貞升健志<sup>1)</sup>、本間隆之<sup>2)</sup>、岩橋恒太<sup>3)</sup>、  
小泉美優<sup>1)</sup>、北村有里恵<sup>1)</sup>、岩崎直哉<sup>1)</sup>、  
浅倉弘幸<sup>1)</sup>、三宅啓文<sup>1)</sup>、長島真美<sup>1)</sup>、  
千葉隆司<sup>1)</sup>、潟永博之<sup>4)</sup>、西塚至<sup>5)</sup>、  
吉村和久<sup>1)</sup>、白阪琢磨<sup>6)</sup>、四本美保子<sup>7)</sup>

- 1) 東京都健康安全研究センター微生物部
- 2) 山梨県立大学
- 3) 特定非営利活動法人akta
- 4) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター
- 5) 東京都保健医療局
- 6) エイズ予防財団
- 7) 東京医科大学病院

### 013-2 結核患者におけるHIV感染症の合併に関する疫学動向及び検査について 2012～2023

河津里沙<sup>1)</sup>、内村和広<sup>2)</sup>、金子典代<sup>1)</sup>、  
今橋真由美<sup>3)</sup>

- 1) 名古屋市立大学大学院看護学研究科・看護学部
- 2) 公益財団法人結核予防会結核研究所
- 3) 国立病院機構 名古屋医療センター臨床研究センター

### 013-3 タイにおけるHIV感染者を含む結核患者の類型化と死亡転帰との関連：欠損値を考慮したクラスター分析

笠松亜由<sup>1)</sup>、塘由惟<sup>1)</sup>、宮原麗子<sup>1)</sup>、  
山田紀男<sup>2)</sup>、野内英樹<sup>2)</sup>、  
Supalert Nedsuwan<sup>3)</sup>、  
Surakameth Mahasirimongkol<sup>4)</sup>

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所
- 2) 結核予防会
- 3) Chiangrai Prachanukroh Hospital, Ministry of Public Health, Thailand
- 4) Department of Traditional and Alternative Medicine, Ministry of Public Health, Thailand

### 013-4 演題取り下げ

■日時：12月5日（金） 16:30～17:30

■会場：第4会場（3F 会議室B1-3）

## 口演14（社会・S）

ソーシャルワーク

座長 大里文薈

（国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター）

小嶋道子

（都立駒込病院 患者・地域サポートセンター 患者支援グループ）

### 014-1 入院を機に生活課題が明らかになり地域支援体制を再構築した一例

木梨貴博<sup>1)</sup>、齊藤誠司<sup>1)</sup>、福井洋介<sup>1)</sup>、  
坂田達朗<sup>1)</sup>、片山智之<sup>1)</sup>、山崎由佳<sup>1)</sup>、  
中村 葵<sup>1)</sup>、山口沙帆<sup>1)</sup>、五十川容子<sup>1)</sup>、  
野村直幸<sup>2)</sup>、河野泰宏<sup>1)</sup>、安岡悠典<sup>1)</sup>、  
飯塚暁子<sup>1)</sup>、藤原千尋<sup>1)</sup>、今本 粋<sup>1)</sup>

- 1) NHO 福山医療センター広島県東部地区エイズ医療センター
- 2) NHO 関門医療センター

### 014-2 HIV感染透析患者の施設入所における課題と支援

高橋昌也、鈴木ひとみ、池田和子、杉野祐子、  
谷口 紅、大杉福子、野崎宏枝、佐々木愛美、  
大金美和、照屋勝治、潟永博之

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター

### 014-3 HIV感染症新規診断後の離職リスク：JMDC レセプトデータベースを用いた後ろ向きコホート研究

有里勇輝<sup>1,2)</sup>、池内和彦<sup>1)</sup>、齋藤 真<sup>3)</sup>、  
松本慎也<sup>1)</sup>、岸田季之<sup>1)</sup>、門 輝<sup>4)</sup>、  
奥新和也<sup>5)</sup>、四柳 宏<sup>6)</sup>、堤 武也<sup>1,5)</sup>

- 1) 東京大学医学部附属病院 感染症内科
- 2) がん・感染症センター 都立駒込病院
- 3) Centre for Tropical Medicine and Global Health, Nuffield Department of Medicine, University of Oxford
- 4) 東京大学 保健・健康推進本部
- 5) 東京大学医学部附属病院 感染制御部
- 6) 東京大学医学研究所附属病院 感染免疫内科

# 一般演題（口演）

014-4 女性および外国籍 HIV 陽性者の支援の困難さと課題克服に向けた、ブロック拠点病院等ソーシャルワーカーの試み

重信英子<sup>1)</sup>、山口みなみ<sup>2)</sup>、北村未季<sup>2)</sup>、  
工藤晃聖<sup>3)</sup>、三鍋佑馬<sup>4)</sup>、四戸 良<sup>4)</sup>、  
佐藤華絵<sup>5)</sup>、青野加奈子<sup>6)</sup>、中村翔太<sup>6)</sup>、  
横尾ゆかり<sup>7)</sup>、曾我早織<sup>8)</sup>、森 晶啓<sup>9)</sup>、  
中津千恵子<sup>10)</sup>、浦島藍子<sup>1)</sup>、大里文薈<sup>11)</sup>、  
田村賢二<sup>11)</sup>、三嶋一輝<sup>12)</sup>、首藤美奈子<sup>11)</sup>、  
岡本 学<sup>13)</sup>、高橋昌也<sup>14)</sup>

- 1) 広島大学病院
- 2) 北海道大学病院
- 3) 札幌医科大学附属病院
- 4) 旭川医科大学病院
- 5) 仙台医療センター
- 6) 石川県立中央病院
- 7) 新潟大学歯学総合病院
- 8) 新潟県立新発田病院
- 9) 県立広島病院
- 10) 広島市立広島市民病院
- 11) 九州医療センター
- 12) 福井大学医学部附属病院
- 13) 大阪医療センター
- 14) 国立健康危機管理研究機構

014-5 愛媛県における医療機関・福祉施設への出張講義の有用性

池田 聖<sup>1)</sup>、若松 綾<sup>2)</sup>、乗松真大<sup>3)</sup>、  
中尾 綾<sup>4)</sup>、宮崎雅美<sup>2)</sup>、中川進平<sup>3)</sup>、  
末盛浩一郎<sup>4)</sup>

- 1) 愛媛大学医学部附属病院 総合診療サポートセンター
- 2) 愛媛大学医学部附属病院 看護部
- 3) 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部
- 4) 愛媛大学医学部附属病院 第一内科

014-6 アンケート調査より垣間見る HIV 陽性者と介護福祉施設の疾患意識のギャップ

藤井輝久<sup>1)</sup>、中十奈苗<sup>2)</sup>、山崎尚也<sup>2)</sup>、  
浦島藍子<sup>3,7)</sup>、重信英子<sup>3)</sup>、後藤志保<sup>3,4)</sup>、  
坂本涼子<sup>3,4)</sup>、杉本悠貴恵<sup>3)</sup>、黄 寛美<sup>3,7)</sup>、  
喜花伸子<sup>3)</sup>、片平尚貴<sup>5)</sup>、児玉博臣<sup>5)</sup>、  
金本大地<sup>5)</sup>、田坂陵雅<sup>5)</sup>、山内映里<sup>5,6)</sup>

- 1) 広島大学病院輸血部・エイズ医療対策室
- 2) 広島大学病院輸血部
- 3) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 4) 広島大学病院看護部
- 5) 広島県健康福祉局健康危機管理課
- 6) 広島県教育委員会管理部健康福利課
- 7) 公益財団法人エイズ予防財団 リサーチレジデント

■日時：12月5日（金） 16:30～17:20

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 15（基礎・B）

COVID-19（基礎）

座長 立川 愛

（国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所 エイズ研究センター）

豊田真子

（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

015-1 Characteristics of SARS-CoV-2-specific TCRs associated with asymptomatic and mild COVID-19 cases

金 炎<sup>1,2)</sup>、Demetra S. M. Chatzileontiadou<sup>3,4,7)</sup>、  
有津由樹<sup>1,2)</sup>、李カンウ<sup>1,2)</sup>、北松瑞生<sup>5)</sup>、  
岸 裕幸<sup>6)</sup>、上野 貴将<sup>2)</sup>、  
Stephanie Gras<sup>3,4,7)</sup>、本園 千尋<sup>2)</sup>

- 1) 熊本大学医学教育部医学専攻
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター感染免疫分野
- 3) ラ・トローブ大学分子科学研究所（LIMS）免疫感染プログラム
- 4) ラ・トローブ大学 農学・生物医学・環境学部 生化学・化学科
- 5) 近畿大学理工学部応用化学科
- 6) 富山大学学術研究部医学系免疫学講座
- 7) モナシュ大学 生化学・分子生物学科

015-2 優れた抗ウイルス活性を有する HLA-C 拘束性 SARS-CoV-2 N 特異的 CD8 陽性 T 細胞の分子認識基盤

後藤由比古<sup>1,2,3)</sup>、You Min Ahn<sup>4)</sup>、  
豊田真子<sup>1)</sup>、浜名 洋<sup>5)</sup>、Yan Jin<sup>1,3)</sup>、  
田嶋祐香<sup>1,2,3)</sup>、仲摩 健<sup>1,3)</sup>、Huanyu Li<sup>1,3)</sup>、  
有津由樹<sup>1,3)</sup>、北松瑞生<sup>6)</sup>、岸 裕幸<sup>5)</sup>、  
富田雄介<sup>2)</sup>、坂上拓郎<sup>2)</sup>、上野貴将<sup>1)</sup>、  
Stephanie Gras<sup>4)</sup>、本園千尋<sup>1)</sup>

- 1) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 感染免疫学分野
- 2) 熊本大学大学院 生命科学研究部呼吸器内科学講座
- 3) 熊本大学 医学教育部
- 4) La Trobe University, Immunity and Infection program, Australia
- 5) 富山大学 学術研究部医学系 免疫学
- 6) 近畿大学 理工学部 応用化学科

# 一般演題（口演）

015-3 SARS-CoV-2 spike L452R変異の側鎖  
P-B03-1 反転による HLA-A\*24:02 拘束性 T 細胞認識回避機構の解明

仲摩 健<sup>1,2)</sup>、Aaron Wall<sup>3)</sup>、浜名 洋<sup>4)</sup>、  
有津由樹<sup>1,2)</sup>、Toong Tan<sup>2)</sup>、豊田真子<sup>2)</sup>、  
後藤由比古<sup>2)</sup>、Huanyu Li<sup>1,2)</sup>、北松瑞生<sup>5)</sup>、  
宇高恵子<sup>6)</sup>、Pierre Rizkallah<sup>3)</sup>、岸 裕幸<sup>4)</sup>、  
上野貴将<sup>2)</sup>、Andrew Sewell<sup>2,3)</sup>、本園千尋<sup>2)</sup>

- 1) 熊本大学医学教育部医学専攻
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター 感染免疫学分野
- 3) カーディフ大学医学部 感染免疫学
- 4) 富山大学 学術研究部医学系 免疫学
- 5) 近畿大学 理工学部 応用化学科
- 6) 高知大学 免疫学教室

015-4 SARS-CoV-2 長期持続感染 HIV 患者における SARS-CoV-2 のウイルス学的解析

戸山 凪<sup>1)</sup>、土屋亮人<sup>1)</sup>、川島 亮<sup>1,2)</sup>、  
黒木紘士郎<sup>3)</sup>、長島真美<sup>3)</sup>、中本貴人<sup>1,2)</sup>、  
小泉吉輝<sup>1)</sup>、青木孝弘<sup>1)</sup>、水島大輔<sup>1,2)</sup>、  
貞升健志<sup>3)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、吉村和久<sup>3)</sup>、  
渴永博之<sup>1,2)</sup>

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 東京都健康安全研究センター

015-5 Analysis of retroelement-derived  
P-B02-7 RNA transcription in the lungs of  
SARS-CoV-2 infected mice

Thorbjorg Einarsdottir<sup>1)</sup>、  
Rise Kurokawa<sup>1)</sup>、  
Chatherine Silas Mtali<sup>1)</sup>、  
Innocent John Daniel<sup>1)</sup>、  
Omnia Reda<sup>2)</sup>、Yorifumi Satou<sup>2)</sup>、  
Masahiro Ono<sup>3,4)</sup>、Takushi Nomura<sup>1,5)</sup>

- 1) Division of Virology and Pathology, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Kumamoto, Japan
- 2) Division of Genomics and Transcriptomics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Kumamoto, Japan
- 3) Collaboration Unit for Infection, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan
- 4) Department of Life Sciences, Imperial College London, London, UK
- 5) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan Institute for Health Security, Tokyo, Japan

■日時：12月5日（金） 16:30～17:20

■会場：第6会場（3F 会議室D1-2）

口演 16（臨床・C）

PEP・PrEP・STI・STD 2

座長 仲村秀太

（琉球大学 大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座）

塩尻大輔

（医療法人社団マキマ会/パーソナルヘルスクリニック）

016-1 血清抗体価に基づく MSM における未診断エムポックスの実態と集団免疫獲得の可能性

中本貴人<sup>1,2)</sup>、水島大輔<sup>1)</sup>、林田庸総<sup>1)</sup>、  
高野 操<sup>1)</sup>、土屋亮人<sup>1)</sup>、渴永博之<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学大学院医学教育部博士課程

016-2 関西における PrEP 利用者の2年間における実態と予防薬による性行動の変容

石内崇勝<sup>1,2)</sup>、水島大輔<sup>2,3)</sup>、傳寶優希<sup>1)</sup>、  
三上 蓮<sup>1)</sup>、吉田菜乃<sup>1)</sup>、坂元奈桜<sup>1)</sup>、  
清水健伍<sup>1)</sup>、吉田昂汰<sup>1,2)</sup>

- 1) 一般社団法人天照会 いだてんクリニック
- 2) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

016-3 女性を対象とした性病検査イベントにおける検査実施状況と予防薬利用の実態

坂元奈桜<sup>1)</sup>、石内崇勝<sup>1,2)</sup>、傳寶優希<sup>1)</sup>、  
三上 蓮<sup>1)</sup>、吉田菜乃<sup>1)</sup>、清水健伍<sup>1)</sup>、  
吉田昂汰<sup>1,2)</sup>、水島大輔<sup>2,3)</sup>

- 1) 一般社団法人天照会 いだてんクリニック
- 2) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

016-4 HIV 感染高リスク集団における PrEP 普及率拡大と検査体制強化の長期効果：エージェントベースシミュレーション

谷口俊文<sup>1)</sup>、野田龍也<sup>2,3)</sup>、今橋真弓<sup>4)</sup>、  
尾又一実<sup>5,6)</sup>

- 1) 千葉大学医学部附属病院
- 2) 奈良県立医科大学
- 3) 関西医科大学
- 4) 国立病院機構名古屋医療センター
- 5) 慶應大学
- 6) 国立健康危機管理研究機構

# 一般演題（口演）

016-5 岩手医科大学附属病院における HIV 針刺し・粘膜曝露への対応に関する後方視的検討

小宅達郎<sup>1)</sup>、西谷真来<sup>1)</sup>、多田 恵<sup>2)</sup>、  
工藤正樹<sup>3)</sup>、岡野良昭<sup>1)</sup>、上原さつき<sup>1)</sup>、  
古和田周吾<sup>1)</sup>、伊藤薰樹<sup>1)</sup>

1) 岩手県医科大学 血液腫瘍内科  
2) 岩手医科大学附属病院 看護部  
3) 岩手医科大学附属病院 薬剤部

■日時：12月5日（金） 17:30～18:10

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

## 口演17（基礎・B）

### 病原種・病態

座長 齊藤 晓

（宮崎大学 農学部 獣医学領域）

菅田謙治

（熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

017-1 HIV 感染者における修飾ヌクレオシドプロファイルの解析

豊田真子<sup>1)</sup>、永芳 友<sup>2)</sup>、山村遼介<sup>2)</sup>、  
中條岳志<sup>2)</sup>、藤本奈穂子<sup>1)</sup>、Kinuma Ndaki<sup>1)</sup>、  
金子 瞳<sup>2)</sup>、西口栄世<sup>2)</sup>、  
Godfrey Barabona<sup>3)</sup>、  
Doreen Kamori<sup>3)</sup>、富澤一仁<sup>2)</sup>、上野貴将<sup>1)</sup>

1) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 感染免疫学分野  
2) 熊本大学大学院 生命科学研究部分子生理学講座  
3) Department of Microbiology and Immunology, Muhimbili University of Health and Allied Sciences, Dar es Salaam, Tanzania

017-2 HIV-1 gp140 による腸管上皮バリア障害に対する活性型ビタミンDの保護作用：in vitro モデルでの検討

矢崎有希、福本 敦、木村佳貴、吉野友祐

帝京大学医学部微生物学講座

017-3 Divergent Gut Phage Ecology and Immune Signatures in Virologically Suppressed PWH

Lucky Ronald Runtuwene<sup>1)</sup>、  
木口悠也<sup>2)</sup>、石坂 彩<sup>3)</sup>、古賀道子<sup>4)</sup>、  
山本浩之<sup>1)</sup>、四柳 宏<sup>3,5)</sup>、水谷壯利<sup>1)</sup>

1) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター  
2) Department of Medicine, Stanford University, CA, USA  
3) 東京大学 医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野  
4) 東京大学 国際高等研究所新世代感染症センター  
5) 国立健康危機管理研究機構

017-4

Entamoeba histolytica の定量 PCR 診断の最適化のための Droplet digital PCR を用いた新規戦略

川島 亮<sup>1,2,3)</sup>、柳川泰昭<sup>1,2)</sup>、近田貴敬<sup>1,3)</sup>、  
下河原理江子<sup>2)</sup>、水島大輔<sup>1,3)</sup>、土屋亮人<sup>1)</sup>、  
八木田健司<sup>2)</sup>、鶴永博之<sup>1,3)</sup>、渡辺 恒二<sup>2,4)</sup>

1) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ・治療研究開発センター  
2) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 寄生動物部  
3) 熊本大学大学院 医学教育部 ヒトレトロウイルス学共同研究センター  
4) 東海大学 生体防御学講座

■日時：12月6日（土） 8:30～9:20

■会場：第4会場（3F 会議室 B1-3）

## 口演18（臨床・C）

### 抗HIV療法2

座長 安達英輔

（東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科）

仲村秀太

（琉球大学 大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座）

018-1

HIV-1 感染症患者における抗HIV 薬力ボテグラビル（ボカブリア錠、ボカブリア水懸筋注）の安全性および有効性解析：日本における製造販売後調査の中間報告

吉川洋一郎<sup>1)</sup>、長生多佳子<sup>2)</sup>、松川朋子<sup>1)</sup>、  
前野優子<sup>1)</sup>、瀬端阿希美<sup>1)</sup>、鈴木美和子<sup>1)</sup>、  
伊部史朗<sup>3)</sup>、福田明子<sup>2)</sup>、王 棟<sup>3)</sup>

1) ヴィープヘルスケア株式会社 安全性管理部  
2) ヴィープヘルスケア株式会社 製造販売統括・安全管理部  
3) ヴィープヘルスケア株式会社 メディカル・アフェアーズ部門

# 一般演題（口演）

- 018-2 京都大学医学部附属病院における持効性注射製剤導入の現状について  
尾崎淳子<sup>1)</sup>、白川康太郎<sup>2)</sup>、松村勝之<sup>1)</sup>、  
川戸敦子<sup>3)</sup>、松井宏行<sup>2)</sup>、高折晃史<sup>2)</sup>  
1) 京都大学医学部附属病院 薬剤部  
2) 京都大学医学部附属病院 血液内科  
3) 京都大学医学部附属病院 看護部
- 018-3 日本におけるカボテグラビル+リルピビリンのリアルワールド評価：有効性・安全性およびバイオマーカー動態に関する多施設共同研究  
安達英輔<sup>1,11)</sup>、南 留美<sup>2,11)</sup>、白野倫徳<sup>3,11)</sup>、  
仲村秀太<sup>4,11)</sup>、福島一彰<sup>5,11)</sup>、今橋真弓<sup>6,11)</sup>、  
関谷綾子<sup>5,7,11)</sup>、村松 崇<sup>7,11)</sup>、平井由児<sup>8,11)</sup>、  
吉野友祐<sup>9,11)</sup>、谷口俊文<sup>10)</sup>、  
J-HIV RWD Collaborative Database Team<sup>11)</sup>  
1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科  
2) 国立病院機構九州医療センター AIDS・HIV 総合治療センター・免疫感染症内科  
3) 大阪市民病院機構大阪市立総合医療センター 感染症内科  
4) 琉球大学 大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座  
5) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科  
6) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部  
7) 東京医科大学病院 臨床検査医学科  
8) 東京医科大学八王子医療センター 感染症科・感染制御部  
9) 帝京大学 医学部微生物学講座  
10) 千葉大学医学部附属病院 感染制御部・感染症内科  
11) J-HIV RWD Collaborative Database Team
- 018-4 2か月に1回の cabotegravir + rilpivirine 療法中に血漿ウイルス量が> 100 copies/ml の Blips を認めた症例の特徴  
笠松 悠<sup>1,2)</sup>、森田 諒<sup>2)</sup>、麻岡大裕<sup>2)</sup>、  
飯田 康<sup>2)</sup>、後藤哲志<sup>1,2)</sup>、白野倫徳<sup>2)</sup>  
1) 大阪市立十三市民病院 感染症内科  
2) 大阪市立総合医療センター 感染症内科
- 018-5 Profile of Inflammatory markers in People living with HIV on combined Antiretroviral therapy in Tanzania  
Kinuma Ndaki<sup>1)</sup>、Godfrey Barabona<sup>2,3)</sup>、  
Doreen Kamori<sup>2,3)</sup>、Lilian Nkinda<sup>3)</sup>、  
Mussa Bago<sup>1,2)</sup>、Nahoko Fujimoto<sup>2)</sup>、  
Mako Toyoda<sup>2,3)</sup>、Takamasa Ueno<sup>1,2,3)</sup>  
1) Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University  
2) Division of Infection and Immunity, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection Kumamoto University  
3) Department of Microbiology and Immunology, Campus College of Medicine, Muhimbili University of Health and Allied Sciences, Tanzania

■日時：12月6日（土）8:30～9:20

■会場：第5会場（3F 会議室C1-2）

口演 19（臨床・C）

高齢化・健康寿命・生活習慣病合併症

座長 川島 亮

（国際健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ・治療研究開発センター）

上村 悠

（国際健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

019-1 中高年 People Living with HIV(PLWH) における運動習慣の重要性

南 留美<sup>1)</sup>、高濱宗一郎<sup>1)</sup>、中嶋恵理子<sup>1)</sup>、  
今井絵利華<sup>1)</sup>、小松真梨子<sup>2)</sup>、犬丸真司<sup>2)</sup>、  
長与由紀子<sup>2)</sup>、城崎真弓<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科  
2) 国立病院機構九州医療センター看護部

019-2 当院におけるART内服中PLWH症例の死因についての検討

一木昭人、大崎俊樹、金子 純、宮下竜伊、  
近澤悠志、備後真登、村松 崇、四本美保子、  
天野景裕、木内 英

東京医科大学病院臨床検査医学科

# 一般演題（口演）

## 019-3 インテグラーーゼ阻害剤の世代別にみた6年間の併用薬の変化についての検討

中内崇夫<sup>1)</sup>、矢倉裕輝<sup>1,2)</sup>、岸田啓太郎<sup>1)</sup>、  
祝洸太朗<sup>1)</sup>、小西啓司<sup>3)</sup>、廣田和之<sup>3)</sup>、  
上地隆史<sup>3)</sup>、西田恭治<sup>3)</sup>、上平朝子<sup>3)</sup>、  
河合 実<sup>1)</sup>、白阪琢磨<sup>3)</sup>、渡邊 大<sup>2,3)</sup>

- 1) 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 薬剤部
- 2) 同 臨床研究センター エイズ先端医療研究部
- 3) 同 感染症内科

## 019-4 HIV 感染者の人生の最終段階に望む医療や生活についての認識および話し合いの程度に関する実態調査

八鍬類子<sup>1,2)</sup>、堀田宗一郎<sup>3)</sup>、川上明希<sup>1)</sup>、  
田中真琴<sup>1)</sup>

- 1) 東京科学大学保健衛生学研究科
- 2) 東京医療保健大学千葉看護学部
- 3) 東京医科大学医学部看護学科

## 019-5 HIV 感染者のワクチン接種状況に関する多施設アンケート研究 (Preliminary Report)

金澤晶雄<sup>1)</sup>、安達英輔<sup>2)</sup>、今橋真弓<sup>3)</sup>、  
遠藤知之<sup>4)</sup>、南 留美<sup>5)</sup>、福岡里紗<sup>6)</sup>、  
久保田早苗<sup>7)</sup>、福島真一<sup>1)</sup>、鈴木 麻衣<sup>1)</sup>、  
池田麻穂子<sup>1)</sup>、森 博威<sup>1)</sup>、横川博英<sup>1)</sup>、  
内藤俊夫<sup>1)</sup>

- 1) 順天堂大学医学部 総合診療科学講座
- 2) 東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科
- 3) 名古屋医療センター臨床研究センター
- 4) 北海道大学病院 感染制御部
- 5) 九州医療センター AIDS/HIV 総合医療センター
- 6) 大阪市立総合医療センター感染症内科
- 7) 順天堂大学医学部附属順天堂医院薬剤部

■日時：12月6日（土）8:30～9:30

■会場：第6会場（3F 会議室D1-2）

口演20（基礎・B）

免疫・ワクチン

座長 本園千尋

（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

野村拓志

（熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

## 020-1 SARS-CoV-2 mRNAワクチン誘導型抗原

### P-B03-4 特異的T細胞応答の経時的解析

堀美寿季<sup>1,2)</sup>、仲摩 健<sup>1,2)</sup>、Toong Tan<sup>2)</sup>、  
冨田和奏<sup>3)</sup>、後藤由比古<sup>2)</sup>、田嶋祐香<sup>1,2)</sup>、  
本園千尋<sup>2)</sup>、白川康太郎<sup>4)</sup>、高折晃史<sup>4)</sup>、  
上野貴将<sup>2)</sup>、佐藤 佳<sup>5)</sup>

- 1) 熊本大学医学教育部
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター感染免疫学分野
- 3) 熊本大学医学部医学科
- 4) 京都大学大学院医学研究科血液内科学
- 5) 東京大学医科学研究所システムウイルス学分野

## 020-2 P-B03-5 HIV感染者におけるSARS-CoV-2に対する細胞性免疫応答の解析

立川（川名）愛<sup>1,2,3)</sup>、細谷（中山）香<sup>1)</sup>、  
Alitzel Anzurez<sup>1)</sup>、古賀道子<sup>4,5)</sup>、  
四柳 宏<sup>6,7)</sup>、吉村幸浩<sup>8)</sup>、立川夏夫<sup>9)</sup>、  
山本浩之<sup>1,2)</sup>

- 1) 国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 東京大学医科学研究所附属病院エイズワクチン開発担当
- 4) 東京大学新世代感染症センター感染症研究分野
- 5) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 6) 国立健康危機管理研究機構
- 7) 東京大学医科学研究所
- 8) 横浜市立市民病院感染症内科
- 9) 名寄東病院

## 020-3 HIV-1 感染症治療を目的とした新規RNAワクチンの開発

野木森拓人<sup>1)</sup>、Hoang Oanh Nguyen<sup>2)</sup>、  
升田雄士<sup>1)</sup>、長束佑太<sup>1)</sup>、福島大騎<sup>1,3)</sup>、  
西山紋惠<sup>1)</sup>、Appay Victor<sup>2)</sup>、山本拓也<sup>1,3,4)</sup>

- 1) 医薬基盤・健康・栄養研究所 難病・免疫ゲノム研究センター プレシジョン免疫プロジェクト
- 2) CNRS UMR 5164, INSERM ERL 1303, ImmunoConCeP'T, University of Bordeaux, Bordeaux, France
- 3) 大阪大学大学院薬学研究科 免疫老化制御学分野
- 4) 大阪大学大学院医学系研究科 免疫・感染制御学講座

# 一般演題（口演）

020-4 Extracellular Vesicle-associated miRNAs Reveal Immune Recovery Subgroups in HIV-Treated Individuals

Mussa Hassan Bago<sup>1,2,3)</sup>、  
Godfrey Barabona<sup>1,4)</sup>、  
Doreen Kamori<sup>1,4)</sup>、Lilian Nkonda<sup>1,4)</sup>、  
Kinuma Ndaki<sup>1,2)</sup>、Mako Toyoda<sup>1)</sup>、  
Takamasa Ueno<sup>1,2,4)</sup>

- 1) Division of Infection and Immunity, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University
- 2) Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University, Kumamoto, Japan
- 3) Department of Public Health and Community Nursing, The University of Dodoma, Dodoma, Tanzania
- 4) Department of Microbiology and Immunology, Muhimbili University of Health and Allied Sciences, Dar es Salaam, Tanzania

020-5 非天然アミノ酸を導入した人工改変ペプチドによる新規T細胞誘導型ワクチンの開発に向けた基礎研究

有津由樹<sup>1,7)</sup>、黒瀬愛実莉<sup>2)</sup>、浜名 洋<sup>3)</sup>、  
仲摩 健<sup>1,7)</sup>、山田杏子<sup>7)</sup>、宜野座路覧<sup>8)</sup>、  
伊丹すず<sup>4)</sup>、Huanyu Li<sup>1,7)</sup>、宇高恵子<sup>5)</sup>、  
岸 裕幸<sup>3)</sup>、上野貴将<sup>7)</sup>、川下理日人<sup>6)</sup>、  
北松瑞生<sup>2)</sup>、本園千尋<sup>7)</sup>

- 1) 熊本大学大学院医学教育部医学専攻
- 2) 近畿大学理工学部応用化学科
- 3) 富山大学学術研究部医学系免疫学
- 4) 近畿大学大学院総合理工学研究科理学専攻
- 5) 高知大学免疫学教室
- 6) 近畿大学理工学部エネルギー物質学科
- 7) 熊本大学ヒトトレロウイルス学共同研究センター感染免疫学分野
- 8) 熊本大学医学部医学科

020-6 ADAM17 阻害は、B型肝炎ウイルス特異的NK細胞抗体依存的細胞傷害を回復させる

菅原 将<sup>1)</sup>、Stephanie Jost<sup>1)</sup>、  
R. Keith Reeves<sup>1,2)</sup>

- 1) デューク大学外科学部
- 2) Center for Virology and Vaccine Research, Beth Israel Deaconess Medical Center, Harvard Medical School

■日時：12月6日（土）9:20～10:10

■会場：第4会場（3F 会議室B1-3）

口演21（臨床・C）

抗HIV療法3

座長 椎木創一

（沖縄中部病院 感染症内科）

増田純一

（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 薬剤部）

021-1 HIV陽性者における糖尿病の12年間の動向：リアルワールドコホート解析

関谷綾子<sup>1,2)</sup>、鵜飼康平<sup>1)</sup>、相澤陽太<sup>1)</sup>、  
西川ゆかり<sup>1)</sup>、鄭 瑞雄<sup>1)</sup>、福島一彰<sup>1)</sup>、  
田中 勝<sup>1)</sup>、小林泰一郎<sup>1)</sup>、矢嶋敬史郎<sup>1)</sup>、  
今村顕史<sup>1)</sup>

1) がん感染症センター都立駒込病院感染症科

2) 東京医科大学臨床検査医学分野

021-2 非拠点病院の総合診療内科におけるHIV診療の現状

白井絢子<sup>1)</sup>、西田裕介<sup>1)</sup>、岩田啓太郎<sup>1)</sup>、  
河合夏美<sup>1)</sup>、長谷川哲平<sup>1)</sup>、佐藤央基<sup>1)</sup>、  
川村繭子<sup>2)</sup>、川村隆之<sup>2)</sup>、岡 秀昭<sup>1)</sup>、  
塚田訓久<sup>2)</sup>

1) 埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科

2) 埼玉医科大学総合医療センター 感染症科・感染制御科

021-3 Pre-ART時代に治療を開始したPWHは、現在どのようなARTを受けているか

奥野修平、菅野芳明、古賀道子、四柳 宏、  
安達英輔

東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

021-4 抗HIV療法と服薬援助のための基礎的調査－治療開始時の抗HIV薬処方動向調査（2025年）

澤田暁宏<sup>1)</sup>、関根祐介<sup>2)</sup>、増田純一<sup>3)</sup>、  
小島賢一<sup>4)</sup>

1) 兵庫医科大学 呼吸器・血液内科

2) 東京医科大学病院 薬剤部

3) 国立国際医療研究センター病院 薬剤部

4) 狹霧病院 血液凝固科

# 一般演題（口演）

021-5 抗HIV療法と服薬援助のための基礎的調査—抗HIV薬の薬剤変更状況調査（2025年）

関根祐介<sup>1)</sup>、澤田暁宏<sup>2)</sup>、増田純一<sup>3)</sup>、小島賢一<sup>4)</sup>

1) 東京医科大学病院 薬剤部  
2) 兵庫医科大学 呼吸器・血液内科  
3) 国立国際医療研究センター病院 薬剤部  
4) 萩窓病院 血液凝固科

■日時：12月6日（土）9:20～10:10

■会場：第5会場（3F 会議室C1-2）

口演22（臨床・C）

症例報告・臨床疫学

座長 中嶋恵理子

（国立病院機構九州医療センター 免疫感染症内科）

松本佑慈

（九州大学病院 総合診療科）

022-1 播種性非結核性抗酸菌症に対して集学的治療を行うことで救命し得たHIV感染症の一例

安藤彬乃、和田達彦、京田俊介、池田慶介、長谷川靖浩、田中知樹、松枝 佑、山岡邦宏  
北里大学医学部リウマチ膠原病内科学

022-2 ART導入後に増悪したHIV cholangiopathyを伴うクリプトスボリジウム症の一例

中川翔太、柳川泰昭、桑田 亮、川島 亮、井上恵理、安藤尚克、上村 悠、中本貴人、水島大輔、青木孝弘、照屋勝治、渕永博之  
国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

022-3 HIV関連びまん性大細胞型B細胞リンパ腫に対しPola-R-CHP療法を施行した一例

生駒良和<sup>1,2,3)</sup>、石原正志<sup>3,4)</sup>、手塚宣行<sup>5)</sup>、杉山仁美<sup>3,6)</sup>、山口公大<sup>7)</sup>、鶴見 寿<sup>1,3,8)</sup>

1) 岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科  
2) 岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター  
3) 岐阜大学医学部附属病院 エイズ対策推進センター  
4) 岐阜大学医学部附属病院 薬剤部  
5) 岐阜大学大学院医学系研究科 感染症寄附講座  
6) "岐阜大学医学部附属病院 看護部"  
7) 岐阜市民病院 血液内科  
8) 松波総合病院 血液・腫瘍内科

022-4 HIV関連形質芽球性リンパ腫長期寛解中に発症した組織球肉腫

中嶋恵理子<sup>1)</sup>、今井絵利華<sup>1)</sup>、高濱宗一郎<sup>1)</sup>、犬丸真司<sup>2)</sup>、長與由紀子<sup>2)</sup>、城崎真弓<sup>2)</sup>、桃崎征也<sup>3)</sup>、南 留美<sup>1)</sup>

1) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科  
2) 国立病院機構九州医療センター看護部  
3) 国立病院機構九州医療センター病理診断部

022-5 横浜市立市民病院を受診したHIV陽性者のCOVID-19流行前後の診断状況の検討

宗 佑奈、佐久川佳怜、松原龍輔、伊東裕史、宮田順之、吉村幸浩

横浜市立市民病院 感染症内科

■日時：12月6日（土）9:30～10:20

■会場：第6会場（3F 会議室D1-2）

口演23（臨床・C）

抗HIV療法4

座長 山口泰弘

（国立病院機構 九州医療センター 薬剤部）

南 留美

（国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV総合治療センター）

023-1 テノホビルジソプロキシルフマル酸塩（TDF）の累積曝露および中止後の持続的腎機能低下に対する非線形混合効果モデルによる評価

山口泰弘、平田亮介、筒井結子、小泉陽奈子、藤田清香、藤瀬陽子、大橋邦央、橋本雅司  
国立病院機構 九州医療センター 薬剤部

023-2 非INSTIレジメンからINSTIレジメンへの変更後の影響：山梨県立中央病院における後ろ向き検討

遠藤愛樹、石部大紀、金 永進、松本香織  
山梨県立中央病院薬剤部

# 一般演題（口演）

023-3 Twelve-month (12M) effectiveness and safety of B/F/TAF in treatment-experienced people with HIV: a pooled analysis from observational cohort studies across Asia

Rumi Minami<sup>1)</sup>、Lijun Sun<sup>2)</sup>、  
Yu-Ting Tseng<sup>3)</sup>、Lin Cai<sup>4)</sup>、Ping Ma<sup>5)</sup>、  
Katsuji Teruya<sup>6)</sup>、Nao Taguchi<sup>7)</sup>、  
Travis Lim<sup>8)</sup>、Paul McDwyer<sup>9)</sup>、  
Julie Ryu<sup>8)</sup>、Weiping Cai<sup>10)</sup>

- 1) National Hospital Organization Kyushu Medical Center, Fukuoka, Japan
- 2) Beijing Youan Hospital, Capital Medical University, Beijing, China
- 3) Kaohsiung Veterans General Hospital, Kaohsiung, Taiwan
- 4) Public Health Clinical Center of Chengdu, Chengdu, China
- 5) Tianjin Second People's Hospital, Tianjin, China
- 6) AIDS Clinical Center, National Center for Global Health and Medicine, Japan Institute for Health Security, Tokyo, Japan
- 7) Gilead Sciences K.K., Tokyo, Japan
- 8) Gilead Sciences, Foster City, CA, USA
- 9) Gilead Sciences, Dublin, Ireland
- 10) Guangzhou Medical University, Guangzhou Eighth People's Hospital, Guangzhou, China

023-4 横浜市民病院におけるドラビリン・テノホビルアラフェナミド・エムトリシタビンとドルテグラビル・ラミブジンによる維持療法の比較

吉村幸浩、佐久川佳怜、松原龍輔、伊東裕史、宗 佑奈、宮田順之

横浜市立市民病院感染症内科

023-5 HIV 感染症患者における抗 HIV 薬ドルテグラビル製剤（テビケイ錠、トリー・メク配合錠）の安全性及び有効性解析：日本における製造販売後調査 10 年間の最終報告

前野優子<sup>1)</sup>、長生多佳子<sup>2)</sup>、瀬端阿希美<sup>1)</sup>、  
松川朋子<sup>1)</sup>、吉川洋一郎<sup>1)</sup>、鈴木美和子<sup>1)</sup>、  
伊部史朗<sup>3)</sup>、福田明子<sup>2)</sup>、王 棟<sup>3)</sup>

- 1) ヴィープヘルスケア株式会社 安全性管理部
- 2) ヴィープヘルスケア株式会社 製造販売総括・安全管理
- 3) ヴィープヘルスケア株式会社 メディカルアフェアーズ部門

■日時：12月6日（土）14:40～15:30

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 24（臨床・C）

薬剤師・薬局・服薬アドヒアランス 1

座長 田上直美

（熊本大学病院 薬剤部）

日笠真一

（兵庫医科大学病院 薬剤部）

024-1 HIV 感染症「専門医療機関連携薬局認定取得に向けた現状と課題に関する調査」

増田純一<sup>1)</sup>、矢倉裕輝<sup>2)</sup>、田澤佑基<sup>3)</sup>、  
國本雄介<sup>4)</sup>、井上正朝<sup>5)</sup>、佐藤 萌<sup>6)</sup>、  
三枝祐美<sup>7)</sup>、安井淳子<sup>8)</sup>、石井 良<sup>9)</sup>、  
松木克仁<sup>10)</sup>、安田明子<sup>11)</sup>、石井聰一郎<sup>12)</sup>、  
白濱 航<sup>13)</sup>、洲山佳寛<sup>14)</sup>、山口泰弘<sup>15)</sup>、  
西村富啓<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療センター
- 2) 国立病院機構大阪医療センター
- 3) 北海道大学病院
- 4) 札幌医科大学附属病院
- 5) 旭川医科大学病院
- 6) 国立病院機構仙台医療センター
- 7) 新潟大学医歯学総合病院
- 8) 新潟市民病院
- 9) 新潟県立新発田病院
- 10) 国立病院機構名古屋医療センター
- 11) 石川県立中央病院
- 12) 広島大学病院
- 13) 県立広島病院
- 14) 広島市立広島市民病院
- 15) 国立病院機構九州医療センター

024-2 保険薬局従業員の HIV 感染症・エイズに関する認識の実態～研修動画の効果～

海老昌子<sup>1)</sup>、白井莉和子<sup>1)</sup>、野口梨紗<sup>1)</sup>、  
澤田智世<sup>1)</sup>、富澤星華<sup>1)</sup>、伊藤智代<sup>2)</sup>、  
阿部真也<sup>2)</sup>、五十嵐建佑<sup>2)</sup>、佐々木愛<sup>3)</sup>、  
松井 洪<sup>3)</sup>、山口 浩<sup>3)</sup>、野村和彦<sup>3)</sup>

- 1) 調剤薬局ツルハドラッグ白金台店
- 2) 株式会社ツルハ
- 3) 株式会社ツルハホールディングス

024-3 近年頻用されている抗 HIV 薬の簡易懸濁法の適否に関する検討

久利 歩、矢倉裕輝、渡邊 大

国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター エイズ先端医療研究部

# 一般演題（口演）

024-4	拳児希望のあるHIV感染症患者に対する薬剤師の関わり 梅本憂衣、山口泰弘、平田亮介、筒井結子、藤田清香、小泉陽奈子、藤瀬陽子、大橋邦央、橋本雅司 国立病院機構 九州医療センター	025-4	HIV陽性者「全国ピアサポート円卓会議」と各地域コミュニティセンターとの協働—全国のコミュニティが語る日本のHIV/エイズ課題と希望の視点— 大島 岳 <sup>1,2)</sup> 、加藤力也 <sup>1)</sup> 、福正大輔 <sup>1)</sup> 、牧原信也 <sup>1)</sup> 、生島 嗣 <sup>1)</sup> 1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京 2) 明治大学 情報コミュニケーション学部
024-5	HIV陽性妊婦に関して多職種・他院との協力体制の構築について検討した1例～妊娠、出産、児へのAZT投与の薬剤支援～ 村多杏美 <sup>1)</sup> 、山口英美 <sup>1)</sup> 、佐藤 萌 <sup>1)</sup> 、鈴木佳奈子 <sup>2)</sup> 、佐々木晃子 <sup>2)</sup> 、三浦麻衣 <sup>3)</sup> 、今村淳治 <sup>3)</sup> 、伊藤俊広 <sup>3)</sup> 1) 国立病院機構仙台医療センター薬剤部 2) 国立病院機構仙台医療センター看護部 3) 国立病院機構仙台医療センター感染症内科	025-5	わが国のHIV感染抑制と陽性者支援のためのプロジェクト<ZERO transmission in Japan by 2030>について 白阪琢磨 <sup>1,2)</sup> 、池袋 真 <sup>3)</sup> 、岩橋恒太 <sup>4)</sup> 、西浦 博 <sup>5)</sup> 、四本美保子 <sup>6)</sup> 、田中英之 <sup>7)</sup> 1) 公益財団法人エイズ予防財団 2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター 3) 医療法人社団マキマ会 パーソナルヘルスクリニック 横浜院 4) 特定非営利活動法人 akta 5) 京都大学大学院医学研究科 6) 東京医科大学臨床検査医学科 7) 公益財団法人エイズ予防財団大阪事務所

■日時：12月6日（土）14:40～15:30

■会場：第6会場（3F 会議室D1-2）

口演 25（社会・S）

啓発・コミュニティ

座長 柏崎正雄

（公益財団法人エイズ予防財団）

船石翔馬

（福岡コミュニティセンター HACO）

025-1 HIV/AIDS予防啓発手法としてのドキュメンタリー映画の可能性

福正大輔<sup>1)</sup>、保坂嘉成<sup>1,2)</sup>

- 1) 認定特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 2) 西武文理大学看護学部

025-2 若年層への効果的な啓発方法に関する分析

宇野伽那子、古川香奈江、松田貴根、大野利佐子、津田侑子、康 史朗、岡田めぐみ、森 裕、廣川秀徹

大阪市保健所感染症対策課

025-3 包摶と尊厳を掲げて歩く—#UpdateHIV フロートで確認されたHIVコミュニティの力—

福正大輔<sup>1)</sup>、生島 嗣<sup>1)</sup>、岩橋恒太<sup>2)</sup>、武永麻衣子<sup>3)</sup>、小林直美<sup>3)</sup>、石川貴枝子<sup>3)</sup>、筒井明日香<sup>4)</sup>、岡本紀子<sup>4)</sup>

- 1) 認定特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 2) 特定非営利活動法人 akta
- 3) ギリアド・サイエンシズ株式会社
- 4) ヴィープヘルスケア株式会社

# 一般演題（口演）

■日時：12月6日（土） 15:40～16:30

■会場：第5会場（3F 会議室C1-2）

口演 26（臨床・C）

薬剤師・薬局・服薬アドヒアラנס 2

座長 平野 淳

（国立病院機構東名古屋病院 薬剤部）

草場健司

（福岡市薬剤師会薬局 百道店）

026-1 Positive Perspectives 3 研究 (PP3)において患者と医療従事者の共同意思決定はHIV陽性者の生活の質、治療アドヒアラנס、治療満足度の向上に関連

Rickesh Patel<sup>1)</sup>、  
Brent Allan<sup>2)</sup>、Garry Brough<sup>3)</sup>、  
Mario Cascio<sup>4)</sup>、Erika Castellanos<sup>5)</sup>、  
Antonella Cingolani<sup>6)</sup>、Vuyiseka Dubula<sup>7)</sup>、  
W. David Hardy<sup>8)</sup>、岩橋恒太<sup>9)</sup>、  
Sindy Mbundwini<sup>10)</sup>、Marta McBritton<sup>11)</sup>、  
Mary Ndung'u<sup>12)</sup>、Bruce Richman<sup>13)</sup>、  
Mercy Shibemba<sup>14)</sup>、Ama Appiah<sup>1)</sup>、  
Dainielle Fox<sup>1)</sup>、Mariel Mayer<sup>1)</sup>、  
Shaun Mellors<sup>1)</sup>、Vilma Vega<sup>1)</sup>、  
Nneka Nwokolo<sup>1)</sup>、笹井明日香<sup>15)</sup>

- 1) ViiV Healthcare, London, UK
- 2) The National Association of People with HIV Australia, Newtown, Australia
- 3) Transformation Partners in Health and Care, London, UK
- 4) European AIDS Treatment Group (EATG), Brussels, Belgium
- 5) Global Action for Trans Equality (GATE), Mijdrecht, Netherlands
- 6) Fondazione Policlinico Universitario Agostino Gemelli IRCCS, Catholic University of the Sacred Heart, Rome, Italy
- 7) The Global Fund, Geneva, Switzerland
- 8) USC Rand Schrader HIV Clinic, Keck School of Medicine of USC, Los Angeles, CA, USA
- 9) 特定非営利活動法人 akta, 東京, 日本
- 10) Nelson Mandela University, Port Elizabeth, South Africa
- 11) Barong, Sao Paulo, Brazil
- 12) Women's Health in Women's Hands Community Centre, Toronto, Canada
- 13) Prevention Access Campaign, New York, NY, USA
- 14) BBC Children in Need, Manchester, UK
- 15) ヴィーブヘルスケア株式会社, 東京, 日本

026-2 Positive Perspectives 3 研究 (PP3)において、治療満足度は、アドヒアラנסおよび精神的・身体的・性的・全体的健康の改善と関連

Rickesh Patel<sup>1)</sup>、  
Brent Allan<sup>2)</sup>、Garry Brough<sup>3)</sup>、  
Mario Cascio<sup>4)</sup>、Erika Castellanos<sup>5)</sup>、  
Antonella Cingolani<sup>6)</sup>、  
Vuyiseka Dubula<sup>7)</sup>、W. David Hardy<sup>8)</sup>、  
岩橋恒太<sup>9)</sup>、Sindy Mbundwini<sup>10)</sup>、  
Marta McBritton<sup>11)</sup>、  
Mary Ndung'u<sup>12)</sup>、Bruce Richman<sup>13)</sup>、  
Mercy Shibemba<sup>14)</sup>、Ama Appiah<sup>1)</sup>、  
Dainielle Fox<sup>1)</sup>、Mariel Mayer<sup>1)</sup>、  
Shaun Mellors<sup>1)</sup>、Vilma Vega<sup>1)</sup>、  
Nneka Nwokolo<sup>1)</sup>、笹井明日香<sup>15)</sup>

- 1) ViiV Healthcare, London, UK
- 2) The National Association of People with HIV Australia, Newtown, Australia
- 3) Transformation Partners in Health and Care, London, UK
- 4) European AIDS Treatment Group (EATG), Brussels, Belgium
- 5) Global Action for Trans Equality (GATE), Mijdrecht, Netherlands
- 6) Fondazione Policlinico Universitario Agostino Gemelli IRCCS, Catholic University of the Sacred Heart, Rome, Italy
- 7) The Global Fund, Geneva, Switzerland
- 8) USC Rand Schrader HIV Clinic, Keck School of Medicine of USC, Los Angeles, CA, USA
- 9) 特定非営利活動法人 akta, 東京, 日本
- 10) Nelson Mandela University, Port Elizabeth, South Africa
- 11) Barong, Sao Paulo, Brazil
- 12) Women's Health in Women's Hands Community Centre, Toronto, Canada
- 13) Prevention Access Campaign, New York, NY, USA
- 14) BBC Children in Need, Manchester, UK
- 15) ヴィーブヘルスケア株式会社, 東京, 日本

026-3 薬害HIV感染者のポリファーマシーに関する現状調査

福嶋千穂<sup>1)</sup>、増田純一<sup>1)</sup>、岩月優菜<sup>1)</sup>、  
沼田理子<sup>1)</sup>、小林瑞季<sup>1)</sup>、霧生彩子<sup>1)</sup>、  
閔 將行<sup>1)</sup>、長島浩二<sup>1)</sup>、上村 悠<sup>2)</sup>、  
漏永博之<sup>2)</sup>、西村富啓<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療センター 薬剤部
- 2) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

# 一般演題（口演）

026-4	緩やかな自死として抗HIV療法を自己中断し死亡した高齢HIV患者の一例。 高嶋英樹 <sup>1)</sup> 、今井三枝子 <sup>2)</sup> 、叶内至 <sup>3)</sup> 、 阿部公俊 <sup>4)</sup> 、中尾安秀 <sup>1)</sup> 1) 医療法人財団明理会新松戸中央総合病院総合診療科・ 感染症内科 2) 医療法人財団明理会新松戸中央総合病院看護部 3) 医療法人財団明理会新松戸中央総合病院薬剤部 4) 医療法人財団明理会新松戸中央総合病院糖尿病・内分泌代謝内科	027-2	HIV感染血友病患者がアクセスしている 健康情報等の内容と手段に関する実態調査（中間報告） 佐々木愛美、大金美和、野崎宏枝、大杉福子、 鈴木ひとみ、谷口紅、大友健、木村聰太、 宮本里香、高橋昌也、杉野祐子、池田和子、 上村悠、照屋勝治、鷲永博之 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター
026-5	DTG中断後にINSTI-RAM S147G単独出現を認めた一例とその臨床的意義 山川奈津子 <sup>1)</sup> 、仲村秀太 <sup>2)</sup> 、上原仁 <sup>3)</sup> 、 大田久美子 <sup>3)</sup> 、宮城京子 <sup>4)</sup> 、前田サオリ <sup>4)</sup> 、 石郷岡美穂 <sup>5)</sup> 、前原一輝 <sup>5)</sup> 、上薰 <sup>5)</sup> 、 照屋美波 <sup>6)</sup> 、新里尚美 <sup>7)</sup> 、金城隆展 <sup>8)</sup> 、 大城光花 <sup>1)</sup> 、渡嘉敷良乃 <sup>1)</sup> 、山内恵 <sup>1)</sup> 、 今村美菜子 <sup>1,9)</sup> 、菊地正 <sup>10)</sup> 、山本和子 <sup>2)</sup> 1) 琉球大学病院 検査・輸血部 2) 琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器 内科 3) 琉球大学病院薬剤部 4) 琉球大学病院看護部 5) 琉球大学病院医療福祉センター 6) 琉球大学病院精神科神経科 7) 琉球大学病院第一内科 8) 琉球大学病院地域・国際医療部 9) 琉球大学大学院医学研究科 先進ゲノム検査医学講座 10) 国立感染症研究所 エイズ研究センター	027-3	薬害HIV感染血友病患者の治療薬変更に 伴う在宅療養支援 石井智美 <sup>1)</sup> 、車陽子 <sup>1)</sup> 、浅田裕子 <sup>1)</sup> 、 渡邊珠代 <sup>2)</sup> 1) 石川県立中央病院看護部 2) 石川県立中央病院免疫感染症科
		027-4	HIV陽性者の喫煙・禁煙に対する認識の 調査 富田亜沙美、中濱智子、東政美、米田奈津子、 白阪琢磨、上平朝子、渡邊大 大阪医療センター
		027-5	カウンセリングを拒否するメンタルヘル スに問題を抱えた患者の抑うつ状態から 脱却への関わり 今井三枝子、阿部公俊、高嶋英樹、叶内至、 中尾安秀 新松戸中央総合病院

■日時：12月6日（土）17:10～18:00

■会場：第5会場（3F 会議室C1-2）

## 口演27（臨床・C）

看護・長期療養・チーム医療1

座長 大金英和

（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

前田サオリ

（琉球大学病院 看護部）

027-1 血友病性関節症をめぐる薬害被害者支援  
の院内連携～コーディネーターナースの  
視点から～

知久熙眞<sup>1,2)</sup>、関義信<sup>3,4)</sup>、新保明日香<sup>5)</sup>、  
田村美喜<sup>5)</sup>、平岡司<sup>6)</sup>、栗原豊明<sup>6)</sup>、  
柴田怜<sup>1)</sup>、高木繁<sup>7)</sup>、望月友晴<sup>7)</sup>、  
茂呂寛<sup>1)</sup>

1) 新潟大学医歯学総合病院 感染管理部  
2) 公益財団法人エイズ予防財団 リサーチラボレーティント  
3) 新潟大学医歯学総合病院 血液内科  
4) 新潟県立がんセンター新潟病院 血液内科  
5) 新潟大学医歯学総合病院 看護部  
6) 新潟大学医歯学総合病院 リハビリテーション科  
7) 新潟大学医歯学総合病院 整形外科

■日時：12月6日（土）17:10～18:10

■会場：第6会場（3F 会議室D1-2）

## 口演28（社会・S）

郵送検査・検査体制

座長 舟石翔馬

（福岡コミュニティセンター HACO）

高濱宗一郎

（国立病院機構九州医療センター 免疫感染症内科）

028-1 HIV郵送検査に関する実態調査（2024）

須藤弘二<sup>1)</sup>、佐野貴子<sup>2)</sup>、近藤真規子<sup>1)</sup>、  
今井光信<sup>3)</sup>、今村顕史<sup>4)</sup>、加藤真吾<sup>1)</sup>

1) 株式会社ハナ・メディテック  
2) 神奈川県衛生研究所 微生物部  
3) 田園調布学園大学  
4) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

# 一般演題（口演）

028-2 ゲイバーとハッテン場への HIV 郵送検査キット設置における有効性と問題点 - 梅毒同時検査での検討 -

高濱宗一郎<sup>1)</sup>、今井絵利華<sup>1)</sup>、中嶋恵理子<sup>1)</sup>、  
南 留美<sup>1)</sup>、犬丸真司<sup>2)</sup>、長與由紀子<sup>2)</sup>、  
城崎真弓<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構 九州医療センター  
2) 国立病院機構 九州医療センター 看護部

028-3 北陸・南九州のハイリスク層を対象とした郵送検査による HIV 検査モデル構築と効果分析に関する研究

鄭 瑞雄<sup>1)</sup>、生島 翔<sup>2)</sup>、岩橋恒太<sup>3)</sup>、  
本間隆之<sup>4)</sup>、南 留美<sup>5)</sup>、彼谷裕康<sup>6)</sup>、  
渡邊珠代<sup>7)</sup>、森永浩次<sup>8)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院  
2) 特定非営利活動法人ぶれいす東京  
3) 特定非営利活動法人 akta  
4) 山梨県立大学  
5) 国立病院機構九州医療センター  
6) 富山県立中央病院  
7) 石川県立中央病院  
8) 福井県立病院

028-4 岡山県における「もんげー性病検査」10年 のあゆみ

和田秀穂<sup>1)</sup>、福田寛文<sup>2)</sup>  
1) 川崎医科大学総合臨床医学  
2) 川崎医科大学血液内科学

028-5 在留外国人の郵送 HIV 検査に関する選好に関する研究

北島 勉<sup>1)</sup>、Chunyan Li<sup>2)</sup>、  
沢田貴志<sup>3)</sup>、宮首弘子<sup>4)</sup>、Tran Thi Hue<sup>5)</sup>、  
Supriya Shakya<sup>6)</sup>

1) 杏林大学総合政策学部  
2) 東京大学東京カレッジ  
3) 港町診療所  
4) 杏林大学外国語学部  
5) 神戸女子大学文学部  
6) エイズ予防財団

028-6 当院で HIV 陽性が判明した 97 例から考察する検査体制の課題と提言

谷口 恭  
(医) 谷口医院

■日時：12月6日（土）18:10～19:00

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

口演 29（臨床・C）

看護・長期療養・チーム医療 2

座長 杉野祐子

（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

長與由紀子

（国立病院機構九州医療センター 看護部 AIDS/HIV 総合治療センター）

029-1 ACC 通院中の HIV 感染症高齢患者の居住地と医科併存疾患の通院先について

鈴木ひとみ<sup>1)</sup>、池田和子<sup>1)</sup>、谷口 紅<sup>1)</sup>、  
杉野祐子<sup>1)</sup>、大杉福子<sup>1)</sup>、佐々木愛美<sup>1)</sup>、  
大金美和<sup>1)</sup>、高橋昌也<sup>1)</sup>、大友 健<sup>1)</sup>、  
木村聰太<sup>1)</sup>、宮本里香<sup>1,2)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、  
鷗永博之<sup>1)</sup>

1) 国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター  
2) 公益財団法人エイズ予防財団

029-2 高次脳機能障害を伴う HIV 関連進行性多巣性白質脳症 (PML) を発症し、長期療養施設へ入所出来た一例

菊地太郎<sup>1,2)</sup>、増田真吾<sup>2)</sup>、遠藤恵里奈<sup>3)</sup>、  
長浦由紀<sup>4)</sup>、小笠宗一郎<sup>4)</sup>、濱田航一郎<sup>4)</sup>、  
赤羽目翔悟<sup>4)</sup>、杉本尊史<sup>2)</sup>、山内桃子<sup>2)</sup>、  
泉田真生<sup>2)</sup>、山梨啓友<sup>4)</sup>、中村裕子<sup>5)</sup>、  
寺坂陽子<sup>5,6)</sup>、森本浩之輔<sup>2)</sup>、前田隆浩<sup>4)</sup>、  
有吉紅也<sup>7)</sup>、泉川公一<sup>6)</sup>、古本朗嗣<sup>1)</sup>

1) 長崎大学病院 総合感染症科・感染症医療人育成センター  
2) 長崎大学病院 総合感染症科・国際感染症予防診療センター  
3) 長崎大学病院 地域医療連携センター  
4) 長崎大学病院 総合診療科  
5) 長崎大学病院 看護部  
6) 長崎大学病院 総合感染症科・感染制御教育センター  
7) 長崎大学熱帯医学研究所 感染症疫学・動態学分野

029-3 難民申請中外国籍 HIV 陽性者に対する多職種支援・多科診療体制構築の重要性

福島一彰<sup>1,2)</sup>、小嶋道子<sup>3)</sup>、小林あづさ<sup>4)</sup>、  
西川ゆかり<sup>1,5)</sup>、相澤陽太<sup>1)</sup>、鄭 瑞雄<sup>1)</sup>、  
田中 勝<sup>1)</sup>、小林泰一郎<sup>1)</sup>、関谷綾子<sup>1)</sup>、  
矢嶋敬史郎<sup>1)</sup>、味澤 篤<sup>1)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科  
2) がん・感染症センター都立駒込病院 感染制御科  
3) がん・感染症センター都立駒込病院 患者・地域サポートセンター  
4) がん・感染症センター都立駒込病院 看護部  
5) 東京都保健医療局感染症対策部

# 一般演題（口演）

029-4	南海トラフ地震に備える：PLWH向け災害対策冊子の作成と配布 加嶋真恵 <sup>1)</sup> 、川田通子 <sup>1)</sup> 、大田佐代子 <sup>1)</sup> 、吉田陽子 <sup>1)</sup> 、木村佐笑 <sup>1)</sup> 、住吉健太 <sup>2)</sup> 、小田優子 <sup>3)</sup> 、早川幸子 <sup>4)</sup> 、北岡陸男 <sup>4)</sup> 、内田俊平 <sup>5)</sup> 、塩入ひろみ <sup>1)</sup> 1) 香川大学医学部附属病院看護部 2) 香川大学医学部附属病院薬剤部 3) 香川大学医学部附属病院医療支援課 4) 香川大学医学部附属病院臨床栄養部 5) 香川大学医学部附属病院 HIV・AIDS 対策室	030-4	千葉大学における People living with HIV(PLWH) の薬物使用の実態と特徴：メタンフェタミン使用とその関連リスクに関する後ろ向き研究 吉川 寛、谷口俊文、矢幅美鈴、豊田陽子、猪狩英俊 千葉大学医学部附属病院
029-5	刑務所から地域へ HIV 関連機関ができるここと～お手紙プロジェクトから見えてきたニーズと課題～ 福正大輔、村崎美和、生島 嗣、渡辺ひかる 認定特定非営利活動法人ぶれいす東京	030-5	当院における薬物使用・薬物依存症者への取り組み 中尾 綾、山之内純 愛媛大学医学部附属病院 第一内科
	■日時：12月6日（土）18:30～19:20 ■会場：第4会場（3F 会議室B1-3） 口演30（社会・S） 薬物使用		■日時：12月6日（土）19:10～20:00 ■会場：第5会場（3F 会議室C1-2） 口演31（臨床・C） 看護・長期療養・チーム医療3
	座長 宮崎菜穂子 (東京 HIV 診療ネットワーク／川崎市保健所) 大島 岳 (明治大学 情報コミュニケーション学部 情報コミュニケーション学科)		座長 高木雅敏 (熊本大学病院 看護部) 田中美佐子 (産業医科大学病院 看護部)
030-1	薬物依存を有するHIV陽性者の生きづらさに関する内容分析 保坂嘉成 <sup>1,2)</sup> 、福正大輔 <sup>2)</sup> 、生島 嗣 <sup>2)</sup> 1) 西武文理大学看護学部 2) 認定NPO法人 ぶれいす東京	031-1	HIV感染症担当看護師の活動や役割に関する看護支援体制の実態と看護管理者の認識調査 ～HIV感染症の看護支援体制に関するアンケート調査より～ 大金美和 <sup>1)</sup> 、杉野祐子 <sup>1)</sup> 、照屋勝治 <sup>1)</sup> 、 上村 悠 <sup>1)</sup> 、後藤智己 <sup>2)</sup> 、柿沼章子 <sup>2)</sup> 、 岩野友里 <sup>2)</sup> 、花井十伍 <sup>3)</sup> 、潟永博之 <sup>1)</sup> 1) 国立国際医療センターEIZ治療・研究開発センター 2) 社会福祉法人はばたき福祉事業団 3) 認定特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権
030-2	薬物乱用防止教育における中学生の意識と学びの分析—自由記述に基づくテキストマイニング調査— 中野栄二 <sup>1,2,3)</sup> 、伊藤美緒子 <sup>1,4)</sup> 、鈴木智恵子 <sup>1,5)</sup> 1) 認定特定非営利活動法人 ASK (ASK 認定依存症予防教育アドバイザー) 2) 中央大学 3) 認定特定非営利活動法人ぶれいす東京 4) アルコール関連問題を考える会だるま会 5) 北海道公立学校スクールカウンセラーセラ	031-2	外来での療養支援の実態把握とHIV患者が看護師に求める役割に関する検討 ～HIV感染症の看護支援体制に関するアンケート調査より～ 杉野祐子 <sup>1)</sup> 、大金美和 <sup>1)</sup> 、照屋勝治 <sup>1)</sup> 、 上村 悠 <sup>1)</sup> 、後藤智己 <sup>2)</sup> 、柿沼章子 <sup>2)</sup> 、 岩野友里 <sup>2)</sup> 、花井十伍 <sup>3)</sup> 、潟永博之 <sup>1)</sup> 1) 国立国際医療センターEIZ治療・研究開発センター 2) 社会福祉法人はばたき福祉事業団 3) 認定特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権
030-3	タブレットを用いたHIV陽性者向け心理スクリーニング検査の妥当性検討 仲倉高広 <sup>1)</sup> 、井上洋士 <sup>2)</sup> 、板垣貴志 <sup>3)</sup> 、 村井俊哉 <sup>4)</sup> 1) 京都ノートルダム女子大学 2) 埼玉大学 3) 株式会社アクセライト 4) 京都大学		

# 一般演題（口演）

031-3 当院における HIV 診療チームの立ち上げと多職種連携による包括的運用：実践報告と今後の展望

梅村明日香<sup>1)</sup>、天本 大暁<sup>1)</sup>、綾部美幸<sup>2)</sup>、  
後藤綾乃<sup>2)</sup>、柴田 茜<sup>3)</sup>、江頭さおり<sup>4)</sup>、  
田中康大<sup>1)</sup>、芦澤博貴<sup>1)</sup>、岩本さゆみ<sup>5)</sup>、  
田中健之<sup>6)</sup>、尾長谷靖<sup>1)</sup>、泉川公一<sup>6)</sup>、  
迎 寛<sup>7,8)</sup>

- 1) 佐世保市総合医療センター 呼吸器内科
- 2) 佐世保市総合医療センター 地域連携センター
- 3) 佐世保市総合医療センター 総務
- 4) 佐世保市総合医療センター 薬剤部
- 5) 佐世保市総合医療センター 看護部
- 6) 長崎大学病院 総合感染症科・感染制御教育センター
- 7) 長崎大学病院 第二内科（呼吸器内科）
- 8) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 呼吸器内科学

031-4 東北のエイズ診療拠点病院がない地域を対象とした医療、福祉従事者の HIV に対するイメージ、受け入れに関する意識調査—管理者、現場職員間での意識の違いに着目して—

佐藤華絵<sup>1,2,4)</sup>、鈴木智子<sup>1)</sup>、松本理沙<sup>3)</sup>、  
小倉美緒<sup>2)</sup>、今村淳治<sup>1)</sup>

- 1) 仙台医療センター HIV/AIDS 包括医療センター
- 2) 仙台医療センター地域医療連携室
- 3) 仙台医療センター医師事務補助
- 4) 公益財団法人エイズ予防財団 リサーチレジデント

031-5 当院の「HIV感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業・実地研修」への取り組み

坂部茂俊<sup>1)</sup>、小池隆介<sup>2)</sup>、田中宏幸<sup>2)</sup>、  
豊嶋弘一<sup>2)</sup>、内田真季<sup>3)</sup>、村田 舞<sup>3)</sup>、  
森尾志保<sup>3)</sup>、中野絵梨<sup>4)</sup>、藤井典義<sup>4)</sup>、  
服部公紀<sup>5)</sup>

- 1) 伊勢赤十字病院 循環器内科
- 2) 伊勢赤十字病院 感染症内科
- 3) 伊勢赤十字病院 看護部
- 4) 伊勢赤十字病院 医療社会事業課
- 5) 伊勢赤十字病院 薬剤部

■日時：12月7日（日）9:00～9:50

■会場：第5会場（3F 会議室 C1-2）

## 口演32（基礎・B）

### 抗HIV薬

座長 三隅将吾

（熊本大学 大学院生命科学研究部附属グローバル天然物科学研究センター）

青木 学

（熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科）

032-1 Tellimagrandin 1 はアポトーシスを誘導することで HIV-1 複製を抑制する

門出和精<sup>1)</sup>、Perpetual Nyame<sup>1)</sup>、  
Wright Andrews Ofotsu Amesimeku<sup>1)</sup>、  
刈谷龍昇<sup>2)</sup>、Berkay Beyri<sup>3)</sup>、  
Md. Jakir Hossain<sup>1)</sup>、寺沢広美<sup>1)</sup>、  
門出奈美<sup>1)</sup>、立石 大<sup>3)</sup>、澤 智裕<sup>1)</sup>、  
藤田美歌子<sup>3)</sup>、池田 剛<sup>4)</sup>

- 1) 熊本大学大学院生命科学研究部
- 2) 神戸学院大学薬学部
- 3) 熊本大学大学院生命科学研究部 サイエンスファーム 生体機能化学共同研究講座
- 4) 崇城大学 薬学部

032-2 抗HIV-1剤としての抗体薬物複合体

三浦裕太郎<sup>1)</sup>、辻 耕平<sup>1)</sup>、小早川拓也<sup>1)</sup>、  
桑田岳夫<sup>2)</sup>、松本佳穂<sup>2)</sup>、伊東祐二<sup>3)</sup>、  
吉矢 拓<sup>4)</sup>、松下修三<sup>2)</sup>、玉村啓和<sup>1)</sup>

- 1) 東京科学大学総合研究院生体材料工学研究所
- 2) 熊本大学レトロウイルス学研究センター
- 3) 鹿児島大学大学院理工学研究科
- 4) 株式会社ペプチド研究所

032-3 創薬を指向した HIV-1 Gag MA ドメインとカルジオリピンとの結合に関する研究

富田 聖<sup>1)</sup>、福田智輝<sup>1)</sup>、立石 大<sup>2)</sup>、  
知念拓磨<sup>2)</sup>、青木 学<sup>1)</sup>、島垣和功<sup>2)</sup>、  
福田亮太<sup>2)</sup>、坂本亜里紗<sup>1,2)</sup>、大塚雅巳<sup>2,3)</sup>、  
藤田美歌子<sup>2)</sup>、安楽健作<sup>1)</sup>

- 1) 熊本保健科学大学大学院保健科学研究科
- 2) 熊本大学大学院生命科学研究部
- 3) サイエンスファーム株式会社

032-4 HIV-1 の dolutegravir 耐性発現メカニズムの解明

青木 学<sup>1,2,3)</sup>、Debananda Das<sup>2)</sup>、  
満屋裕明<sup>2,3,4)</sup>

- 1) 熊本保健科学大学
- 2) NCI/NIH
- 3) 国立国際医療研究所・難治性ウイルス感染症研究部
- 4) 熊大病院

# 一般演題（口演）

032-5 A dual-function AAV system with HiBiT and StayGold for quantification and imaging toward future HIV/AIDS gene therapy

Alhaji M. Jalloh<sup>1,2)</sup>、孔 徳川<sup>1,2)</sup>、  
多田卓哉<sup>3)</sup>、Nathaniel R. Landau<sup>3)</sup>、  
上野貴将<sup>2)</sup>、徳永研三<sup>1,2)</sup>

1) 国立感染症研究所 感染病理部  
2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター  
3) Department of Microbiology, NYU Grossman School of Medicine, New York

■日時：12月7日（日）10:00～10:50

■会場：第5会場（3F 会議室C1-2）

口演33（基礎・B）

分子疫学

座長 岩谷靖雅

（浜松医科大学 医学部 微生物学・免疫学講座）

椎野禎一郎

（国立健康危機管理研究機構 臨床研究センター データサイエンス部）

033-1 Nanopore Sequencingを用いた HIV-1ゲノム翻訳領域でのIntactness評価

大出裕高<sup>1)</sup>、松田昌和<sup>1)</sup>、重見 麗<sup>1)</sup>、  
山村喜美<sup>1)</sup>、今橋真弓<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>、  
岩谷靖雅<sup>1,2)</sup>

1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター  
2) 名古屋大学大学院医学系研究科

033-2 国内HIV-1伝播クラスタ動向（SPHNCs分析）年報－2024年

椎野禎一郎<sup>1,7)</sup>、今橋真弓<sup>2)</sup>、南 留美<sup>3)</sup>、  
中村麻子<sup>4)</sup>、林田庸総<sup>5)</sup>、吉村和久<sup>6)</sup>、  
杉浦 瓦<sup>1)</sup>、菊地 正<sup>7)</sup>

1) 国立健康危機管理研究機構 臨床研究センター  
2) 国立病院機構名古屋医療センター  
3) 国立病院機構九州医療センター  
4) 福岡県保健環境研究所 保健科学部ウイルス課  
5) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター  
6) 東京都健康安全研究センター  
7) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター

033-3 東海地方において検出された組換え型 HIV-1遺伝系統の分子疫学的解析

松田昌和<sup>1)</sup>、重見 麗<sup>1)</sup>、山村喜美<sup>1)</sup>、  
大出裕高<sup>1)</sup>、今橋真弓<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>、  
岩谷靖雅<sup>1,2)</sup>

1) (独) 国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部  
2) 名古屋大学大学院医学系研究科 免疫不全統御学講座

033-4

HIV感染者におけるエピジェネティック年齢評価：日本人集団向け計算モデルの開発と国内応用への展望

塘 由惟<sup>1,2)</sup>、笠松亜由<sup>1)</sup>、鄭 瑞雄<sup>3)</sup>、  
立川 愛<sup>1)</sup>、仲木 竜<sup>4)</sup>

1) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所  
2) 慶應義塾大学 医学部 医療政策・管理学  
3) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科  
4) 株式会社 Rhelixa

033-5

P-B02-2 コレセプター利用性の異なるHIV-1による混合感染の次世代シークエンスを用いた解析

前田洋助<sup>1,2)</sup>、近田貴敬<sup>3)</sup>、阿部 遥<sup>5)</sup>、  
寺沢広美<sup>2)</sup>、Giang Van Tran<sup>3,4)</sup>、  
澤 智裕<sup>2)</sup>、長谷部太<sup>5)</sup>、滝口雅文<sup>3)</sup>

1) 吉備国際大学  
2) 熊本大学生命科学部微生物学講座  
3) ヒトレトロウイルス学共同研究センター  
4) National Hospital of Tropical Diseases, Hanoi, Vietnam  
5) 長崎大学熱帯医学研究所

■日時：12月7日（日）10:20～11:10

■会場：第4会場（3F 会議室B1-3）

口演34（臨床・C）

日和見感染・悪性腫瘍・肺炎2

座長 村田昌之

（九州大学病院 総合診療科）

古賀道子

（東京大学 新世代感染症センター 医科学研究所附属病院）

034-1

HIV陽性者における倍量B型肝炎ワクチン再接種とその効果

村松 崇、金子 竣、原田侑子、宮下竜伊、  
上久保淑子、一木昭人、近澤悠志、備後真登、  
閔谷綾子、四本美保子、萩原 剛、天野景裕、  
木内 英

東京医科大学病院臨床検査医学科

# 一般演題（口演）

## 034-2 HIV陽性者におけるC型肝炎の新規感染

石川和宏<sup>1,2)</sup>、村松 崇<sup>3)</sup>、金子 純<sup>3)</sup>、  
原田 侑子<sup>3)</sup>、宮下竜伊<sup>3)</sup>、一木 昭人<sup>3)</sup>、  
近澤 悠志<sup>3)</sup>、備後 真登<sup>3)</sup>、関谷 綾子<sup>3)</sup>、  
四本美保子<sup>3)</sup>、萩原 剛<sup>3)</sup>、天野 景裕<sup>3)</sup>、  
木内 英<sup>3)</sup>

1) 江戸川病院  
2) 東京医科大学茨城医療センター感染症科  
3) 東京医科大学臨床検査医学科

## 034-3 血友病合併 HIV/HCV重複感染に起因する肝硬変患者に対するホスセンビントの安全性、有効性を検証する医師主導治験（第II相試験）

木村公則<sup>1)</sup>、生駒明美<sup>1)</sup>、岡本典代<sup>1)</sup>、  
遠藤知之<sup>2)</sup>、阪森亮太郎<sup>3)</sup>、四柳 宏<sup>4)</sup>、  
潟永博之<sup>5)</sup>

1) 東京都立駒込病院肝臓内科  
2) 北海道大学病院・感染制御部  
3) 国立大阪医療センター消化器内科  
4) 東京大学医科学研究所附属病院先端医療研究センター  
5) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

## 034-4 当院で抗ウイルス療法開始前に好中球減少症を発症していたHIV感染症/AIDS症例に対するG-CSF製剤の使用実績

金井 修

国立病院機構京都医療センター

## 034-5 HIV陽性者における当院での大腸外科・整形外科手術症例のSSI(手術部位感染)の検討

相澤陽太、関谷綾子、鄭 瑞雄、田中 勝、  
福島一彰、小林泰一郎、矢嶋敬史郎、味澤 篤、  
今村顕史

がん・感染症センター 都立駒込病院 感染症科

■日時：12月7日（日）11:00～11:50

■会場：第5会場（3F 会議室C1-2）

口演35（基礎・B）

動物モデル

座長 石井 洋

（国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 潜在感染研究部）

浦野恵美子

（医薬基盤・健康・栄養研究所 靈長類医科学研究センター）

## 035-1 SIV中和抵抗性の克服に関連した第二のNef多型の特定

星野南月<sup>1,2)</sup>、Anh Hong Quynh Pham<sup>1,3)</sup>、小島潮子<sup>1)</sup>、西澤雅子<sup>1)</sup>、芳田 剛<sup>1)</sup>、  
Trang Thi Thu Hau<sup>1)</sup>、林 隆也<sup>1)</sup>、  
関紗由里<sup>1)</sup>、山本浩之<sup>1,3,4,5)</sup>

1) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所エイズ研究センター  
2) 横浜市立大学大学院 医学研究科  
3) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター  
4) Department of Biomedicine, University Hospital Basel  
5) 東京科学大学 NIID 統合微生物学

## 035-2 抗HIV中和抗体を用いた免疫療法は、CD8+T細胞を主体とした免疫応答でエイズウイルスを制御する

岡村 智崇<sup>1,2)</sup>、桑田岳夫<sup>3)</sup>、八坂奈津美<sup>4)</sup>、  
中嶋拓史<sup>4)</sup>、花木賢一<sup>1)</sup>、松下修三<sup>3)</sup>、  
保富康宏<sup>2)</sup>

1) 国立感染症研究所安全管理研究センター  
2) 医薬基盤・健康・栄養研究所靈長類医科学研究センター  
3) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター  
4) 株式会社 CURED

# 一般演題（口演）

035-3 Establishment of conditional antigen expressing mouse models for analysis of immune responses against reactivated HIV reservoir

Chatherine Silas Mtali<sup>1)</sup>、  
Rise Kurokawa<sup>1)</sup>、  
Innocent John Daniel<sup>1)</sup>、  
Yashushi Yabuki<sup>2,3)</sup>、  
Takushi Nomura<sup>4)</sup>

- 1) Division of Virology and Pathology, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan
- 2) Department of Genomic Neurology, Institute of Molecular Embryology and Genetics (IMEG), Kumamoto University, Kumamoto, Japan
- 3) Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kumamoto University, Kumamoto, Japan
- 4) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan Institute for Health Security, Tokyo, Japan

035-4 Analysis of antigen-specific T cell response in sub-acute phase using SARS-CoV-2 infected mouse model

黒川理世<sup>1)</sup>、Chatherine Silas Mtali<sup>1)</sup>、  
Innocent John Daniel<sup>1)</sup>、  
Thorbjorg Einarsdottir<sup>1)</sup>、  
Cassian Germanus Mwinuka<sup>1)</sup>、  
坂本 歩<sup>1)</sup>、Fazilova Fidan<sup>1)</sup>、佐藤賢文<sup>2)</sup>、  
小野昌弘<sup>3,4)</sup>、野村拓志<sup>1,5)</sup>

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター－ウイルス病態学分野
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター－ゲノミクス・トランスクリプトミクス学分野
- 3) インペリアル・カレッジ・ロンドン理学部生物学科
- 4) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター－先進感染症研究教育ユニット
- 5) 国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所エイズ研究センター

035-5 Evaluation of immune cell migration dynamics associated with disease severity in SARS-CoV-2 infected mice

Innocent John Daniel<sup>1)</sup>、  
Thorbjorg Einarsdottir<sup>1)</sup>、  
Rise Kurokawa<sup>1)</sup>、  
Chatherine Silas Mtali<sup>1)</sup>、  
Cassian Mwinuka Germanus<sup>1)</sup>、  
Takushi Nomura<sup>1,2)</sup>

- 1) Division of Virology and Pathology, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

2) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan Institute for Health Security

■日時：12月7日（日）11:20～12:00

■会場：第4会場（3F 会議室B1-3）

口演36（臨床・C）

日和見感染・悪性腫瘍・肺炎3

座長 青木孝弘

（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

中本貴人

（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

036-1 薬害 HIV 感染被害者に対するがん検診受検希望についてのアンケート調査

福田あかり<sup>1)</sup>、古賀道子<sup>1,2)</sup>、田中貴大<sup>1)</sup>、  
保坂 隆<sup>1,3)</sup>、石坂 彩<sup>1)</sup>、野島正寛<sup>1)</sup>、  
柿沼章子<sup>4)</sup>、後藤智巳<sup>4)</sup>、藤谷順子<sup>5)</sup>、  
伊藤俊広<sup>6)</sup>、今橋真弓<sup>7)</sup>、江口 晋<sup>8)</sup>、  
遠藤知之<sup>9)</sup>、木内 英<sup>10)</sup>、阪森亮太郎<sup>11)</sup>、  
高橋俊二<sup>12)</sup>、照屋勝治<sup>5)</sup>、丹生健一<sup>13)</sup>、  
橋本則久<sup>14)</sup>、花井十伍<sup>14)</sup>、藤井輝久<sup>15)</sup>、  
南 留美<sup>16)</sup>、茂呂 寛<sup>17)</sup>、横幕能行<sup>7)</sup>、  
渡邊 大<sup>11)</sup>、渡邊珠代<sup>18)</sup>、四柳 宏<sup>1,5)</sup>

1) 東京大学医科学研究所

2) 東京大学新世代感染症センター

3) 保坂サイコオノコロジー・クリニック

4) はばたき福祉事業団

5) 国立健康危機管理研究機構

6) 仙台医療センター

7) 名古屋医療センター

8) 長崎大学病院

9) 北海道大学病院

10) 東京医科大学病院

11) 大阪医療センター

12) がん研究会附属病院

13) 神戸大学医学部附属病院

14) ネットワーク医療と人権

15) 広島大学病院

16) 九州医療センター

17) 新潟大学医歯学総合病院

18) 石川県立中央病院

036-2 HIV 感染者における悪性腫瘍の発生率と予後

松川敏大<sup>1,2)</sup>、遠藤知之<sup>1,2,3)</sup>、長谷川祐太<sup>1,2)</sup>、  
高橋知希<sup>1,4)</sup>、森木朝子<sup>1,4)</sup>、長井 悅<sup>1,4)</sup>、  
後藤秀樹<sup>1,2)</sup>、豊嶋崇徳<sup>1,2)</sup>

1) 北海道大学病院血液内科

2) 北海道大学病院 HIV 診療支援センター

3) 北海道大学病院感染制御部

4) エイズ予防財団

# 一般演題（口演）

## 036-3 当院のHIV陽性者における前立腺癌の特徴

吉田恭子<sup>1)</sup>、関谷綾子<sup>1)</sup>、三浦基嗣<sup>1)</sup>、  
山本浩貴<sup>1)</sup>、相澤陽太<sup>1)</sup>、鵜飼康平<sup>1,2)</sup>、  
多田周平<sup>1,2)</sup>、鄭瑞雄<sup>1)</sup>、西川ゆかり<sup>1,2)</sup>、  
田中 勝<sup>1)</sup>、小林泰一郎<sup>1)</sup>、福島一彰<sup>1)</sup>、  
矢嶋敬史郎<sup>1)</sup>、味澤 篤<sup>1)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科  
2) 東京都保健医療局 感染症対策部 調査・分析課

## 036-4 当科で経験した肛門管癌7症例の検討

金子 竜、村松 崇、大崎俊樹、原田侑子、  
宮下竜伊、一木昭人、近澤悠志、備後真登、  
四本美保子、天野景裕、木内 英

東京医科大学病院臨床検査医学科

# 一般演題（ポスター）

■日時：12月5日（金） 17:20～18:20  
■会場：ポスター会場（3F 会議室A2・3）

ポスター P-B01 (基礎・B)  
HIV-1 潜伏感染・リザーバー

座長 松岡和弘

（国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部）

P-B01-1 腸内 dysbiosis と慢性炎症が及ぼす  
011-3 HIV リザーバー維持機構の解明

水谷壮利<sup>1,2)</sup>、石坂 彩<sup>3)</sup>、古賀道子<sup>4,5)</sup>、  
山本浩之<sup>2)</sup>、四柳 宏<sup>3,5,6)</sup>

- 1) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 検査診断技術研究部
- 2) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター
- 3) 東京大学 医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野
- 4) 東京大学 国際高等研究所新世代感染症センター
- 5) 東京大学 医科学研究所附属病院 感染免疫内科
- 6) 国立健康危機管理研究機構

P-B01-2 腸内細菌由来の細胞外小胞が HIV リザーバーの維持に果たす役割  
WS04-4

石坂 彩<sup>1)</sup>、水谷壮利<sup>2,3)</sup>、古賀道子<sup>4,5)</sup>、  
山本浩之<sup>3)</sup>、四柳 宏<sup>1,4,6)</sup>

- 1) 東京大学 医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野
- 2) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 検査診断技術研究部
- 3) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター
- 4) 東京大学 医科学研究所附属病院 感染免疫内科
- 5) 東京大学 国際高等研究所 新世代感染症センター
- 6) 国立健康危機管理研究機構

P-B01-3 欠損型 HIV リザーバー細胞は感染初期に  
011-1 形成され長期的に維持される

松田幸樹<sup>1)</sup>、土屋亮人<sup>2)</sup>、小泉吉輝<sup>2)</sup>、  
川島 亮<sup>2,5)</sup>、中村裕子<sup>3)</sup>、上村修司<sup>3)</sup>、  
藤崎知園子<sup>4)</sup>、山口宗一<sup>4)</sup>、橋口照人<sup>4)</sup>、  
鶴永博之<sup>2,5)</sup>、前田賢次<sup>1)</sup>

- 1) 鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 2) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター・エイズ治療・研究開発センター（ACC）
- 3) 鹿児島大学消化器疾患・生活習慣病学分野
- 4) 鹿児島大学血管代謝病態解析学分野
- 5) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

P-B01-4 Utilizing recombinant SIV infected macaque model to understand HIV-1 reservoir establishment and persistence

Sharmin Nahar Sithi<sup>1)</sup>、  
Samiul Alam Rajib<sup>1)</sup>、  
Kazuaki Monde<sup>2)</sup>、Takuto Nogimori<sup>3)</sup>、  
Wajihah Sakhor<sup>1)</sup>、Kenji Sugata<sup>1)</sup>、  
Takuya Yamamoto<sup>3)</sup>、Yorifumi Satou<sup>1)</sup>

- 1) Division of Genomics & Transcriptomics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University
- 2) Department of Microbiology, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University
- 3) Center for Vaccine & Adjuvant Research, National Institutes of Biomedical Innovation, Health and Nutrition

P-B01-5 A Novel Human Microglial Clone-Based Model to characterize  
WS04-3 HIV-1 Latency in CNS

Randa A Abdelnaser,  
Youssef M. Eltalkhawy、Shinya Suzu

Division of Infection and Hematopoiesis, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Kumamoto, Japan.

■日時：12月5日（金） 17:20～18:20

■会場：ポスター会場（3F 会議室A2・3）

ポスター P-B02 (基礎・B)  
ウイルス感染

座長 芳田 剛

（国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター）

P-B02-1 HIV-1 複製におけるエンベローブタンパク細胞内領域の機能解析

宮内浩典<sup>1,2)</sup>

- 1) 国立研究開発法人理化学研究所生命医科学研究センター
- 2) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター

# 一般演題（ポスター）

P-B02-2  
033-5 コレセプター利用性の異なるHIV-1による混合感染の次世代シーケンスを用いた解析

前田洋助<sup>1,2)</sup>、近田貴敬<sup>3)</sup>、阿部 遥<sup>5)</sup>、  
寺沢広美<sup>2)</sup>、Giang Van Tran<sup>3,4)</sup>、  
澤 智裕<sup>2)</sup>、長谷部太<sup>5)</sup>、滝口雅文<sup>3)</sup>

- 1) 吉備国際大学
- 2) 熊本大学生命科学研究所微生物学講座
- 3) ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 4) National Hospital of Tropical Diseases, Hanoi, Vietnam
- 5) 長崎大学熱帯医学研究所

P-B02-3  
WS04-2 Genome-wide CRISPR Screening to Identify Genes Regulating the Stability of the HIV-1 Tat Protein

Caroline Jelagat<sup>1)</sup>、  
Ryosuke Nomura<sup>1)</sup>、  
Hiroyuki Matsui<sup>1)</sup>、  
Tadahiko Matsumoto<sup>1)</sup>、  
Yusuke Tashiro<sup>1)</sup>、  
Yoshinobu Konishi<sup>1)</sup>、  
Yusuke Okamoto<sup>1)</sup>、  
Tomoshige Shimizu<sup>1)</sup>、  
Kotaro Suzuki<sup>1)</sup>、Kazunari Aoki<sup>2)</sup>、  
Kosuke Yusa<sup>2)</sup>、  
Takaori-Kondo Akifumi<sup>1)</sup>、  
Kotaro Shirakawa<sup>1)</sup>

- 1) Department of Hematology, Graduate School of Medicine, Kyoto University
- 2) Laboratory of Stem Cell Genetics, Institute of Frontier Life and Medical Sciences, Kyoto University

P-B02-4  
Establishment of HIV-1 structural protein expression model

Cassian Mwinuka<sup>1)</sup>、  
Chatherine Silas Mtali<sup>1)</sup>、  
Rise Kurokawa<sup>1)</sup>、  
Innocent John Daniel<sup>1)</sup>、  
Thorbjorg Einarsdottir<sup>1)</sup>、  
Takushi Nomura<sup>1,2)</sup>

- 1) Division of Virology and Pathology, Joint Research center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan
- 2) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan Institute for Health Security, Tokyo, Japan

P-B02-5 The establishment of a transgenic mouse system to analyze HTLV-1-driven CD4+ T cell immortalization mechanism

M Ishrat Jahan<sup>1)</sup>、Kenji Sugata<sup>1)</sup>、  
Koki Nimura<sup>1)</sup>、Takushi Nomura<sup>1)</sup>、  
Nobuko Irie<sup>2)</sup>、Kimi Araki<sup>1)</sup>、  
Masahiro Ono<sup>3)</sup>、Yorifumi Satou<sup>1,2)</sup>

- 1) Joint Research Center for Human Retrovirus Infections, Kumamoto University
- 2) International Research Center for Medical Sciences (IRCMS), Kumamoto University, Kumamoto, Japan.
- 3) Department of Life Sciences, Imperial College London.

P-B02-6 Circulating Bovine Leukemia Virus Cell-Free DNA as a Promising Biomarker for Enzootic Bovine Leukosis

Arif Nur Muhammad Ansori<sup>1,2)</sup>、  
M. Ishrat Jahan<sup>1)</sup>、Toshiaki Inenaga<sup>3)</sup>、  
Sakurako Makimoto<sup>4)</sup>、  
Md. Belal Hossain<sup>1,5)</sup>、  
Yuka Matsuoka<sup>1)</sup>、  
Sharmin Nahar Sithi<sup>1)</sup>、  
Samiul Alam Rajib<sup>1)</sup>、Kenji Sugata<sup>1)</sup>、  
Kazuhiko Imakawa<sup>6)</sup>、  
Tomoko Kobayashi<sup>4)</sup>、  
Yorifumi Satou<sup>1)</sup>

- 1) Division of Genomics and Transcriptomics (Satou Lab), The Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University
- 2) Postgraduate School, Universitas Airlangga, Surabaya, Indonesia
- 3) Laboratory of Animal Management Science, Department of Animal Science, School of Agriculture, Tokai University, Kumamoto, Japan
- 4) Laboratory of Animal Health, Department of Animal Science, Faculty of Agriculture, Tokyo University of Agriculture, Atsugi, Kanagawa, Japan
- 5) Department of Food Microbiology, Faculty of Nutrition and Food Science, Patuakhali Science and Technology University, Dumki, Patuakhali, Bangladesh
- 6) Laboratory of Molecular Reproduction, Research Institute of Agriculture, Tokai University, Kumamoto, Japan

# 一般演題（ポスター）

P-B02-7 015-5 Analysis of retroelement-derived RNA transcription in the lungs of SARS-CoV-2 infected mice

Thorbjoerg Einarsdottir<sup>1)</sup>、  
Rise Kurokawa<sup>1)</sup>、  
Chatherine Silas Mtali<sup>1)</sup>、  
Innocent John Daniel<sup>1)</sup>、  
Omnia Reda<sup>2)</sup>、Yorifumi Satou<sup>2)</sup>、  
Masahiro Ono<sup>3,4)</sup>、Takushi Nomura<sup>1,5)</sup>

- 1) Division of Virology and Pathology, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Kumamoto, Japan
- 2) Division of Genomics and Transcriptomics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Kumamoto, Japan
- 3) Collaboration Unit for Infection, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University, Japan
- 4) Department of Life Sciences, Imperial College London, London, UK
- 5) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan Institute for Health Security, Tokyo, Japan

P-B02-8 015-1 HIV-1 Vif による APOBEC3H 二量体の部位特異的ユビキチン化機構の構造学的基盤

松岡和弘<sup>1)</sup>、Katarzyna Skorupka<sup>2)</sup>、  
Vanivilasini Balachandran<sup>2)</sup>、  
松尾 浩<sup>2)</sup>、岩谷靖雅<sup>1,3)</sup>

- 1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部
- 2) Cancer Innovation Laboratory, Frederick National Laboratory for Cancer Research, NCI, NIH
- 3) 名古屋大学大学院医学系研究科 基礎医学領域

■日時：12月6日（土） 19:20～20:00

■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

ポスター P-B03 (基礎・B)

免疫

座長 近田貴敬

（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

P-B03-1 015-3 SARS-CoV-2 spike L452R 変異の側鎖反転による HLA-A\*24:02 拘束性 T 細胞認識回避機構の解明

仲摩 健<sup>1,2)</sup>、Aaron Wall<sup>3)</sup>、浜名 洋<sup>4)</sup>、  
有津由樹<sup>1,2)</sup>、Toong Tan<sup>2)</sup>、豊田真子<sup>2)</sup>、  
後藤由比古<sup>2)</sup>、Huanyu Li<sup>1,2)</sup>、北松瑞生<sup>5)</sup>、  
宇高恵子<sup>6)</sup>、Pierre Rizkallah<sup>3)</sup>、  
岸 裕幸<sup>4)</sup>、上野貴将<sup>2)</sup>、  
Andrew Sewell<sup>2,3)</sup>、本園千尋<sup>2)</sup>

- 1) 熊本大学医学教育部医学専攻
- 2) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 感染免疫学分野
- 3) カーディフ大学医学部 感染免疫学
- 4) 富山大学 学術研究部医学系 免疫学
- 5) 近畿大学 理工学部 応用化学科
- 6) 高知大学 免疫学教室

P-B03-2 Characterization of CD8<sup>+</sup> T cells reactive to SARS-CoV-2 L452R variant in convalescents harboring HLA-A\*24:02

李カンウ<sup>1)</sup>、仲摩 健<sup>1)</sup>、有津由樹<sup>1)</sup>、  
金 炎<sup>1)</sup>、後藤由比古<sup>1)</sup>、上野貴将<sup>2)</sup>、  
本園千尋<sup>2)</sup>

- 1) 国立大学法人 熊本大学 医学教育部
- 2) 国立大学法人 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター

P-B03-3 ワクチン接種ならびに感染によって誘導される新型コロナウイルス spike 抗原に対する HLA-A\*24:02 拘束性 T 細胞応答の解析

富田和奏<sup>1,3)</sup>、仲摩 健<sup>2,3)</sup>、堀美寿季<sup>2,3)</sup>、  
Toong Tan<sup>3)</sup>、上野貴将<sup>3)</sup>、本園千尋<sup>3)</sup>

- 1) 熊本大学医学部医学科
- 2) 熊本大学医学教育部
- 3) 熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 感染免疫学分野

# 一般演題（ポスター）

P-B03-4 SARS-CoV-2 mRNA ワクチン誘導型  
020-1 抗原特異的 T 細胞応答の経時的解析

堀美寿季<sup>1,2)</sup>、仲摩 健<sup>1,2)</sup>、Toong Tan<sup>2)</sup>、  
富田和奏<sup>3)</sup>、後藤由比古<sup>2)</sup>、田嶋祐香<sup>1,2)</sup>、  
本園千尋<sup>2)</sup>、白川康太郎<sup>4)</sup>、高折晃史<sup>4)</sup>、  
上野貴将<sup>2)</sup>、佐藤 佳<sup>5)</sup>

- 1) 熊本大学医学教育部
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター感染  
免疫学分野
- 3) 熊本大学医学部医学科
- 4) 京都大学大学院医学研究科血液内科学
- 5) 東京大学医科学研究所システムウイルス学分野

P-B03-5 HIV 感染者における SARS-CoV-2 に  
020-2 対する細胞性免疫応答の解析

立川（川名）愛<sup>1,2,3)</sup>、細谷（中山）香<sup>1)</sup>、  
Alitzel Anzurez<sup>1)</sup>、古賀道子<sup>4,5)</sup>、  
四柳 宏<sup>6,7)</sup>、吉村幸浩<sup>8)</sup>、立川夏夫<sup>9)</sup>、  
山本浩之<sup>1,2)</sup>

- 1) 国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所エイズ  
研究センター
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 東京大学医科学研究所附属病院エイズワクチン開発  
担当
- 4) 東京大学新世代感染症センター感染症研究分野
- 5) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 6) 国立健康危機管理研究機構
- 7) 東京大学医科学研究所
- 8) 横浜市立市民病院感染症内科
- 9) 名寄東病院

P-B03-6 Integrated single cell analysis of  
WS04-5 HTLV-1 specific CD8 T cells in  
peripheral blood and  
cerebrospinal fluid from HAM/  
TSP patients

Md Saiful Islam<sup>1)</sup>、Kenji Sugata<sup>1)</sup>、  
Benjy Jek Yang Tan<sup>1)</sup>、  
Mitsuyoshi Takatori<sup>1)</sup>、  
Md Samiul Alam Rajib<sup>1)</sup>、  
Omnia Reda<sup>1)</sup>、Masahito Tokunaga<sup>2)</sup>、  
Toshiya Nomura<sup>3)</sup>、Teruaki Masuda<sup>3)</sup>、  
Makoto Nakashima<sup>4,5)</sup>、  
Tomoo Sato<sup>4,5)</sup>、Mitsuharu Ueda<sup>3)</sup>、  
Atae Utsunomiya<sup>2)</sup>、  
Yoshihisa Yamano<sup>4,5)</sup>、  
Yorifumi Satou<sup>1)</sup>

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス感染症共同研究センター  
ゲノミクス・トランск립トミクス部門
- 2) Department of Hematology, Imamura  
General Hospital
- 3) Department of Neurology, Graduate School  
of Medical Sciences, Kumamoto University
- 4) Department of Rare Diseases Research,  
Institute of Medical Science, St. Marianna  
University School of Medicine
- 5) Department of Neurology, St. Marianna  
University School of Medicine

P-B03-7 THE CHARACTERIZATION OF  
ANTIBODY BINDING FROM  
COVID-19 VACCINATED  
GROUPS

Ploy Nantapisit<sup>1,2)</sup>、  
Supranee Phanthanawiboon<sup>2)</sup>

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター分子  
ウイルス・遺伝学分野
- 2) Department of Microbiology, Faculty of  
Medicine, Khon Kaen University, Thailand.

P-B03-8 SARS-CoV-2 に対する広域中和抗体の  
解析

桑田岳夫<sup>1)</sup>、郭 悠<sup>2)</sup>、清水美紀子<sup>1)</sup>、  
丸山佳美<sup>1)</sup>、  
Ahmed Khairy Hamdy Edris<sup>1)</sup>、  
松下修三<sup>1)</sup>

- 1) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 2) 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター感染症内  
科

P-B03-9 グラフニューラルネットワークを用いた  
抗 HIV-1 抗体の評価

郭 悠、伊東直哉

名古屋市立大学医学部付属東部医療センター

# 一般演題（ポスター）

■日時：12月6日（土） 19:20～20:00  
■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

## ポスター P-B04（基礎・B） 抗ウイルス薬・ウイルス進化・治療

座長 大出 裕高

（国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター 感染・免疫研究部）

### P-B04-1 LENACAPAVIR INHIBITS VIRAL 006-3 FORMATION AT THE LATE STAGE OF THE HIV-1 LIFE CYCLE

Wright Andrews Ofotsu Amesimeku<sup>1)</sup>、  
Yoshihiro Nakata<sup>2)</sup>、Hirotaka Ode<sup>2)</sup>、  
Nami Monde<sup>1)</sup>、Hiromi Terasawa<sup>1)</sup>、  
Perpetual Nyame<sup>1)</sup>、Md. Jakir Hossain<sup>1)</sup>、  
Terumasa Ikeda<sup>3)</sup>、Akatsuki Saito<sup>4)</sup>、  
Tomohiro Sawa<sup>1)</sup>、Yosuke Maeda<sup>1)</sup>、  
Yasumasa Iwatani<sup>2)</sup>、Kazuaki Monde<sup>1)</sup>

- 1) Department of Microbiology, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University
- 2) National Hospital Organization Nagoya Medical Center. Clinical Research Center, Department of Infectious Diseases and Immunology.
- 3) Division of Molecular Virology and Genetics, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University.
- 4) Department of Veterinary Medicine, University of Miyazaki.

### P-B04-2 HIV-1 Capsid polymorphic signatures in non-B subtype and their impact on Lenacapavir susceptibility

Twilumba Makene<sup>1,2)</sup>、Mako Toyoda<sup>1)</sup>、  
Hussein Mti<sup>1)</sup>、Godfrey Barabona<sup>1,2)</sup>、  
Manabu Aoki<sup>3)</sup>、Doreen Kamori<sup>1,2)</sup>、  
Bruno Sunguya<sup>1,2)</sup>、  
Takamasa Ueno<sup>1,2)</sup>

- 1) Division of Infection and Immunity, Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University
- 2) Muhimbili University of Health and Allied Sciences - MUHAS, Tanzania
- 3) Department of Medical Technology, Kumamoto Health Science University, Kumamoto, Japan

### P-B04-3 共有結合性 hydroquinone 及び hydrazide 構造を有する抗 HIV-1 capsid 阻害剤の強化

中村朋文<sup>1,2)</sup>、高宗暢暎<sup>3)</sup>、奥村真由<sup>4)</sup>、  
安永純一朗<sup>2)</sup>、杉浦正晴<sup>5)</sup>、天野将之<sup>2,6)</sup>

- 1) 熊本大学病院 中央検査部
- 2) 熊本大学大学院生命科学研究部 血液・膠原病・感染症内科学
- 3) 熊本大学・研究開発戦略本部
- 4) 熊本大学病院・薬剤部
- 5) 崇城大学・薬学部・薬学科
- 6) 熊本第一病院

### P-B04-4 HIV-1 カプシド領域における non-viable 変異および補償変異に関する研究

中田佳宏<sup>1)</sup>、大出裕高<sup>1)</sup>、  
Wright Andrews ofotsu Amesimeku<sup>2)</sup>、  
門出和精<sup>2)</sup>、小島加奈子<sup>1)</sup>、今橋真弓<sup>1)</sup>、  
横幕能行<sup>1)</sup>、岩谷靖雅<sup>1,3)</sup>

- 1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部
- 2) 熊本大学大学院生命科学研究部 微生物学講座
- 3) 名古屋大学大学院医学系研究科 免疫不全統御学講座

### P-B04-5 卓越した耐性プロファイルを有する新規 第三世代インテグラーゼ阻害剤 S-365598 (VH4524184, VH184) の in vitro 特性解析

閔 貴弘、有田修平、石田佳代、三木 茂、  
鍵谷明美、三木志のぶ、北村紳悟、宮本 直、  
堺田善之、富田 裕、宍戸貴雄、小山美紀子、  
吉永智一

塩野義製薬株式会社 創薬疾患研究所

### P-B04-6 東海地方における HIV-1 新規診断症例の 薬剤耐性関連変異に関する経年的解析

重見 麗<sup>1)</sup>、山村喜美<sup>1)</sup>、松田昌和<sup>1)</sup>、  
大出裕高<sup>1)</sup>、今橋真弓<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>、  
岩谷靖雅<sup>1,2)</sup>

- 1) (独) 国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター
- 2) 名古屋大学大学院医学系研究科

# 一般演題（ポスター）

P-B04-7 COVID-19 重症化の鍵を握る SARS-CoV-2 ゲノム変異の同定～重症化または非重症化に関連する変異群の網羅的探索～

谷本幸介<sup>1)</sup>、石渡早織<sup>2)</sup>、田中ゆきえ<sup>2)</sup>、  
助川明香<sup>3)</sup>、具 芳明<sup>4)</sup>、武内寛明<sup>1)</sup>

- 1) 東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 ハイリスク感染症研究マネジメント学分野
- 2) 東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 微生物・感染免疫解析学分野
- 3) 東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 ウィルス制御学分野
- 4) 東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 統合臨床感染症学分野

P-B04-8 Therapeutic Potential of Vitamin D3 [Rocaltrol] against Primary Effusion Lymphoma.

Prin Sungwan<sup>1)</sup>、Maako Ifuku<sup>1)</sup>、  
Seiji Okada<sup>1,2)</sup>

- 1) Div. of Hematopoiesis, Joint Res. Ctr. for Human Retrovirus Infection & Grad. Sch. of Med. Sci., Kumamoto Univ., Kumamoto, Japan
- 2) Inst. of Industrial Nanomaterials, Kumamoto University, Kumamoto, Japan

■日時：12月5日（金）13:30～14:30

■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

ポスター P-C01 (臨床・C)

臨床検査

P-C01-1 IgM 型 HAMA 様抗体により複数の HIV スクリーニング試薬で偽陽性を呈した 1 例

谷口裕美<sup>1)</sup>、岡本 愛<sup>1)</sup>、村上晶子<sup>1)</sup>、  
高須賀康宣<sup>1)</sup>、山田啓之<sup>2)</sup>、木原久文<sup>3)</sup>、  
山之内純<sup>3,4)</sup>、田内久道<sup>5)</sup>、末盛浩一郎<sup>3)</sup>

- 1) 愛媛大学医学部附属病院 検査部
- 2) 愛媛大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 3) 愛媛大学医学部附属病院 血液・免疫・感染症内科
- 4) 愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部
- 5) 愛媛大学医学部附属病院 感染制御部

■日時：【奇数番号】12月5日（金）13:30～14:30

【偶数番号】12月6日（土）14:40～15:40

■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

ポスター P-C02 (臨床・C)

日和見感染・悪性腫瘍・肺炎

P-C02-1 6-Thioguanine and 6-Mercaptopurine Induce Apoptosis and DNA Methylation Inhibition in Primary Effusion Lymphoma Cells

Achitphol Chookaew、Seiji Okada

Kumamoto University Joint Research Center for Human Retrovirology

P-C02-2 抗 HIV 治療により縮小した EBV 陽性 HIV 関連悪性リンパ腫

中村信元<sup>1)</sup>、辻真紀子<sup>2)</sup>、松下日菜子<sup>2)</sup>、  
前田悠作<sup>3)</sup>、川田知代<sup>3)</sup>、堀 太貴<sup>3)</sup>、  
住谷龍平<sup>3)</sup>、大浦雅博<sup>3)</sup>、曾我部公子<sup>3)</sup>、  
藤井志朗<sup>3)</sup>、原田武志<sup>3)</sup>、三木浩和<sup>4)</sup>、  
松岡賢市<sup>3)</sup>

- 1) 徳島大学大学院医歯薬学研究部実践地域診療・医科学分野
- 2) 徳島大学病院 卒後臨床研修センター
- 3) 徳島大学病院 血液内科
- 4) 徳島大学病院 輸血・細胞治療部

P-C02-3 HIV-1 感染者に発症した進行性多層性白質脳症の予後不良因子に関する単施設後方視的検討

上地隆史<sup>1)</sup>、小西啓司<sup>1)</sup>、廣田和之<sup>1)</sup>、  
西田恭治<sup>1)</sup>、白阪琢磨<sup>1)</sup>、上平朝子<sup>1)</sup>、  
渡邊 大<sup>1,2)</sup>

- 1) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 感染症内科
- 2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センターエイズ先端医療研究部

P-C02-4 HIV/HBV 共感染患者における HBs 抗原クリアランスの累積発生率と関連因子の検討

高林 学<sup>1)</sup>、中村朋文<sup>2)</sup>、中田浩智<sup>3)</sup>、  
安永純一郎<sup>2)</sup>、城野博史<sup>1)</sup>、松下修三<sup>4)</sup>

- 1) 熊本大学病院薬剤部
- 2) 熊本大学大学院生命科学研究部・血液・膠原病・感染症内科
- 3) 熊本大学病院感染免疫診療部
- 4) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター抗ウイルス療法・血液疾患研究共同研究講座

# 一般演題（ポスター）

■日時：12月5日（金）13:30～14:30  
■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

## ポスター P-C03（臨床・C） SNS・コミュニケーション

P-C03-1 AI を用いた症状検索エンジンにて HIV 関連疾患が示されたユーザーの受診および受検行動に関わる因子の解析

今村 豊史<sup>1)</sup>、岩橋恒太<sup>2)</sup>、田口 直<sup>3)</sup>、  
平原国博<sup>3)</sup>、原田圭輔<sup>3)</sup>、折茂圭介<sup>4)</sup>、  
KuanYeh Lee<sup>3)</sup>

1) 都立駒込病院感染症科  
2) 特定非営利活動法人 akta  
3) ギリアド・サイエンシズ 株式会社  
4) Ubie 株式会社

■日時：12月5日（金）13:30～14:30  
■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

## ポスター P-C04（臨床・C） 臨床薬理・PK/PD

P-C04-1 カボテグラビルおよびリルピビリンの細胞内薬物濃度測定系の確立と臨床的評価

樋口裕哉<sup>1)</sup>、柳澤邦雄<sup>3,4)</sup>、松本 栄<sup>4)</sup>、  
小川孔幸<sup>4)</sup>、内海英貴<sup>4)</sup>、半田 寛<sup>4)</sup>、  
石崎芳美<sup>5)</sup>、荒木拓也<sup>1,2)</sup>、山本康次郎<sup>1,2)</sup>

1) 群馬大学医学部附属病院薬剤部  
2) 群馬大学大学院医学系研究科臨床薬理学講座  
3) 深谷赤十字病院内科  
4) 群馬大学医学部附属病院血液内科  
5) 群馬大学医学部附属病院看護部

■日時：【奇数番号】12月5日（金）13:30～14:30  
【偶数番号】12月6日（土）14:40～15:40

■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

## ポスター P-C05（臨床・C） 薬剤師・薬局・服薬アドヒアランス

P-C05-1 持効性抗 HIV 注射薬への切替に伴う薬剤師による情報提供の実践

山中亜祐美<sup>1)</sup>、木村三奈美<sup>1)</sup>、成田久美<sup>1)</sup>、  
高橋宏瑞<sup>3)</sup>、佐々木信一<sup>2)</sup>、室岡邦彦<sup>1)</sup>、  
高瀬久光<sup>1)</sup>

1) 順天堂大学医学部附属浦安病院薬剤科  
2) 順天堂大学医学部附属浦安病院呼吸器内科  
3) 順天堂大学医学部附属浦安病院総合診療科

P-C05-2 HIV 感染症患者専用トレーシングレポートフォーマットの作成と保険薬局との連携

早川史織<sup>1)</sup>、畠下真希<sup>1)</sup>、小川りさ<sup>1)</sup>、  
野村理恵<sup>1)</sup>、金田 眥<sup>2)</sup>、関口昌利<sup>1)</sup>

1) 国立病院機構千葉医療センター薬剤部  
2) 国立病院機構千葉医療センター内科

P-C05-3 病院薬剤部と連携し保険薬局で初回 ART 導入時の服薬指導を行った症例

渡辺裕子<sup>1,2)</sup>

1) くるみ薬局兵庫医大店  
2) くるみ薬局武庫川店

P-C05-4 HIV Symptom Index を用いた問診票導入と薬剤による自覚症状の差の検討

小崎 華<sup>1)</sup>、松木克仁<sup>1)</sup>、羽柴知恵子<sup>2)</sup>、  
今橋真弓<sup>3,4)</sup>、平野隆司<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>4)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター薬剤部  
2) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター看護部  
3) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部  
4) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター

P-C05-5 繼続した糸球体濾過速度の低下が認められた HIV 感染症患者の 1 例～トレーシングレポート及び薬薬連携による介入～

古田恵子<sup>1,2)</sup>、松谷涼子<sup>1)</sup>、手塚 進也<sup>3)</sup>、  
水野 泰尚<sup>1)</sup>、林 佑香<sup>4)</sup>、勝崎理恵子<sup>4)</sup>、  
辻本雅之<sup>5)</sup>

1) 調剤薬局 amano 名古屋医療センター前 2 号店  
2) 京都医科大学履修証明プログラム  
3) 調剤薬局 amano 桃花台店  
4) 株式会社アマノ  
5) 京都医科大学 臨床薬学分野

P-C05-6 保険薬局が介入を行ったより服用容易なインテグラーゼ阻害薬への変更報告

山本順也

ココカラファイン薬局谷町四丁目駅店

P-C05-7 HIV 治療における併用禁忌薬の投与事例～ドラビリンとフェノバルビタールの併用と医療連携の課題～

宮本愛梨沙<sup>1)</sup>、安岡紀登<sup>4)</sup>、迫田直樹<sup>3)</sup>、  
中村美紀<sup>5)</sup>、中村雅洋<sup>2)</sup>

1) 都島センター薬局  
2) 法円坂メディカル株式会社  
3) 法円坂薬局  
4) 北天神薬局天六店  
5) きらめき薬局

# 一般演題（ポスター）

P-C05-8 抗レトロウイルス療法中に血清反応陽性関節リウマチを発症し、薬剤師の関与を通じてメトトレキサートが導入され対応を維持した一例

稻村由香<sup>1)</sup>、上野匡庸<sup>2,3)</sup>、宮川一平<sup>3,4)</sup>、  
田中美佐子<sup>5)</sup>、野田雅美<sup>6)</sup>、高峰優子<sup>7)</sup>、  
田邊瑛美<sup>8)</sup>、清水少一<sup>9)</sup>、齋藤和義<sup>10)</sup>、  
田中良哉<sup>4)</sup>、中山田真吾<sup>3)</sup>

- 1) 産業医科大学病院薬剤部
- 2) 産業医科大学病院 HIV 診療センター
- 3) 産業医科大学医学部第 1 内科学講座
- 4) 産業医科大学医学部分子標的治療内科学特別講座
- 5) 産業医科大学病院看護部
- 6) 産業医科大学病院事務部 患者サービス課
- 7) HIV 診療カウンセラー
- 8) 福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課
- 9) 産業医科大学医学部免疫・寄生虫学講座
- 10) 戸畠総合病院 内科

P-C05-9 HIV 感染症の透析患者の薬剤変更に介入した症例

移川基子<sup>1)</sup>、黒田純子<sup>1)</sup>、木村 哲<sup>2)</sup>

- 1) 福島県立医科大学附属病院 薬剤部
- 2) 福島県立医科大学 血液内科学講座

P-C05-10 薬剤師レジデント教育における HIV 感染症領域の習得度把握に関する調査

豊川顕世<sup>1)</sup>、関 将行<sup>1)</sup>、小林瑞季<sup>1)</sup>、  
増田純一<sup>1)</sup>、湯永博之<sup>2)</sup>、西村富啓<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療センター 薬剤部
- 2) 国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

P-C05-11 PLWH におけるポリファーマシーの現状調査

荒井雄樹、治田匡平、松尾理世、松井俊典、  
谷田 彩、池田和之

奈良県立医科大学附属病院薬剤部

P-C05-12 在宅医療に携わる薬局薬剤師における HIV 診療に対する意識と今後の課題の検討

渡邊華鈴<sup>1)</sup>、関根祐介<sup>1)</sup>、富沢道俊<sup>2)</sup>、  
古屋裕理<sup>1)</sup>、池谷健一<sup>1)</sup>、竹内裕紀<sup>1)</sup>

- 1) 東京医科大学病院 薬剤部
- 2) とみざわ薬局

P-C05-13 PWH からの電話相談内容の変化と保険薬局に求められる機能の考察

小川和彦、彌重典子、重留佳代子

緑風会薬局

P-C05-14 当調剤薬局における大規模災害に備えた抗 HIV 薬の備蓄日数に関する調査

安岡紀登<sup>1)</sup>、宮本愛梨沙<sup>1)</sup>、迫田直樹<sup>2)</sup>、  
中村美紀<sup>3)</sup>、中村雅洋<sup>4)</sup>

- 1) 都島センター薬局
- 2) 法円坂薬局
- 3) きらめき薬局
- 4) 法円坂メディカル株式会社

P-C05-15 HIV 感染症患者における院外保険薬局との連携強化ならびに患者支援の充実化を目的とした情報提供書の発行と情報共有の有用性の検証

平野 淳<sup>1,2)</sup>、矢倉裕輝<sup>3)</sup>、増田純一<sup>4)</sup>、  
山口泰弘<sup>5)</sup>、中内崇夫<sup>3)</sup>、松木克仁<sup>6)</sup>、  
石井 良<sup>7)</sup>、石井聰一郎<sup>8)</sup>、國本雄介<sup>9)</sup>、  
田澤佑基<sup>10)</sup>、井上正朝<sup>11)</sup>、佐藤 萌<sup>12)</sup>、  
三枝祐美<sup>13)</sup>、安田明子<sup>14)</sup>、白瀬 航<sup>15)</sup>、  
林 誠<sup>1)</sup>

- 1) 東名古屋病院 薬剤部
- 2) 名古屋医療センター 臨床研究センター
- 3) 大阪医療センター 薬剤部
- 4) 国立国際医療センター 薬剤部
- 5) 九州医療センター 薬剤部
- 6) 名古屋医療センター 薬剤部
- 7) 新潟県立新発田病院 薬剤部
- 8) 広島大学病院 薬剤部
- 9) 札幌医科大学附属病院 薬剤部
- 10) 北海道大学病院 薬剤部
- 11) 旭川医科大学病院 薬剤部
- 12) 仙台医療センター 薬剤部
- 13) 新潟大学医歯学総合病院 薬剤部
- 14) 石川県立中央病院 薬剤部
- 15) 県立広島病院 薬剤科

P-C05-16 トキソプラズマ脳症治療中に生じた副作用に対する薬剤師の介入が治療成功に寄与した症例

森田真由<sup>1,3)</sup>、村田龍宣<sup>1,3)</sup>、柄谷健太郎<sup>2,3)</sup>

- 1) 京都市立病院 薬剤部
- 2) 京都市立病院 感染症科
- 3) 京都市立病院 感染管理センター

P-C05-17 抗 HIV 薬の院外処方せんにおける現状と課題

安田明子<sup>1)</sup>、渡邊珠代<sup>2)</sup>

- 1) 石川県立中央病院薬剤部
- 2) 石川県立中央病院免疫感染症科

P-C05-18 薬剤師を対象とした HIV 勉強会の実施と意識調査

平田亮介、山口泰弘、梅本憂衣、藤田清香、  
筒井結子、大橋邦央、藤瀬陽子、橋本雅司  
NHO 九州医療センター

# 一般演題（ポスター）

P-C05-19 血友病トレーシングレポートに関する調剤薬局アンケート調査

小泉陽奈子、山口泰弘、平田亮介、梅本憂衣、筒井結子、藤田清香、大橋邦央、藤瀬陽子、橋本雅司

国立病院機構九州医療センター

■日時：【奇数番号】12月5日（金）13:30～14:30  
【偶数番号】12月6日（土）14:40～15:40

■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

ポスター P-C06（臨床・C）  
抗HIV療法

P-C06-1 Lenacapavir inhibits viral formation at the late stage of the HIV-2 life cycle

Consolata Rukondo、Kazuaki Monde、Wright Andrews ofotsu Amesimeku、Nami Monde、Hiromi Terasawa、Tomohiro Sawa

KUMAMOTO UNIVERSITY

P-C06-2 カボテグラビル・リルピビリン持続注射製剤使用患者への使用満足度と懸念事項に関する継続調査

奥田桜佳<sup>1)</sup>、小林瑞季<sup>1)</sup>、木村涼那<sup>1)</sup>、岩月優菜<sup>1)</sup>、沼田理子<sup>1)</sup>、福嶋千穂<sup>1)</sup>、関 将行<sup>1)</sup>、長島浩二<sup>1)</sup>、増田純一<sup>1)</sup>、中本貴人<sup>2)</sup>、潟永博之<sup>2)</sup>、西村富啓<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療センター 薬剤部  
2) 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

P-C06-3 持効性カボテグラビル+リルピビリン切り替え後24ヵ月でのPLWHの見解：米国実臨床観察研究のBEYOND試験

細野耕平<sup>1)</sup>、Franco Felizarta<sup>2)</sup>、Ogechika Alozie<sup>3)</sup>、Ryan Miller<sup>4)</sup>、Kate Nelson<sup>5)</sup>、Maria Reynolds<sup>5)</sup>、David Richardson<sup>5)</sup>、Kaitlin Nguyen<sup>6)</sup>、Paula Teichner<sup>6)</sup>、Cindy Garris<sup>6)</sup>

1) ヴィーブヘルスケア株式会社  
2) Private Practice, Bakersfield, CA, USA  
3) Sunset West Health, El Paso, TX, USA  
4) Cleveland Clinic Infectious Disease, Cleveland, OH, USA  
5) RTI Health Solutions, Research Triangle Park, NC, USA  
6) ViiV Healthcare, Durham, NC, USA

P-C06-4 当院におけるDTG/3TC配合錠の有効性および安全性に関する検討

溝端友希<sup>1)</sup>、宇高 歩<sup>1)</sup>、塩田真帆<sup>1)</sup>、藤井千賀<sup>1)</sup>、中野光世<sup>2)</sup>、長谷川耕平<sup>2)</sup>、小川吉彦<sup>2)</sup>

1) 堺市立総合医療センター 薬剤科  
2) 堺市立総合医療センター 感染症内科

P-C06-5 血液製剤によるHIV感染者の調査成績（令和6年度）第1報 健康状態と生活状況の概要

白阪琢磨<sup>1)</sup>、川戸美由紀<sup>2)</sup>、橋本修二<sup>3)</sup>、三重野牧子<sup>4)</sup>、天野景裕<sup>5)</sup>、大金美和<sup>6)</sup>、岡本 学<sup>1)</sup>、潟永博之<sup>6)</sup>、日笠 聰<sup>7)</sup>、八橋 弘<sup>8)</sup>、渡邊 大<sup>1)</sup>

1) 国立病院機構大阪医療センター  
2) 国立保健医療科学院  
3) 藤田医科大学  
4) 自治医科大学  
5) 東京医科大学  
6) 国立健康危機管理研究機構  
7) 兵庫医科大学病院  
8) 国立病院機構長崎医療センター

P-C06-6 HIV Viewpoints: Survey on the Experiences of People With HIV (PWH) Around the World

Xavier Guillaume<sup>1)</sup>、Robin Barkins<sup>2)</sup>、Marcel Dams<sup>3)</sup>、Nomfundo Eland<sup>4)</sup>、Maureen Owino<sup>5)</sup>、Carlos Saucedo<sup>6)</sup>、Yun-Chung Lu<sup>7)</sup>、Amina Omri<sup>1)</sup>、Alissar Moussallem<sup>1)</sup>、Larkin Callaghan<sup>8)</sup>、Michael Bogart<sup>8)</sup>、Connie Kim<sup>8)</sup>、Keisuke Harada<sup>9)</sup>、Megan Dunbar<sup>8)</sup>

1) Oracle Life Sciences, Paris, France  
2) To Restore, Unite, Support, and Transform, Los Angeles, CA, USA  
3) Aidshilfe NRW e.V., Cologne, Germany  
4) Emthonjeni Counselling & Training, Cape Town, South Africa  
5) York University, Toronto, Ontario, Canada  
6) Agenda LGBT A.C, Mexico City, Mexico  
7) We As One Association, Taiwan  
8) Gilead Sciences, Inc., Foster City, CA, USA  
9) Gilead Sciences K.K., Tokyo, Japan

# 一般演題（ポスター）

P-C06-7 選択の力：新規診断 PLWHにおいて DTG/3TC による迅速なウイルス抑制後の CAB+RPV LA への強い選好性

中村慎之介<sup>1)</sup>、Franco Felizarta<sup>2)</sup>、  
Cassidy Gutner<sup>3)</sup>、  
Celia Jonsson-Oldenbüttel<sup>4)</sup>、  
Irina Kolobova<sup>3)</sup>、  
Jean-Michel Molina<sup>5)</sup>、Kai Hove<sup>6)</sup>、  
Sergio Lupo<sup>7)</sup>、Rekha Trehan<sup>6)</sup>、  
Juan Carlos López Bernaldo de Quirós<sup>8)</sup>、  
Julie Priest<sup>3)</sup>、Patricia de los Rios<sup>3)</sup>、  
Suryakant Somvanshi<sup>9)</sup>、  
Monika Bui<sup>10)</sup>、Louise Garside<sup>10)</sup>、  
Richard Grove<sup>10)</sup>、  
Harmony P. Garges<sup>3)</sup>、  
Kimberley Brown<sup>3)</sup>、Jean van Wyk<sup>6)</sup>

- 1) ヴィープヘルスケア株式会社
- 2) Private Practice, Bakersfield, CA, USA
- 3) ViiV Healthcare, Durham, NC, USA
- 4) MVZ Munchen am Goetheplatz, Munich, Germany
- 5) Paris Cite University, Paris, France
- 6) ViiV Healthcare, London, UK
- 7) Instituto Centralizado de Asistencia e Investigacion Clínica Integral, Rosario, Argentina
- 8) Hospital General Universitario Gregorio Maranon, Madrid, Spain
- 9) GSK, Bengaluru, India
- 10) GSK, London, UK

P-C06-8 ABC/3TC/DTG または TAF/FTC/DTG から DTG/3TC への切り替えが日本人 PLWH の体重および脂質プロファイルに及ぼす影響

池谷健一<sup>1)</sup>、村松 崇<sup>2)</sup>、関谷綾子<sup>2,3)</sup>、  
関根祐介<sup>1)</sup>、原田侑子<sup>2)</sup>、宮下竜伊<sup>2)</sup>、  
山口知子<sup>2)</sup>、一木昭人<sup>2)</sup>、近澤悠志<sup>2)</sup>、  
備後真登<sup>2)</sup>、四本美保子<sup>2)</sup>、萩原 剛<sup>2)</sup>、  
天野景裕<sup>2)</sup>、竹内裕紀<sup>1)</sup>、木内 英<sup>2)</sup>

- 1) 東京医科大学病院 薬剤部
- 2) 東京医科大学病院 臨床検査医学科
- 3) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

P-C06-9 テノホビル アラフェナミドを含む抗 HIV 薬の安全性（ビクタルビ配合錠、ゲンボイヤ配合錠）：一般使用成績調査の中間解析結果

田口 直<sup>1)</sup>、大西真希子<sup>1)</sup>、大脇一郎<sup>1)</sup>、  
Margarida Serejo<sup>2)</sup>、KuanYeh Lee<sup>1)</sup>、  
石崎昭伸<sup>1)</sup>、Jami Peters<sup>2)</sup>

- 1) ギリアド・サイエンシズ 株式会社
- 2) Gilead Sciences, Inc

P-C06-10 Weight Change on F/TAF vs Placebo: Using Common F/TDF Groups to Bridge Data Across Clinical Trials

David Glidden<sup>1)</sup>、Andrew Whiteman<sup>2)</sup>、  
Yuan Tian<sup>2)</sup>、Andrea Marongiu<sup>3)</sup>、  
Joshua Gruber<sup>3)</sup>、  
Yasuko Watanabe<sup>4)</sup>、Cal Cohen<sup>2)</sup>

- 1) University of California, San Francisco, CA, USA
- 2) Gilead Sciences, Inc., Foster City, CA, USA
- 3) Gilead Sciences Ltd, Stockley Park, UK
- 4) Gilead Sciences K.K., Tokyo, Japan

P-C06-11 当院における HIV 感染症に対する 2 剤療法の検討

松本佑慈、村田昌之、中村啓二、下野信行  
九州大学病院総合診療科

P-C06-12 BIC/TAF/FTC で HIV のウイルスコントロールに時間を要した 2 例

今村淳治<sup>1)</sup>、佐藤 萌<sup>2)</sup>、山口英美<sup>2)</sup>、  
村多杏美<sup>2)</sup>、今 元季<sup>1)</sup>、伊藤俊広<sup>1)</sup>

- 1) NHO 仙台医療センター
- 2) NHO 仙台医療センター 薬剤部

P-C06-13 ドルテグラビル / ラミブジン 2 剤レジメンへの変更が QOL および睡眠に及ぼす影響

國本雄介<sup>1)</sup>、又村了輔<sup>1)</sup>、須蓋佑介<sup>2)</sup>、  
後藤亜香利<sup>2)</sup>、堀口拓人<sup>2)</sup>、稗田広美<sup>3)</sup>、  
川村志野<sup>3)</sup>、平賀多絵子<sup>3)</sup>、宮越郁子<sup>3)</sup>、  
小船雅義<sup>3)</sup>、福土将秀<sup>1)</sup>

- 1) 札幌医科大学附属病院薬剤部
- 2) 札幌医科大学附属病院血液内科
- 3) 札幌医科大学附属病院看護部

P-C06-14 当院におけるカボテグラビル+リルピビリン投与 24 カ月の有効性及び腎機能・血清脂質の変化に関する調査

石井聰一郎<sup>1)</sup>、藤井健司<sup>1)</sup>、山崎尚也<sup>2)</sup>、  
藤井輝久<sup>2,3)</sup>、松尾裕彰<sup>1)</sup>

- 1) 広島大学病院薬剤部
- 2) 広島大学病院輸血部
- 3) 広島大学病院エイズ医療対策室

# 一般演題（ポスター）

P-C06-15 ビクテグラビル/エムトリシタビン/テノホビルアラフェナミドからドルテグラビル/ラミブジンへ切り替えた患者の満足度評価

河野泰宏<sup>1,2)</sup>、野田綾香<sup>1,2)</sup>、安岡悠典<sup>1,2)</sup>、  
中村 葵<sup>2)</sup>、藤原千尋<sup>2)</sup>、飯塚暁子<sup>2)</sup>、  
木梨貴博<sup>2)</sup>、片山智之<sup>2)</sup>、門田悦子<sup>2)</sup>、  
野村直幸<sup>4)</sup>、高橋洋子<sup>1)</sup>、齊藤誠司<sup>2,3)</sup>、  
濱岡照隆<sup>1)</sup>、高田 遼<sup>1)</sup>、濱砂恵理香<sup>4)</sup>、  
坂田達朗<sup>2)</sup>

- 1) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター薬剤部
- 2) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター広島県東部地区エイズ治療センター
- 3) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター感染症内科
- 4) 独立行政法人国立病院機構門門医療センター薬剤部

P-C06-16 ART 開始後に認める Blip の発現状況についての検討

山口公大<sup>1,2)</sup>、石原正志<sup>3,4)</sup>、生駒良和<sup>1,3,5)</sup>、  
杉山仁美<sup>3,6)</sup>、鶴見 寿<sup>1,3,7)</sup>

- 1) 岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科
- 2) 岐阜市民病院 血液内科
- 3) 岐阜大学医学部附属病院 エイズ対策推進センター
- 4) 岐阜大学医学部附属病院 薬剤部
- 5) 岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター
- 6) 岐阜大学医学部附属病院 看護部
- 7) 松波総合病院 血液・腫瘍内科

P-C06-17 CAB, RPV 注射製剤投与 5 カ月目から血糖値が上昇した薬剤耐性 HIV 感染症の 1 例

坂部茂俊<sup>1)</sup>、渡部裕斗<sup>1)</sup>、小池隆介<sup>2)</sup>、  
田中宏幸<sup>2)</sup>、豊嶋弘一<sup>2)</sup>

- 1) 伊勢赤十字病院
- 2) 伊勢赤十字病院 感染症内科

P-C06-18 Biktarvy PTP 製剤の使用感と治療満足度について：単施設での予備的評価

吉野友祐<sup>1,2,3)</sup>、北沢貴利<sup>2)</sup>、若林義賢<sup>2)</sup>

- 1) 帝京大学医学部微生物学講座
- 2) 帝京大学医学部附属病院 内科（感染症）
- 3) 帝京大学アジア国際感染症制御研究所

P-C06-19 実臨床観察研究 BEYOND における持効性カボテグラビル + リルピビリン切り替え後 24 カ月の臨床アウトカム

伊部史朗<sup>1)</sup>、Gary Blick<sup>2)</sup>、  
Lizette Santiago-Colon<sup>3)</sup>、  
David Richardson<sup>4)</sup>、Bintu Sherif<sup>4)</sup>、  
Laurie Zografas<sup>4)</sup>、Cathy Schubert<sup>5)</sup>、  
Deanna Merrill<sup>5)</sup>、Paula Teichner<sup>5)</sup>、  
Cindy Garris<sup>5)</sup>

- 1) ヴィーブヘルスケア株式会社 メディカル・アフェアーズ部門
- 2) Healthcare Advocates International, Stratford, CT, USA
- 3) HOPE Clinical Research, San Juan, Puerto Rico
- 4) RTI Health Solutions, Research Triangle Park, NC, USA
- 5) ViiV Healthcare, Durham, NC, USA

P-C06-20 HIV-1 Resistance Analysis of Treatment-Naive People with HIV and Hepatitis B Virus (HBV) Receiving B/F/TAF or DTG+F/TDF

Michelle L. D'Antoni<sup>1)</sup>、  
Archana V Boopathi<sup>1)</sup>、  
Kristen Andreatta<sup>1)</sup>、Silvia Chang<sup>1)</sup>、  
Jason T. Hindman<sup>1)</sup>、  
Anchalee Avihingsanon<sup>2)</sup>、  
Laurie A. VanderVeen<sup>1)</sup>、  
Yusuke Hirabuki<sup>3)</sup>、  
Christian Callebaut<sup>1)</sup>

- 1) Gilead Sciences, Inc., Foster City, CA, USA
- 2) Thai Red Cross AIDS Research Centre, Bangkok, Thailand
- 3) Gilead Sciences K.K., Tokyo, Japan

# 一般演題（ポスター）

P-C06-21 Renal Outcomes in People With HIV-1 (PWH) and Renal Impairment Treated With B/F/TAF (bictegravir/emtricitabine/tenofovir alafenamide) in Randomized Trials

Frank Post<sup>1)</sup>、David Wohl<sup>2)</sup>、Geoffroy Liegeon<sup>3)</sup>、Indira Brar<sup>4)</sup>、Debbie Hagins<sup>5)</sup>、Yazdan Yazdanpanah<sup>6)</sup>、Anchalee Avihingsanon<sup>7)</sup>、Hui Liu<sup>8)</sup>、Keith Aizen<sup>8)</sup>、Yutaka Kobayashi<sup>9)</sup>、Jason Hindman<sup>8)</sup>、Samir Gupta<sup>10)</sup>

- 1) King's College Hospital NHS Foundation Trust, London, UK
- 2) University of North Carolina, Chapel Hill, NC, USA
- 3) Saint Louis-Hospital, AP-HP, Universite Paris Cite, Paris, France
- 4) Henry Ford Hospital, Detroit, MI, USA
- 5) Chatham CARE Center, Savannah, GA, USA
- 6) Bichat-Claude Bernard Hospital, APHP, Paris, France
- 7) HIV-NAT, Thai Red Cross AIDS Research Centre, Bangkok, Thailand
- 8) Gilead Sciences, Inc., Foster City, CA, USA
- 9) Gilead Sciences K.K., Tokyo, Japan
- 10) Indiana University School of Medicine, Indianapolis, IN, USA

P-C06-22 HBc 抗体単独陽性の成人 HIV-1 感染患者におけるドルテグラビル / ラミブジン (DTG/3TC) 療法：第 3 相臨床試験 GEMINI-1/-2、STAT、TANGO、及び SALSA の解析結果

藤武里梨<sup>1)</sup>、Danielle Fox<sup>2)</sup>、Jihad Slim<sup>3,4)</sup>、Edgar T. Overton<sup>2)</sup>、Andres Doblado-Maldonado<sup>5)</sup>、Peter Jeffery<sup>6)</sup>、Richard A. Grove<sup>6)</sup>、Chris M. Parry<sup>7)</sup>、Mark Underwood<sup>2)</sup>、Bryn Jones<sup>7)</sup>

- 1) ヴィープヘルスケア株式会社
- 2) ViiV Healthcare, Durham, NC, USA
- 3) New York Medical College, Valhalla, NY, USA
- 4) Saint Michael's Medical Center, Newark, NJ, USA
- 5) ViiV Healthcare, Wavre, Belgium
- 6) GSK, London, UK

P-C06-23 PAIRED サブ解析 - 米国における BIC/FTC/TAF から DTG/3TC に切り替えた HIV 陽性者 (PWH) の治療経験アウトカム

岡本紀子<sup>1)</sup>、Jihad Slim<sup>2)</sup>、Andrew P Brogan<sup>3)</sup>、Gavin Harper<sup>4)</sup>、Katie Mycock<sup>4)</sup>、Abigail McMillan<sup>3)</sup>、Deanna Merrill<sup>3)</sup>、Gustavo Verdier<sup>5)</sup>

- 1) ヴィープヘルスケア株式会社
- 2) New York Medical College, Valhalla, NY, USA
- 3) ViiV Healthcare, Durham, NC, USA
- 4) Adelphi Real World, Bollington, UK
- 5) ViiV Healthcare, Montreal, Canada

P-C06-24 Real-World Liver Outcomes in People With HIV and Hepatitis B Virus (HBV) Receiving Antiretroviral Therapy

Ching-Yi Chuo<sup>1)</sup>、Woodie Zachry<sup>1)</sup>、Melanie de Boer<sup>1)</sup>、Laura Telep<sup>1)</sup>、Tetsuya Tanikawa<sup>2)</sup>、Li Tao<sup>1)</sup>

- 1) Gilead Sciences, Inc., Foster City, CA, USA
- 2) Gilead Sciences K.K., Tokyo, Japan

■日時：【奇数番号】12月5日（金）13:30～14:30

【偶数番号】12月6日（土）14:40～15:40

■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

ポスター P-C07 (臨床・C)  
看護・長期療養・チーム医療

P-C07-1 演題取り下げ

P-C07-2 長期作用型抗 HIV 注射剤導入における診療体制の構築および HIV 感染患者に及ぼした影響

乗松真大<sup>1)</sup>、末盛浩一郎<sup>2)</sup>、宮崎雅美<sup>3)</sup>、中川進平<sup>1)</sup>、越智俊元<sup>2)</sup>、飛鷹範明<sup>1)</sup>、山之内純<sup>4)</sup>、田中 守<sup>1)</sup>

- 1) 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部
- 2) 愛媛大学医学部附属病院 第一内科
- 3) 愛媛大学医学部附属病院 看護部
- 4) 愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部

# 一般演題（ポスター）

P-C07-3 糖尿病を合併した PLWH に対する薬剤管理指導の取り組みとその効果

寺本奈都子<sup>1)</sup>、成田 雅<sup>2)</sup>、向井三穂子<sup>2)</sup>、  
渡慶次真由美<sup>2)</sup>、屋良 愛<sup>3)</sup>、松田絵理菜<sup>3)</sup>、  
安次富大<sup>3)</sup>、坂本政文<sup>3)</sup>、喜屋武芳美<sup>3)</sup>、  
佐藤雅美<sup>3)</sup>、宮里早香<sup>3)</sup>

- 1) すこやか薬局新川店  
2) 沖縄県南部医療センター・こども医療センター  
3) (株)薬正堂 すこやかグループ

P-C07-4 血液内科を有する病棟看護師の HIV 感染症患者の看護における経験と困難感

樋口祥子<sup>1)</sup>、小林恵子<sup>1)</sup>、堀内理奈<sup>1)</sup>、  
石崎芳美<sup>1)</sup>、中村真美<sup>1)</sup>、小川孔之<sup>2)</sup>

- 1) 群馬大学医学部附属病院看護部  
2) 群馬大学医学部附属病院血液内科

P-C07-5 気持ちのつらさの変化に応じた診療体制の検討

高木雅敏<sup>1)</sup>、中田浩智<sup>2)</sup>、宮本祐輔<sup>1)</sup>

- 1) 熊本大学病院 看護部  
2) 熊本大学病院 感染免疫診療部

P-C07-6 HIV 関連ニューモシスチス肺炎看護パスの運用の評価

影森彩夏<sup>1)</sup>、前田愛子<sup>1)</sup>、嶋津佑乃<sup>1)</sup>、  
井上桃花<sup>1)</sup>、陳 麻理<sup>1)</sup>、大木悦子<sup>2)</sup>、  
河原崎彩佳<sup>3)</sup>、池田和子<sup>4)</sup>、潟永博之<sup>4)</sup>、  
青木孝弘<sup>4)</sup>、照屋勝治<sup>4)</sup>、小林瑞季<sup>5)</sup>、  
木村聰太

- 1) 国立国際医療センター 看護部  
2) 国立看護大学校研究課程部  
3) 人材開発部研修課  
4) イイズ治療・研究開発センター  
5) 国立国際医療センター薬剤部

P-C07-7 HIV 陽性者のストレス反応と看護の振り返り

高橋はるか、木村義子、福田美江、細川智代、  
木田智子、市川隆裕

市立札幌病院看護部看護課

P-C07-8 若年の HIV と共に生きる人々 (PLWH) における糖尿病合併 2 例からの学び

渡慶次真由美<sup>1)</sup>、向井三穂子<sup>1)</sup>、成田 雅<sup>1)</sup>、  
前田すぎの<sup>1)</sup>、寺本奈都子<sup>2)</sup>

- 1) 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター  
2) 株式会社薬正堂すこやか薬局グループ

P-C07-9 再診患者に対する電子問診票導入後の評価—患者アンケートの結果から

後藤志保<sup>1,2)</sup>、喜花伸子<sup>2)</sup>、重信英子<sup>2)</sup>、  
山崎 尚也<sup>3)</sup>、坂本涼子<sup>1,2)</sup>、獅子田由美<sup>1)</sup>、  
福嶋琴美<sup>1)</sup>、杉本悠貴恵<sup>2)</sup>、黄 寛美<sup>2)</sup>、  
浦島藍子<sup>2)</sup>、藤井輝久<sup>2,3)</sup>

- 1) 広島大学病院看護部  
2) 広島大学病院エイズ医療対策室  
3) 広島大学病院輸血部

P-C07-10 当院における HIV 感染症患者に対する注射製剤による治療実績と患者報告アウトカム (PRO) の検討

加藤 笑、武道涼平、奥脇達也、持田俊也、  
和田達彦、高山陽子

北里大学病院

■日時：【奇数番号】12月5日（金）13:30～14:30

【偶数番号】12月6日（土）14:40～15:40

■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

ポスター P-C08 (臨床・C)

U=U と挙児希望・母子感染・歯科

P-C08-1 血友病患者の口腔環境・口腔機能

*Streptococcus mutans* 検出との関連性

新谷智章<sup>1)</sup>、岡田美穂<sup>2)</sup>、川越麻衣子<sup>2)</sup>、  
岩田倫幸<sup>3)</sup>、山崎尚也<sup>4)</sup>、藤井輝久<sup>4)</sup>、  
柴 秀樹<sup>5)</sup>

- 1) 広島大学病院口腔検査センター  
2) 広島大学病院診療支援部歯科部門  
3) 広島大学大学院医系科学 研究科歯周病態学研究室  
4) 広島大学病院輸血部  
5) 広島大学大学院医系科学研究科歯髄生物学研究室

P-C08-2 HIV 感染妊婦に対する多職種連携と HIV コーディネーターナースの位置付け～HIV 母子感染予防対策への患者の思いに寄り添いながら支援した一例～

鈴木佳奈子<sup>1)</sup>、佐々木晃子<sup>1)</sup>、三浦麻衣<sup>2)</sup>、  
佐藤 萌<sup>3)</sup>、村多 杏美<sup>3)</sup>、山口英美<sup>3)</sup>、  
今村淳治<sup>2)</sup>、伊藤俊広<sup>2)</sup>

- 1) 国立病院機構仙台医療センター看護部  
2) 国立病院機構仙台医療センター感染症内科  
3) 国立病院機構仙台医療センター薬剤部

# 一般演題（ポスター）

P-C08-3 HIV 感染妊娠の分娩対応に関する全国調査：分娩施設均てん化から地域均てん化への検討

吉野直人<sup>1,2)</sup>、伊藤由子<sup>2)</sup>、岩動ちず子<sup>2)</sup>、  
小山理恵<sup>2)</sup>、菊池琴佳<sup>2)</sup>、幅野渉<sup>2)</sup>、  
高橋尚子<sup>1,2)</sup>、杉浦敦<sup>2)</sup>、田中瑞恵<sup>2)</sup>、  
出口雅士<sup>2)</sup>、高野政志<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>2)</sup>

1) 愛知県立大学看護学部  
2) 「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に關するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究」班

P-C08-4 HIV 感染妊娠における感染判明の機会に関する検討

湊怜子<sup>1,2)</sup>、杉浦敦<sup>1,2)</sup>、山中彰一郎<sup>2)</sup>、  
竹田善則<sup>2)</sup>、市田宏司<sup>2)</sup>、小林裕幸<sup>2)</sup>、  
中西美紗緒<sup>2)</sup>、箕浦茂樹<sup>2)</sup>、高野政志<sup>2)</sup>、  
田中瑞恵<sup>2)</sup>、出口雅士<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>2)</sup>、  
吉野直人<sup>2)</sup>

1) 武藏野赤十字病院産婦人科  
2) 「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に關するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化のための研究」班

■日時：【奇数番号】12月5日（金）13:30～14:30  
【偶数番号】12月6日（土）14:40～15:40

■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

ポスター P-C09（臨床・C）  
体重増加・副作用

P-C09-1 ドルテグラビル+ラミブジンの2剤療法への変更による効果について

上原仁<sup>1)</sup>、大田久美子<sup>1)</sup>、諸見牧子<sup>1)</sup>、  
神矢佑輔<sup>1)</sup>、宮城京子<sup>2)</sup>、前田サオリ<sup>2)</sup>、  
石郷岡美穂<sup>3)</sup>、前原一輝<sup>3)</sup>、上薰<sup>3)</sup>、  
照屋美波<sup>4)</sup>、山川奈津子<sup>5)</sup>、新里尚美<sup>6)</sup>、  
金城隆展<sup>7)</sup>、井手口周平<sup>8)</sup>、仲村秀太<sup>8)</sup>、  
中村克徳<sup>1)</sup>

1) 琉球大学病院薬剤部  
2) 琉球大学病院看護部  
3) 琉球大学病院医療福祉センター  
4) 琉球大学病院精神科神経科  
5) 琉球大学病院検査・輸血部  
6) 琉球大学病院第一内科  
7) 琉球大学病院地域・国際医療部  
8) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科

P-C09-2 抗HIV薬の簡素化がもたらす長期服薬に対する影響について

大田久美子<sup>1)</sup>、上原仁<sup>1)</sup>、諸見牧子<sup>1)</sup>、  
神矢佑輔<sup>1)</sup>、宮城京子<sup>2)</sup>、前田サオリ<sup>2)</sup>、  
石郷岡美穂<sup>3)</sup>、前原一輝<sup>3)</sup>、上薰<sup>3)</sup>、  
照屋美波<sup>4)</sup>、山川奈津子<sup>5)</sup>、新里尚美<sup>6)</sup>、  
金城隆展<sup>7)</sup>、井手口周平<sup>8)</sup>、仲村秀太<sup>8)</sup>、  
中村克徳<sup>1)</sup>

1) 琉球大学病院薬剤部  
2) 琉球大学病院看護部  
3) 琉球大学病院医療福祉センター  
4) 琉球大学病院精神科神経科  
5) 琉球大学病院検査・輸血部  
6) 琉球大学病院第一内科  
7) 琉球大学病院地域・国際医療部  
8) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科講座

■日時：12月5日（金）13:30～14:30

■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

ポスター P-C10（臨床・C）  
HAND・メンタルヘルス・薬物依存

P-C10-1 HIV陽性者の中年期に注目した気分プロフィール検査の傾向

黄寛美<sup>1,3)</sup>、藤井輝久<sup>1,2)</sup>、喜花伸子<sup>1,2)</sup>、  
杉本悠貴恵<sup>1,2)</sup>

1) 広島大学病院エイズ医療対策室  
2) 広島大学病院輸血部  
3) 公益財団法人エイズ予防財団 リサーチレジデント

■日時：12月5日（金）13:30～14:30

■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

ポスター P-C11（臨床・C）  
PEP・PrEP・STI・STD

P-C11-1 都内性感染症専門クリニックにおける抗赤痢アメーバ血清抗体陽性率

柳川泰昭<sup>1)</sup>、川島亮<sup>1)</sup>、塩尻大輔<sup>2)</sup>、  
鷗永博之<sup>1)</sup>、渡辺恒二<sup>3)</sup>

1) 国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター  
2) 医療法人社団マキマ会パーソナルヘルスクリニック  
3) 東海大学医学部基礎医学系生体防御学領域

# 一般演題（ポスター）

■日時：【奇数番号】12月5日（金）13:30～14:30  
【偶数番号】12月6日（土）14:40～15:40

■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

## ポスター P-C12（臨床・C）

### 臨床疫学

P-C12-1 当院（HIV 中核地域拠点病院）における HIV screening 検査の偽陽性の検討

小川吉彦<sup>1)</sup>、中野光世<sup>1)</sup>、溝端友希<sup>2)</sup>、  
長谷川耕平<sup>1)</sup>、宇高 歩<sup>2)</sup>

1) 堺市立総合医療センター感染症内科  
2) 堺市立総合医療センター薬剤科

P-C12-2 四国地方における HIV 診療の実態調査—中核拠点病院の 2024 年レジストリデータに基づく横断的解析

末盛浩一郎<sup>1)</sup>、木原久文<sup>1)</sup>、山之内純<sup>1)</sup>、  
乗松真大<sup>2)</sup>、池田 聖<sup>3)</sup>、武内世生<sup>4)</sup>、  
中村美保<sup>5)</sup>、内田俊平<sup>6)</sup>、三木浩和<sup>7)</sup>、  
尾崎修治<sup>8)</sup>、高田清式<sup>8,9)</sup>

1) 愛媛大学医学部附属病院 第一内科  
2) 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部  
3) 愛媛大学医学部附属病院 総合診療サポートセンター  
4) 高知大学医学部附属病院 総合診療部  
5) 高知大学医学部附属病院 看護部  
6) 香川大学医学部附属病院 血液内科  
7) 徳島大学病院 輸血・細胞治療部  
8) 徳島県立中央病院 血液内科  
9) 医療法人愛壽会 西条愛壽会病院

■日時：【奇数番号】12月5日（金）13:30～14:30  
【偶数番号】12月6日（土）14:40～15:40

■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

## ポスター P-C13（臨床・C）

### 薬剤耐性（臨床）

P-C13-1 Circulating HIV-1 Integrase Resistance Polymorphisms in Tanzania

Hussein Mti Jumanne<sup>1)</sup>、  
Mako Toyoda<sup>2)</sup>、  
Godfrey Barabona<sup>2,3)</sup>、  
Doreen Kamori<sup>2,3)</sup>、  
Takamasa Ueno<sup>1,2,3)</sup>

1) Graduate School of Medical Sciences,  
Kumamoto University  
2) Division of Infection and Immunity, Joint  
Research Center for Human Retrovirus  
Infection, Kumamoto University  
3) Department of Microbiology and  
Immunology, College of Medicine, Muhimbili  
University of Health and Allied Sciences,  
Tanzania

P-C13-2 当院における未治療時および治療開始後の HIV 薬剤耐性

菅野芳明<sup>1,2,3)</sup>、菊地 正<sup>1,3)</sup>、久保田めぐみ<sup>2)</sup>、  
千光寺智恵<sup>2)</sup>、古賀道子<sup>1,2,5)</sup>、安達英輔<sup>1,2)</sup>、  
四柳 宏<sup>1,2,4,5)</sup>

1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科  
2) 東京大学医科学研究所 先端医療研究センター感染症  
分野  
3) 国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所エイズ  
研究センター  
4) 国立健康危機管理研究機構  
5) 東京大学国際高等研究所新世代感染症センター

■日時：【奇数番号】12月5日（金）13:30～14:30  
【偶数番号】12月6日（土）14:40～15:40

■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

## ポスター P-C14（臨床・C）

### 症例報告

P-C14-1 HIV により重症ニューモシスチス肺炎を発症し長期間の体外式膜型人工肺管理を要したが ADL 自立し自宅退院した症例

藤内宏典、原田裕子、堀 弘明  
北海道大学病院リハビリテーション部

P-C14-2 演題取り下げ

P-C14-3 外国籍の HIV 感染症合併結核（HIV/TB）患者に対して、TDF/FTC + DTG で治療を行った一例

西 勇治<sup>1,2)</sup>、白濱 航<sup>2)</sup>、岡本健志<sup>3)</sup>、  
高田 昇<sup>4)</sup>

1) 県立安芸津病院薬剤科  
2) 県立広島病院薬剤科  
3) 県立広島病院総合診療科・感染症科  
4) 前・おだ内科クリニック

P-C14-4 抗結核薬中止により複数回の再燃を認めた長期にわたる結核免疫再構築症候群の1例

山岸郁美<sup>1,3)</sup>、宇井雅博<sup>2)</sup>、霍間勇人<sup>2)</sup>、  
袴田真理子<sup>2)</sup>、番場祐基<sup>2)</sup>、尾方英至<sup>2)</sup>、  
柴田 怜<sup>3)</sup>、張 仁美<sup>2)</sup>、青木信将<sup>2)</sup>、  
佐藤瑞穂<sup>3)</sup>、知久照眞<sup>1,3)</sup>、田村美喜<sup>3)</sup>、  
新保明日香<sup>3)</sup>、青木美栄子<sup>3)</sup>、茂呂 寛<sup>3)</sup>、  
菊地利明<sup>2)</sup>

1) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチラボ  
2) 新潟大学医歯学総合病院呼吸器感染症内科  
3) 新潟大学医歯学総合病院感染管理部

# 一般演題（ポスター）

P-C14-5 HIV-1 感染者に発症したヒトヘルペスウイルス 8 型陽性の oligocentric キヤッスルマン病と考えられた 1 例

渡邊 大<sup>1,2,3)</sup>、小西啓司<sup>2)</sup>、廣田和之<sup>2)</sup>、上地隆史<sup>2)</sup>、辻西和幸<sup>4)</sup>、長手泰宏<sup>4)</sup>、谷村 朗<sup>4)</sup>、廣瀬由美子<sup>5)</sup>、森 清<sup>5)</sup>、西田恭治<sup>2)</sup>、白阪琢磨<sup>2)</sup>、上平朝子<sup>2)</sup>

- 1) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターイズ先端医療研究部
- 2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター感染症内科
- 3) 大阪大学大学院医学系研究科イズ先端医療学
- 4) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター血液内科
- 5) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター臨床検査科

■日時：12月5日（金） 17:30～18:30

■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

## ポスター P-S01 (社会・S) 検査相談・疫学

P-S01-1 NDB オープンデータより明らかとなった HIV 治療における性差の実態

福本 敦、矢崎有希、木村佳貴、吉野友祐  
帝京大学 医学部

P-S01-2 民間臨床検査センターでの HIV 検査実施状況に関するアンケート調査（2022 年～2024 年）

佐野貴子<sup>1)</sup>、近藤真規子<sup>2)</sup>、須藤弘二<sup>2)</sup>、今井光信<sup>3)</sup>、加藤眞吾<sup>2)</sup>、今村顕史<sup>4)</sup>

- 1) 神奈川県衛生研究所微生物部
- 2) 株式会社ハナ・メディテック
- 3) 田園調布学園大学
- 4) 東京都立駒込病院感染症科

P-S01-3 常設夜間休日検査相談場における「早期発見」から「早期治療」への受診動向と協働支援体制について

毛受矩子、熊本光代、上林孝子、大角順子、徳永羊子、折井由美子、宮本伸枝、鎌田美恵子、沢田恵美、藤本佳子、高田由紀子  
NPO 法人スマートらいふネット

P-S01-4 在留外国人を主な対象とした多言語対応 HIV 検査の実施

北島 勉<sup>1)</sup>、沢田貴志<sup>2)</sup>、宮首弘子<sup>3)</sup>、Tran Thi Hue<sup>4)</sup>、Supriya Shakya<sup>5)</sup>、仲村秀太<sup>6)</sup>、新里尚美<sup>7)</sup>、本田なつ絵<sup>8)</sup>、生島 嗣<sup>9)</sup>、城所敏英<sup>10)</sup>、岡本博照<sup>11)</sup>、土屋菜歩<sup>12)</sup>

- 1) 杏林大学総合政策学部
- 2) 港町診療所
- 3) 杏林大学外国語学部
- 4) 神戸女子大学文学部
- 5) イイズ予防財団
- 6) 琉球大学大学院医学系研究科
- 7) 琉球大学病院第一内科
- 8) 獨協医科大学埼玉医療センター
- 9) ぶれいす東京
- 10) 新宿区役所健康相談室
- 11) 杏林大学保健学部
- 12) やまと診療所栗原

P-S01-5 クリニックにおける MSM 向け HIV・性感染症検査キャンペーン・2024 年度実績報告

川畠拓也<sup>1)</sup>、阪野文哉<sup>1)</sup>、浜みなみ<sup>1)</sup>、陰山朋久<sup>2)</sup>、町登志雄<sup>2)</sup>、朝来駿一<sup>3)</sup>

- 1) 地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所
- 2) MASH 大阪
- 3) ふれんどりー KOBE

■日時：12月5日（金） 17:30～18:30

■会場：ポスター会場（3F 会議室 A2・3）

## ポスター P-S02 (社会・S) 政策・医療体制

P-S02-1 「AIDS UPDATE」に対する看護師の認知度に関する調査

坂本涼子<sup>1,2)</sup>、藤井輝久<sup>2,3)</sup>、後藤志保<sup>1,2)</sup>、山崎尚也<sup>3)</sup>、喜花伸子<sup>2,3)</sup>、重信英子<sup>2,3)</sup>、杉本悠貴恵<sup>2,3)</sup>、佐々邊やよい<sup>1)</sup>

- 1) 広島大学病院看護部
- 2) イイズ医療対策室
- 3) 広島大学病院輸血部

P-S02-2 HIV 感染症患者の療養支援に関する Ns と MSW の協働について～第4回シンポジウムのアンケート結果から～

三嶋一輝<sup>1)</sup>、大金美和<sup>2)</sup>、杉野祐子<sup>2)</sup>、高橋昌也<sup>2)</sup>、高木雅敏<sup>3)</sup>、吉田誠未<sup>3)</sup>、葛田衣重<sup>4)</sup>、木下佑子<sup>1)</sup>、渴永博之<sup>2)</sup>

- 1) 福井大学医学部附属病院
- 2) 国立国際医療センター病院 / イイズ治療・研究開発センター
- 3) 熊本大学病院
- 4) 千葉大学医学部附属病院

# 一般演題（ポスター）

P-S02-3 HIV 感染症患者の療養支援に関する心理職とMSWの協働について～第1回心理職とMSWの協働シンポジウムのアンケート結果から～

三嶋一輝<sup>1)</sup>、木村聰太<sup>2)</sup>、高橋昌也<sup>2)</sup>、  
北上早紀<sup>3)</sup>、富永誠記<sup>3)</sup>、高村佳幸<sup>4)</sup>、  
葛田衣重<sup>5)</sup>

- 1) 福井大学医学部附属病院
- 2) 国立国際医療研究センター病院 / エイズ治療・研究開発センター
- 3) 徳島大学病院
- 4) 順天堂医院
- 5) 千葉大学医学部附属病院

■日時：12月5日（金） 17:30～18:30

■会場：ポスター会場（3F 会議室A2・3）

ポスター P-S03（社会・S）

薬害・陽性者支援

P-S03-1 HIV 陽性者との接触可能性が偏見的態度に及ぼす影響：行動免疫システムの観点から

上條慎子<sup>1,2)</sup>、谷内 通<sup>2)</sup>

- 1) 帝京大学文学部心理学科
- 2) 金沢大学人間社会研究域

P-S03-2 日本に移住するHIV陽性者が治療を継続するための実践

竹野 翠<sup>1)</sup>、青木理恵子<sup>1)</sup>、松浦基夫<sup>1,2)</sup>、  
白野倫徳<sup>1,3)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人 CHARM
- 2) 中村クリニック
- 3) 大阪市立総合医療センター感染症内科

P-S03-3 血液製剤によるHIV感染者の調査成績（令和6年度）第3報 現在の困り事、将来の不安と支援の希望の状況

川戸美由紀<sup>1)</sup>、大金美和<sup>2)</sup>、岡本 学<sup>3)</sup>、  
三重野牧子<sup>4)</sup>、橋本修二<sup>5)</sup>、天野景裕<sup>6)</sup>、  
潟永博之<sup>2)</sup>、日笠 聰<sup>7)</sup>、八橋 弘<sup>8)</sup>、  
渡邊 大<sup>3)</sup>、白阪琢磨<sup>3)</sup>

- 1) 国立保健医療科学院
- 2) 国立健康危機管理研究機構
- 3) 国立病院機構大阪医療センター
- 4) 自治医科大学
- 5) 藤田医科大学
- 6) 東京医科大学
- 7) 兵庫医科大学病院
- 8) 国立病院機構長崎医療センター

P-S03-4 血液製剤によるHIV感染者の調査成績（令和6年度）第2報 悩みやストレスの状況の年次推移

三重野牧子<sup>1)</sup>、川戸美由紀<sup>2)</sup>、橋本修二<sup>3)</sup>、  
天野景裕<sup>4)</sup>、大金美和<sup>5)</sup>、岡本 学<sup>6)</sup>、  
潟永博之<sup>5)</sup>、日笠 聰<sup>7)</sup>、八橋 弘<sup>8)</sup>、  
渡邊 大<sup>6)</sup>、白阪琢磨<sup>6)</sup>

- 1) 自治医科大学情報センター
- 2) 国立保健医療科学院
- 3) 藤田医科大学
- 4) 東京医科大学
- 5) 国立健康危機管理研究機構
- 6) 国立病院機構大阪医療センター
- 7) 兵庫医科大学病院
- 8) 国立病院機構長崎医療センター

P-S03-5 HIV 感染血友病患者に対する身体機能評価と生活支援に関する取り組み—メディカルチェック+α事業の実践報告—

南 雅子<sup>1)</sup>、片田圭一<sup>1)</sup>、前田悠志<sup>1)</sup>、  
石井智美<sup>2)</sup>、渡邊珠代<sup>3)</sup>

- 1) 石川県立中央病院リハビリテーション室
- 2) 石川県立中央病院看護部
- 3) 石川県立中央病院診療部

P-S03-6 首都圏の緩和ケア病棟に転院した要介護状態にある一人暮らしのHIV感染血友病患者について

三嶋一輝<sup>1)</sup>、柿沼章子<sup>2)</sup>

- 1) 福井大学医学部附属病院
- 2) 社会福祉法人はばたき福祉事業団

P-S03-7 当院へ通院中のHIV陽性者の居住地域からみえる現状と課題

山田栄里<sup>1)</sup>、石井智美<sup>2)</sup>、車 陽子<sup>2)</sup>、  
辻 典子<sup>1)</sup>、渡邊珠代<sup>3)</sup>

- 1) 石川県立中央病院 HIV 事務室
- 2) 石川県立中央病院看護部
- 3) 石川県立中央病院免疫感染症科

P-S03-8 女性HIV陽性者の集い「多文化キャンプ」18年の軌跡

オンバダ 香織<sup>1)</sup>、青木理恵子<sup>1)</sup>、竹野 翠<sup>1)</sup>、  
三田洋子<sup>1)</sup>、松浦基夫<sup>2)</sup>、白野倫徳<sup>3)</sup>、  
来住知美<sup>4)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人 CHARM
- 2) 中村クリニック
- 3) 大阪市立総合医療センター感染症内科
- 4) 日本パブテスト病院総合内科